

NEC プロジェクター

ViewLight[®]
ビューライト

NP-P627ULJL/NP-P547ULJL

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくためにご使用前に必ずお読みください

目 次

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	5
本書の表記について	21

1. 製品概要、添付品、名称を確認する 22

1-1. 特長	22
1-2. 添付品の確認	24
1-3. 本体各部の名称	25
1-4. リモコン各部の名称	32

2. 映像を投写する（基本操作） 37

2-1. 映像を投写する流れ	37
2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する	38
2-3. 本機の電源を入れる	40
2-4. 入力信号を選択する	42
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	45
2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）	51
2-7. コンピューターの映像を自動調整する	54
2-8. 本機の音量を調整する	55
2-9. 本機の電源を切る	56
2-10. 移動するときは	57

3. 便利な機能 58

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）	58
3-2. 動画を静止画にする（静止）	58
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	59
3-4. エコモードと省エネ効果	60
3-5. 投写画面の歪みを調整する（4 点補正 / ピンクッション補正）	62
3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する	67

4. オンスクリーンメニュー 70

4-1. オンスクリーンメニューの基本操作	70
4-2. オンスクリーンメニュー一覧	74
4-3. 入力端子	78
4-4. 調整	79
4-5. セットアップ	88
4-6. 情報	110
4-7. リセット	111

5. 機器と接続する	112
5-1. コンピューターと接続する	112
5-2. DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続する	115
5-3. 有線 LAN と接続する	117
5-4. 無線 LAN と接続する	118
5-5. HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する	121
5-6. ポートレート（縦向き）投写をする	123
6. ビューワーを使用する	125
6-1. ビューワーでできること	125
6-2. USB メモリー内の画像を投写する（基本操作）	127
6-3. スライド画面の操作	131
6-4. ファイルリスト画面の操作	132
6-5. オプションメニュー	134
6-6. ロゴデータ（背景の画像）を変更する	136
7. ネットワークと接続する	138
7-1. 本機をネットワークと接続してできること	138
7-2. MultiPresenter と接続する	139
7-3. ネットワーク設定	141
7-4. HTTP サーバー機能	150
8. 本体のお手入れ	154
8-1. レンズの清掃	154
8-2. キャビネットの清掃	155
9. 付 録	156
9-1. 投写距離とスクリーンサイズ	156
9-2. 対応解像度一覧	161
9-3. 仕 様	163
9-4. 外観図	166
9-5. 主な端子のピン配列と信号名	168
9-6. ASCII コントロールコマンドについて	170
9-7. 故障かな？と思ったら	172
9-8. インジケーター表示一覧	177
9-9. 本機に日付と時刻を設定する	180
9-10. トラブルチェックシート	182
9-11. 別売品	184
保証と修理サービス（必ずお読みください）	185
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター	裏表紙

はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピューターやDVD プレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。

本書は、下記の機種について共通の取扱説明書です。NP-P627ULJL を主にして説明しています。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

- 本書で説明している機種名

NP-P627ULJL/NP-P547ULJL

- 機種名について

本機に貼付している銘版では、機種名を「NP-P627UL」または「NP-P547UL」と表記しています。

取扱説明書では、機種名に「JL」を付けて表記しています。

[注意]

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
 - (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
 - (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
 - (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	⚠ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

 警告	
 必ず行う	プロジェクターは日本国内専用です ● このプロジェクターは、交流 100 ボルトで使用してください。添付の電源コードは国内使用専用です。
 禁止	電源コードの取り扱い ● このプロジェクターに添付している電源コードは、このプロジェクター専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。



感電注意

- 電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - ・コードの上に重い物をのせない
 - ・コードをプロジェクターの下敷きにしない
 - ・コードの上を敷物などで覆わない
 - ・コードを傷つけない、加工しない
 - ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・コードを加熱しない電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。



必ず行う

プロジェクターの設置

- このプロジェクターは、交流 100 ボルト、50/60Hz の電源で使用するよう設計されています。プロジェクターを使用する前に、プロジェクターを接続する電源が要求を満たすものかを確認してください。
- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。危険ですので直接電灯線に接続しないでください。
- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・暖房の近くや振動の多い所
 - ・屋外および湿気やほこりの多い場所
 - ・油煙や湯気の当たるような場所
 - ・調理台や加湿器のそば
- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
 - ・風呂やシャワー室で使用しない
 - ・プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに連絡してください。



禁止



水ぬれ禁止

 プラグを抜く	● プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭では注意してください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに連絡してください。
 プラグを抜く	故障したときは電源プラグを抜く ● プロジェクターから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、プロジェクターを落としたりキャビネットを破損した場合は、プロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけではなく、視力障害ややけどの原因になります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。 お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
 分解禁止	プロジェクターの分解禁止 ● プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。 また改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電およびレーザー光がもれることによる視力障害ややけどの原因となります。 内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ依頼してください。
 注意	天吊り設置 ● 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店に相談してください。 お客様による設置は絶対にやめてください。落下してけがの原因となります。 プロジェクターの天吊りは、プロジェクターを吊り下げるために十分な強度を必要とし、さらに国の建築基準法に従わなくてはなりません。 また、プロジェクター本体や天井用取付けユニットおよび取り付け場所に不具合が発生した場合を想定して、落下防止の対応が必要です。 ● 天吊りなどの設置をしたときは、プロジェクターにぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。 ● 天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントを使用してください。

 禁止 高温注意	プロジェクターの動作中にレンズの前に物を置かない ● 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。 ● 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。 ● 上記を警告するために、プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。 
 禁止	プロジェクターの光源について ● プロジェクターのレンズをのぞかないでください。 動作中は強い光が投写されていますので、視力障害の原因となります。またレンズ近くでのレーザー光への曝露は、やけどを引き起こす可能性があります。特にお子様には注意してください。 ● 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。視力障害の原因になります。 ● プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。 ● お子様一人でプロジェクターを操作させないでください。お子様が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さないでください。 ● レンズの上のプロジェクター上面に、次の図記号を表示しています。この図記号は、このプロジェクターが IEC 62471-5:2015 規格でリスクグループ 2 に分類されていることを示しています。  RG2 明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。 RG2 IEC 62471-5:2015.
 禁止	プロジェクターの清掃時 ● レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。
 禁止	極めて高い信頼性を必要とする業務に使用しない ● 生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。

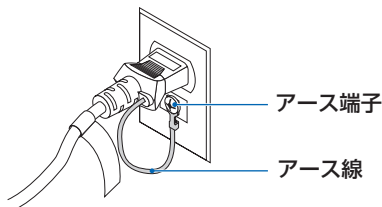
⚠️ 注意



必ず行う

アースリード線を接続する

- このプロジェクターは電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。
機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。
アースを接続しないと感電するおそれがあります。
- プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。
プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。
- アース工事は専門業者にご依頼ください。
- 必ず電源プラグをコンセントに差し込む前にアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後にアース線を外してください。



必ず行う



ぬれた手で
さわらない



プラグを抜く

電源コードの取り扱い

- プロジェクターの AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり差し込んでください。電源コードの接続が緩むと、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- プロジェクターをお手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プロジェクターを移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外してください。
- 長期間、プロジェクターを使用しないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 禁止	過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない ● プロジェクターの Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。
 必ず行う	レンズシフト、フォーカス、ズームの操作 ● レンズシフト、フォーカス、ズームはプロジェクターの後ろまたは横から調整してください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。 ● レンズシフト動作中は、レンズの周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズの隙間に指を挟むおそれがあります。
 禁止	電池の取り扱い ● 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない。 ・ 指定以外の電池は使用しない。 ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。 ・ 電池を入れるときは、極性（＋と－の向き）に注意し、表示どおりに入れる。 ● 電池を廃棄する際は、販売店、または自治体に問い合わせてください。
 禁止  高温注意	通風口について ● プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。 プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として吸気口は 10cm 以上、排気口は 20cm 以上あけてください。 ● 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。
 禁止	プロジェクターの持ち運び ● プロジェクターを持ち運ぶときに、レンズ部分に手をかけないでください。フォーカスリングが回転し、プロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。 また、キャビネットとレンズの隙間に手をかけると、プロジェクターが破損して落下し、けがの原因となることがあります。

 必ず行う	プロジェクターの点検・本体内部の清掃 ● 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に清掃すると、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
 必ず行う	温度や湿度が急激に変化する環境での使用、保存を避ける ● 以下の使用環境・保存環境で本機をご使用、保存ください。 守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。 動作温度：0～40℃ / 湿度：20～80%（結露のないこと） （注：無線 LAN ユニットの動作温度は、5～40℃です。） 保存温度：-10～50℃ / 湿度：20～80%（結露のないこと）

レーザー光線の安全に関する注意事項

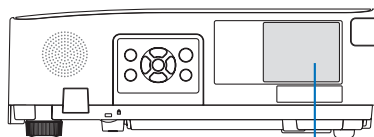


警告

- 本製品は、JIS C 6802:2018 規格と IEC 60825-1:2014 規格でクラス 1 に分類されています。
また IEC 62471-5:2015 規格ではリスクグループ 2 に分類されています。
- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。
またレンズ近くでのレーザー光への曝露は、やけどを引き起こす可能性があります。

【内蔵されたレーザーの概要】

- ・ 波長：449 – 461nm
- ・ 最大出力：112W



ラベル

【保護筐体から放出される放射パターン】

- ・ 波長：449 – 461nm
- ・ 最大レーザー放射出力：1.7W

レーザー製品の説明ラベルは、プロジェクター本体の側面に貼付されています。

CLASS 1 LASER PRODUCT
APPAREIL À LASER DE CLASSE 1
LASERPRODUKT DER KLASSE 1
ЛАЗЕРНОЕ ИЗДЕЛИЕ 1 КЛАССА ОПАСНОСТИ
등급 1 레이저 제품
第一級雷射產品
IEC 60825-1:2014
クラス 1 レーザ製品
JIS C 6802:2018

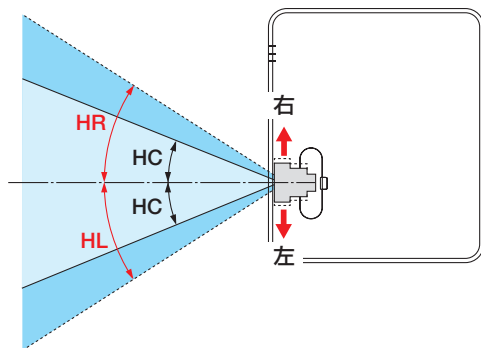
24L91821

レーザー光の放射範囲

下図は、レーザー光の最大の放射範囲を表しています。

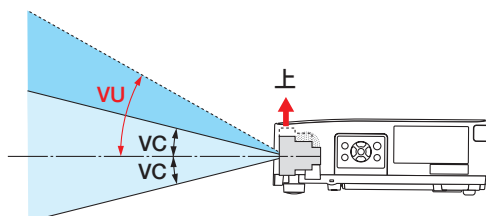
水平放射角：H（単位：度）

ズーム	レンズの位置		
	右端	センター (参考値)	左端
	HR	HC	HL
ワイド	33.0	22.3	33.0
テレ	21.8	14.2	21.8



垂直放射角：V（単位：度）

ズーム	レンズの位置	
	上端	センター (参考値)
	VU	VC
ワイド	29.5	14.4
テレ	19.2	9.0



電波障害に関する注意事項

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

プロジェクターに接続する信号ケーブルは、フェラ이트コア付きやシールドタイプを使用してください。

それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。詳しくは、本書の「機器と接続する」をご覧ください。

設置や保管についての注意事項

● 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。

- ・ 振動や衝撃が加わる場所
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、プロジェクターに振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
- ・ 高圧電線や動力源の近く
妨害を受ける場合があります。
- ・ 強い磁界が発生する場所
故障の原因となります。
- ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
- ・ 油煙や湯気の当たるような場所
- ・ 腐食性のガスが発生する場所
キャビネットに油や薬品、水分などが付着した場合、キャビネットの変形またはひび割れ、金属部分の腐食、および故障の原因となります。

● 設置業者様へ

- ① 落下防止のためプロジェクターおよび天井取付けユニットの荷重に長期間耐えるように施工してください。
- ② 設置は、天井取付けユニットの取扱説明書に従って、正しく確実に作業してください。所定のネジや固定金具はすべて確実に取り付けてください。
- ③ 落下防止のために落下防止ワイヤーを使用してください。
 - ・ 市販の金具などを用いて建物や構造物の丈夫な箇所とプロジェクターのセキュリティバーを落下防止ワイヤーで接続してください。
 - ・ 市販の金具や落下防止ワイヤーはプロジェクターおよび天井取付けユニットの荷重に耐えられるように十分強度のある物をご使用ください。
 - ・ 落下防止ワイヤーはプロジェクターに負荷をかけないように、少したるませるように設置してください。
 - ・ セキュリティバーの位置については、[26 ページ](#)をご覧ください。

廃棄について

プロジェクターを廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

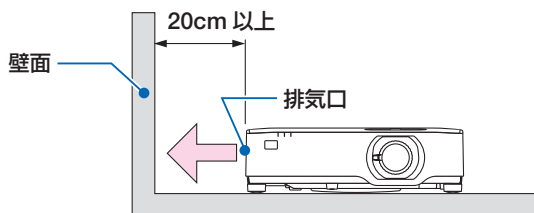
プロジェクターの性能確保のための注意事項

- レーザー光線のような強い光がレンズから入り込むと、故障の原因となります。
- たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（12 時間／日または 260 日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめ NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
- コンピューターなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。コンピューター側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- 標高約 1600m 以上の場所でプロジェクターを使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、プロジェクター内部が高温になり、故障の原因となります。
- プロジェクターを高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。
- プロジェクターの持ち運びについて
 - ・ レンズに傷が付かないように必ず添付のレンズキャップを取り付けてください。
 - ・ プロジェクターに振動や強い衝撃を与えないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- チルトフットはプロジェクターの傾き調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写レンズ面には手を触れないでください。
- 投写中は、プロジェクターやコンセントから電源コードを抜かないでください。プロジェクターの AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、ブレーカーなどを利用してください。
- リモコンの取り扱いについて
 - ・ リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
 - ・ リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
 - ・ 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
 - ・ 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
 - ・ 誤動作防止のために、エアコンやステレオコンボなど他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
 - ・ 他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、リモコンの識別 ID（コントロール ID）を設定するなどして誤動作を防止してください
 - ・ プロジェクターから約 7m 以内でプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作してください。
 - ・ リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。

- ・ リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ できるだけ熱や湿気の少ないところで使用してください。
- ・ 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を2本とも取り出してください。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明などプロジェクター以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

設置する際の周囲との距離についての注意

プロジェクターを設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。プロジェクターから出た高温の排気スが再びプロジェクターに吸気される場合があります。また、エアコンから吹き出された風がプロジェクターに当たらないようにしてください。プロジェクターの温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。



【注意】

- 上の図において、プロジェクターの上方には十分な空間があるものとします。また、後方にも吸気口があります。後方は、目安として 10cm 以上、ケーブル類を取り付け作業するにはさらに広い空間をあけてください。

投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、プロジェクターを使って映像を投写する場合、プロジェクターの機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

本機のパワーマネジメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネジメント機能（1）、（2）を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを經由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して（1）、（2）の設定を変更してください。

- （1）スタンバイモード（工場出荷時の設定：ノーマル）
外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」または「スリープ」に変更してください。（→ [105 ページ](#)）
- （2）オートパワーオフ（工場出荷時の設定：1 時間）
外部機器から制御する場合は「オフ」に変更してください。（→ [107 ページ](#)）

無線 LAN ユニットの使用上のご注意

無線 LAN ユニットを使用する際は、次の点にご注意ください。

警告

- 無線 LAN ユニットは、医療機器、原子力設備／機器、航空宇宙機器、輸送設備／機器など人命に関する設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されていないので、使用しないでください。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで無線 LAN ユニットを使用しないでください。
- 医療機器の近くで無線 LAN ユニットを使用しないでください。医療機器に電磁障害をおよぼし生命の危険があります。
- 無線 LAN ユニットの分解したり改造したりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 風呂場や加湿器のそばなどの水分や湿気の多い場所に置いたり使用したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

● 廃棄について

本製品を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

電波に関する注意

- 添付の無線 LAN ユニット（以降「本ユニット」と省略します）は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本ユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本ユニットは、日本国内でのみ使用できます。
- 本ユニットは、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解／改造すること。
 - ・ 本ユニットに貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本ユニットは、IEEE802.11n（5GHz）および IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz 帯域 [W52] および [W53] の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- ・本ユニットを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ・万一本ユニットと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、すみやかに本ユニットの使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- ・その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（裏表紙）にお問い合わせください。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4	DS/OF	4
-----	-------	---

IEEE802.11a/n		
W52	W53	W56

- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す。
DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す。
4 : 想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示す。
■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線 LAN に関するその他のご注意

- 無線 LAN をご使用の際は、電波強度が十分であるか、混雑や他の無線機器等との混信がない状態であるかを確認してください。

有線 LAN に関するご注意

- 本機の Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートは公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。
そのため Ethernet/HDBaseT ポートおよび LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、ProAssist、MultiPresenter は、シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の商標または登録商標です。
- ・ Apple、Mac、MacBook、iMac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



- ・ HDBaseT™および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。



- ・ PLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ・ Wi-Fi® は、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。WPA™、WPA2™は Wi-Fi Alliance® の商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ CRESTRON、CRESTRON ROOMVIEW は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国における登録商標または商標です。
- ・ Extron および XTP は RGB Systems, Inc. (RGB システムズ社) の米国における登録商標です。
- ・ Ethernet は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、当社のホームページをご参照ください。

<https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

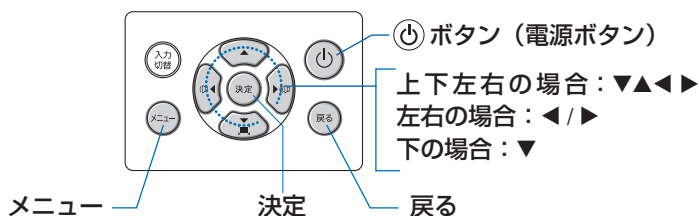
本書の表記について

マークの意味

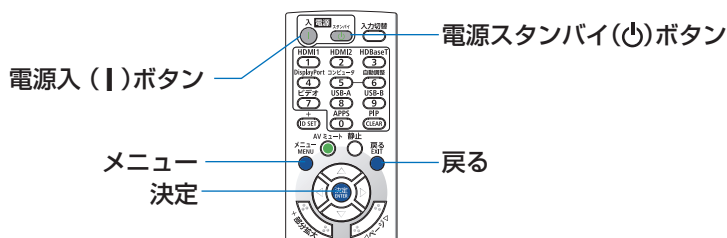
【重要】	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
【注意】	注意や制限事項を表しています。
【参考】	補足説明や役立つ情報を表しています。
→ 00 ページ	本書内の参照ページを表しています。
(適応機種)	特定の機種についての説明を表しています。

操作ボタンの表記例

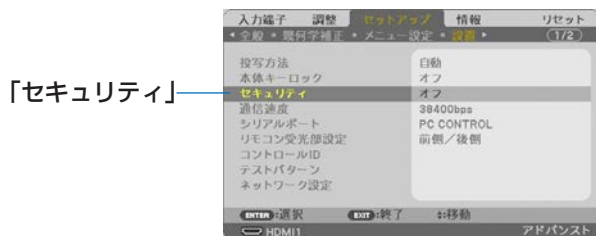
●本体の操作ボタン



●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例



【参考】

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 製品概要、添付品、名称を確認する

1-1. 特長

■ 全般

● 液晶方式の高輝度・高解像度プロジェクター

機種名	明るさ	解像度	アスペクト比
NP-P627ULJL	6200 lm	WUXGA (1920 × 1200 ドット)	16:10
NP-P547ULJL	5400 lm	WUXGA (1920 × 1200 ドット)	16:10

● 高い防塵性能を可能とした独自の密閉構造

防塵性能に優れているため、フィルターを搭載していません。フィルターの交換が不要です。

● 密閉構造を生かした静音設計

静かな会議室や教室でもファンノイズが気にならない静音設計です。

■ 光源・輝度

● 長寿命レーザー光源を採用

レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。

● 幅広い輝度調整が可能

ランプとは異なり、出力を 50% から 100% まで 1% 刻みで調整することができます。

● 輝度一定モード

通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、使用時間に応じレーザー光源の出力を自動調整し、輝度を維持できます。

■ 設置

● 360° の設置、ポートレート投写が可能

本機は、垂直方向と水平方向 360° の、どの角度でも設置が可能です。

本機を傾けて設置する場合は、十分な強度のある金具を使用してください。

また、投写画面を 90° 傾けたポートレート投写することができます。必ず専用のスタンドを制作して設置してください。

● 投写画面の位置調整を容易にするレンズシフト機構を装備

投写画面の位置の移動は、本体の上面にある「垂直方向用」および「水平方向用」の 2 つのダイヤルを回します。

● 特殊形状スクリーンへの投写が可能

当社のアプリケーションソフト ProAssist を使って、円柱面や球面等の特殊形状スクリーンに投写するときの歪みを補正できます。

■ 映像

● HDMI 2 系統、HDBaseT などの豊富な入力端子

HDMI 2 系統、コンピューター（アナログ）、HDBaseT など、豊富な入力端子を装備しています。

本機の HDMI 入力端子は HDCP に対応しています。

HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。

● USB メモリーに保存した画像を投写できるビューワー機能

画像を保存した市販の USB メモリーを本機の USB ポート（タイプ A）に差すと、USB メモリー内の画像を本機で投写することができます。これにより、コンピューターを使わずにプレゼンテーションできます。

● 信号切り替え時の画面変更をスムーズに見せるシームレススイッチング機能

入力端子切り替え時、切り替え前の映像を保持することで、無信号状態を経ずに切り替え後の映像が映し出されます。

■ ネットワーク

● 有線 LAN / 無線 LAN 対応

LAN ポート（RJ-45）を装備しており有線 LAN に接続してコンピューターから本機へ画像を伝送したり、コンピューターから本機を制御したりできます。

また、添付の無線 LAN ユニットを本機に取り付けると、無線 LAN に接続できます。

● CRESTRON ROOMVIEW、Extron XTP に対応

本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピューターやコントローラーから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

また、本機を Extron 社の XTP トランスミッターに接続して、映像出力や制御ができます。

● MultiPresenter アプリケーションに対応

当社の Multipresenter アプリケーションに対応しており、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）経由でマルチ画面投写できます。

■ 省エネ

● スタンバイ時の消費電力が 0.13 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「ノーマル」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.13 ワットになります。

ノーマル：スタンバイ時の消費電力が 0.13 ワットのモード

ネットワークスタンバイ：スタンバイ時の消費電力が 1.4 ワットのモード

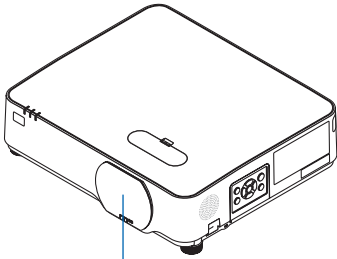
● 消費電力を抑えるエコモードとカーボンメーター表示

使用中の消費電力を抑えるためエコモードを搭載しています。

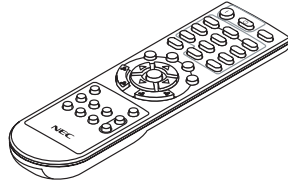
さらに、エコモード設定時の省エネ効果を CO2 排出削減量に換算して、電源切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します（カーボンメーター）。

1-2. 添付品の確認

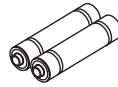
添付品の内容をご確認ください。



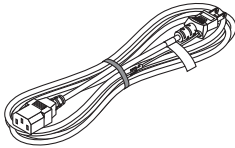
レンズキャップ (24F55283)
プロジェクター (本機)



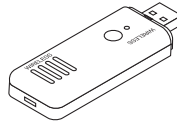
リモコン (7N901181)



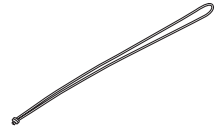
単 4 乾電池
(リモコン用) 2 本



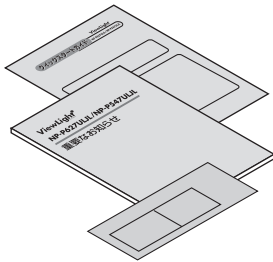
電源コード (アース付き)
(7N080129/7N080125)



無線 LAN ユニット (NP05LM3)
本機を無線 LAN に接続するとき
に、USB (無線 LAN) ポートに
接続します。(→ 119 ページ)



レンズキャップ用
ストラップ 1 本



クイックスタートガイド (7N8R1491)

重要なお知らせ (7N8R1481)

保証書

セキュリティラベル

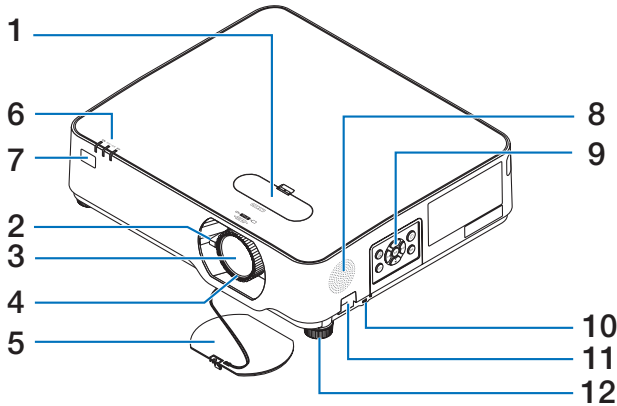
本機にパスワードを設定したときに、必要に応じて本体
に貼ってください。

[参考]

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡
ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はあり
ません。

1-3. 本体各部の名称

本体前面



1 レンズシフトカバー

カバーを開けると、水平ダイヤルと垂直ダイヤルがあります。このダイヤルを回して投写画面の位置を調整します。(→ 46 ページ)

2 ズームレバー

投写した画面の大きさを調整します。(→ 49 ページ)

3 レンズ

ここから映像が投写されます。

4 フォーカスリング

映像のフォーカスを合わせます。(→ 48 ページ)

5 レンズキャップ

レンズを保護します。投写中は必ず外してください。

6 インジケーター

本機の動作状態を知らせます。(→ 28, 177 ページ)

7 リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。本体の前面と背面の 2 箇所にあります。(→ 36, 99 ページ)

8 スピーカー (モノラル)

音声入力端子から入力された音声を出します。(→ 55 ページ)

9 本体操作部

本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。(→ 28 ページ)

10 セキュリティスロット

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは次ページの「参考」をご覧ください。

11 セキュリティバー

セキュリティケーブル（またはワイヤー）を取り付けます。

本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。

12 チルトフット（左右）

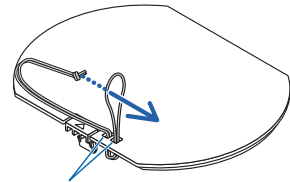
チルトフットを回して左右の傾きを調整します。（→ 49 ページ）

【参考】

- セキュリティスロットについて 
セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

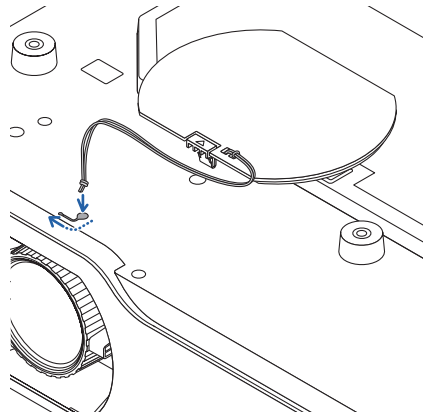
●レンズキャップ用ストラップの取り付けかた

- (1) レンズキャップ取り付け穴にストラップの先端を差し込み、結び目を通します。

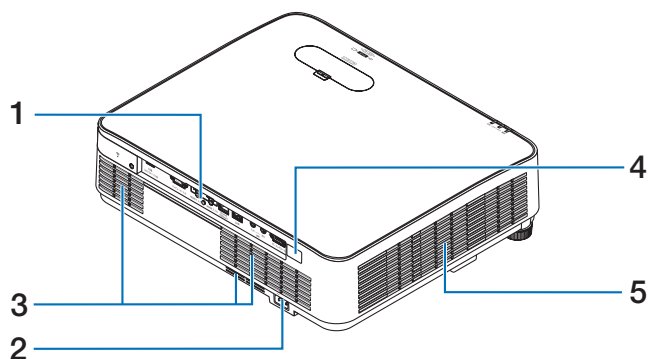


レンズキャップ取り付け穴

- (2) 本体底面のストラップ取り付け穴（大）に結び目を差し込み、狭い方（小）の穴へ押し込む。



本体背面



1 接続端子部

各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。(→ [30 ページ](#))

2 AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。(→ [38 ページ](#))

3 吸気口

外気を取り込み本体内部を冷却します。

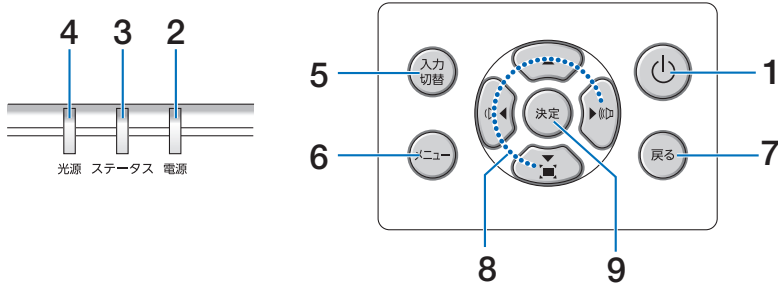
4 リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。(→ [36 ページ](#))

5 排気口

内部の熱を排気します。

本体操作部



1 ㊤ ボタン（電源ボタン）

本機の電源を入／切（スタンバイ状態）します。

電源を切る（スタンバイ状態）ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続けてもう一度㊤ボタンを押します。

2 電源インジケータ

本機の電源の状態を表すインジケータです。

電源が入っているときは青色に点灯します。

電源が切れているときは、状態によって緑色またはオレンジ色で点灯／点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。（→ [177 ページ](#)）

3 ステータスインジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。（→ [177 ページ](#)）

4 光源インジケータ

光源の状態をお知らせします。（→ [177 ページ](#)）

5 入力切替ボタン

入力信号を検出します。

HDMI1 → HDMI2 → コンピュータ → HDBaseT → USB-A → LAN → HDMI1… の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

6 メニューボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。（→ [70 ページ](#)）

7 戻るボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。

確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

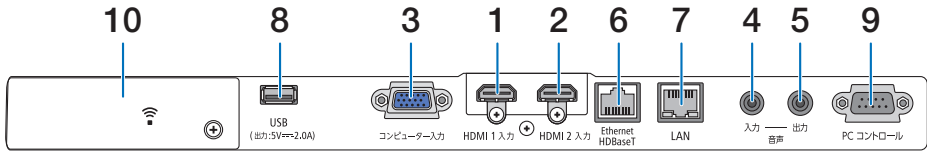
8 ▼▲◀▶ボタン（音量調整ボタン、台形補正ボタンを兼用）

- ・ オンスクリーンメニューを表示しているときに▼▲◀▶ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。（→ [70](#) ページ）
- ・ オンスクリーンメニューを表示していないときに、◀ / ▶ボタンを押すと、音量を調整できます。（→ [55](#) ページ）
- ・ オンスクリーンメニューを表示していないときに▼ボタンを押すと、幾何学補正調整画面を表示します。（→ [51](#), [62](#) ページ）

9 決定ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

接続端子部



1 HDMI 1 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。
(→ [112](#), [113](#), [116](#) ページ)

本機のスピーカーから出力される音声はモノラルのみです。

2 HDMI 2 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。
(→ [112](#), [113](#), [116](#) ページ)

本機のスピーカーから出力される音声はモノラルのみです。

3 コンピューター映像入力端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピューターのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤーなどのコンポーネント出力端子と接続します。

(→ [38](#), [112](#), [113](#), [115](#) ページ)

4 音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

コンピューターまたは DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカーから音が出せます。

(→ [112](#), [113](#), [114](#), [115](#) ページ)

本機のスピーカーから出力される音声はモノラルです。

5 音声出力端子 (ステレオ・ミニ)

本機から投写されている映像の音声入力端子の音声信号を出力します。

音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカーから音声が出なくなります。

6 Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45)

本機を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。(→ [121](#) ページ)

7 LAN ポート (RJ-45)

本機を有線 LAN に接続します。接続すると本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。

(→ [117](#) ページ)

8 USB ポート (タイプ A)

USB メモリーを接続します。

USB メモリーに画像データを保存すると本機のビューワーで投写することができます。(→ [125 ページ](#))

また、拡張用として、5V/2.0A の電源供給が可能です。

9 PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)

コンピューターで本機を操作するときに使用します。

10 無線 LAN カバー (📶)

カバーの中に2つの端子があります。

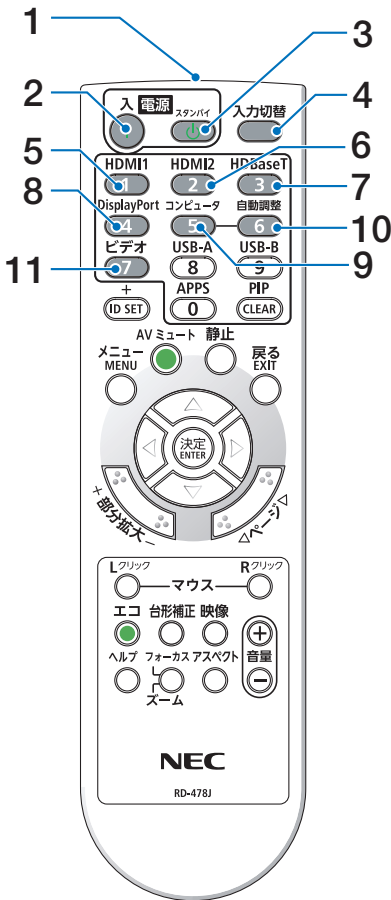
- ・ USB (無線 LAN) ポート

添付の無線 LAN ユニットを接続します。(→ [118 ページ](#))

- ・ サービスマン専用端子 (USB) (タイプ B)

お客様は使用できません。

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 電源入(|) ボタン

スタンバイ時（電源インジケータがオレンジ色^{*}で点滅）に本機の電源を入れます。（^{*}スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）

3 電源スタンバイ(⏻) ボタン

一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度スタンバイ（または決定）ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

4 入力切替ボタン

入力信号を検出します。
HDMI1 → HDMI2 → コンピューター → HDBaseT → USB-A → LAN → HDMI1… の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

5 HDMI 1 ボタン

HDMI 1 入力を選択します。

6 HDMI 2 ボタン

HDMI 2 入力を選択します。

7 HDBaseT ボタン

HDBaseT ポートを選択します。

8 DisplayPort ボタン

（本機では使用できません）

9 コンピュータボタン

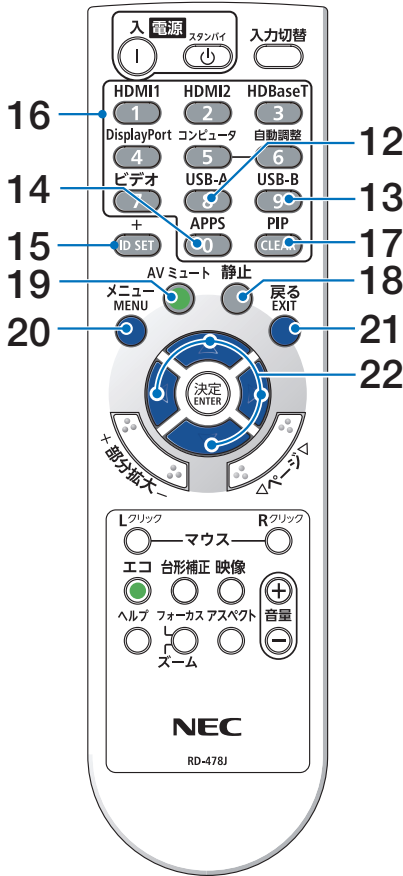
コンピューター入力（またはコンポーネント）を選択します。

10 自動調整ボタン

コンピューター画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。（→ 54 ページ）

11 ビデオボタン

（本機では使用できません）



12 USB-A ボタン

ビューワーを選択します。

13 USB-B ボタン

(本機では使用できません)

14 APPS ボタン

ネットワークを選択します。

15 ID SET ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。(→ 99 ページ)

16 数字 (0 ~ 9) 入力ボタン

複数プロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します (コントロール ID 設定)。

CLEAR ボタンはコントロール ID 設定を解除する場合に使用します。(→ 100 ページ)

17 PIP ボタン

(本機では使用できません)

18 静止ボタン

表示されている画像が静止画になります。もう一度押すと戻ります。(→ 58 ページ)

19 AV ミュートボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(→ 58 ページ)

20 メニューボタン

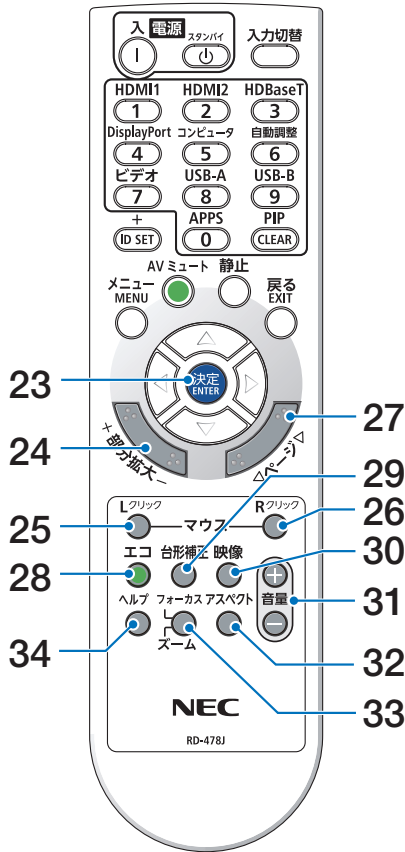
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

21 戻るボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

22 ▼▲◀▶ボタン

オンスクリーンメニュー操作や部分拡大+/- ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。(→ 70, 59 ページ)



23 決定ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

24 部分拡大 + / - ボタン

画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。(→ 59 ページ)

25 マウス L クリックボタン

(本機では使用できません)

26 マウス R クリックボタン

(本機では使用できません)

27 ページ ▽ / △ ボタン

ビューワのファイルリスト画面やスライド画面の画面切り替えに使用します。

28 エコボタン

エコモード選択画面を表示します。(→ 60 ページ)

29 台形補正ボタン

幾何学補正画面を表示します。(→ 51, 62 ページ)

30 映像ボタン

ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。(→ 79, 83 ページ)

31 音量 + / - ボタン

内蔵スピーカーの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。(→ 55 ページ)

32 アスペクトボタン

アスペクト調整項目を表示します。(→ 86 ページ)

33 フォーカス / ズームボタン

(本機では使用できません)

34 ヘルプボタン

情報画面を表示します。(→ 110 ページ)

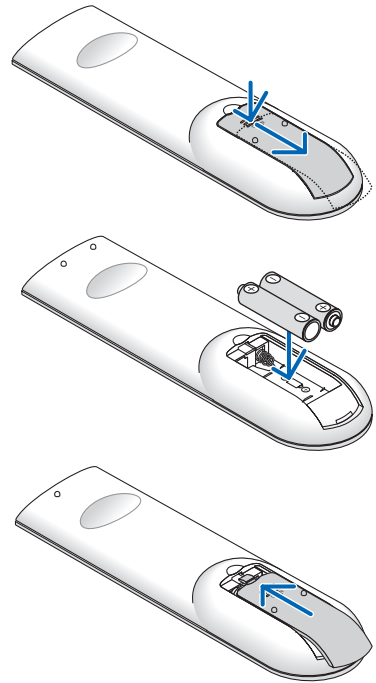
●電池の入れかた

1. リモコン裏面の電池ケースのふたを押し
たまま手前に引き、上に持ち上げて外す。
2. ケース内部に表示している＋、－の向き
に合わせて単4乾電池をセットする。
3. もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがありますので、スライドさせて閉めてください。

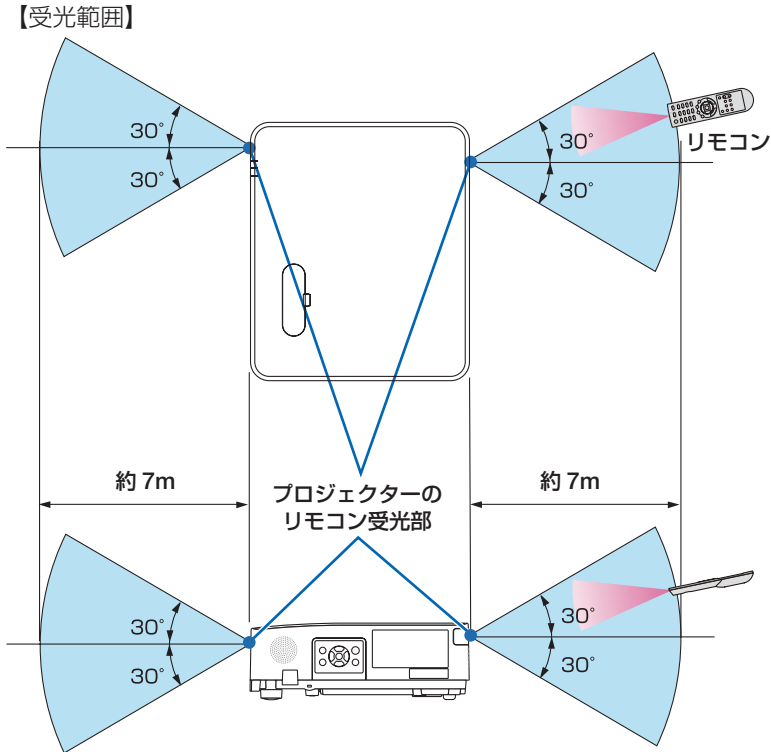
[注意]

- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4乾電池をお買い求めください。



●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

[注意]

- リモコンの使用上の注意は、15 ページをご覧ください。

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1 コンピューターと接続する／電源コードを接続する
(→ [次ページ](#))

ステップ 2 本機の電源を入れる (→ [40 ページ](#))

ステップ 3 入力信号を選択する (→ [42 ページ](#))

ステップ 4 投写画面の位置と大きさを調整する (→ [45 ページ](#))
台形歪みを調整する (→ [51 ページ](#))

ステップ 5 映像や音声を調整する
・ 画質を調整する場合 (→ [54 ページ](#))
・ 本機の音量を調整する場合 (→ [55 ページ](#))

ステップ 6 プレゼンテーションする

ステップ 7 本機の電源を切る (→ [56 ページ](#))

ステップ 8 移動するときは (→ [57 ページ](#))

2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「5. 機器と接続する」112 ページをご覧ください。

コンピューター側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピューター映像入力端子を、市販のコンピューターケーブルで接続しコネクターのツマミを回して固定します。

2. 電源コードを接続する

添付の電源コードを使って、コンセントに本機を接続します。

- ① 電源コードのコネクターを本機の AC IN 端子に差し込む。
- ② 電源コードのアース線を AC100V のコンセント（アース工事済み）のアース端子に接続する。
- ③ 電源コードのプラグを AC100V のコンセントに差し込む。

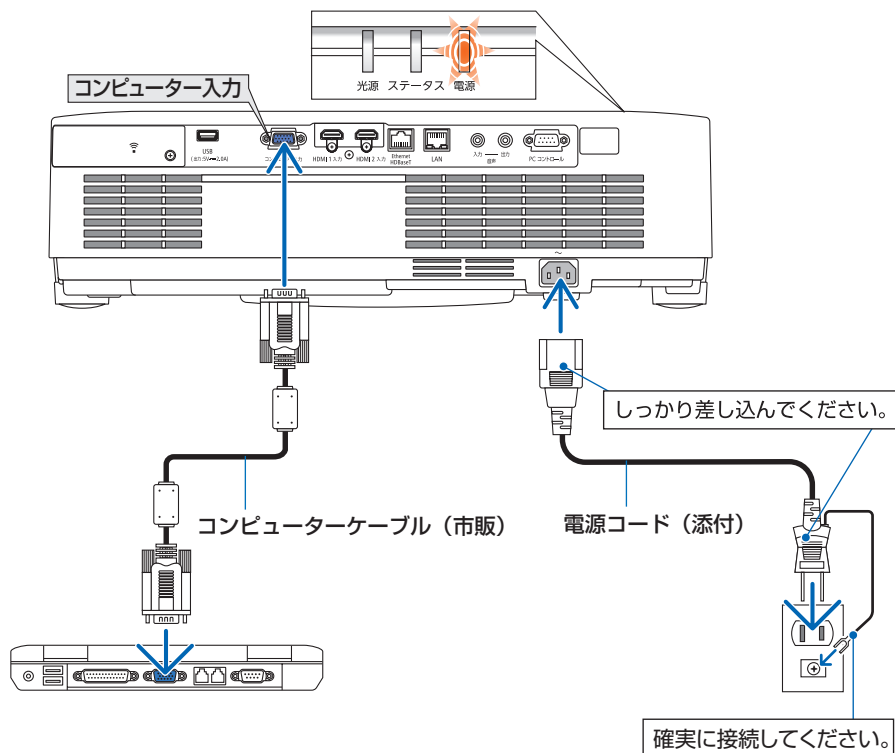


注意

- 本機は電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。
機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。
- プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。
プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。
- アース工事は専門業者にご依頼ください。
- 必ず電源プラグをコンセントに差し込む前にアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後にアース線を外してください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケーターがオレンジ色で点滅し、本機がスタンバイ状態になります。（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）

（→ 105 ページ）



⚠ 注意

電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。
取り扱いに注意してください。

2-3. 本機の電源を入れる

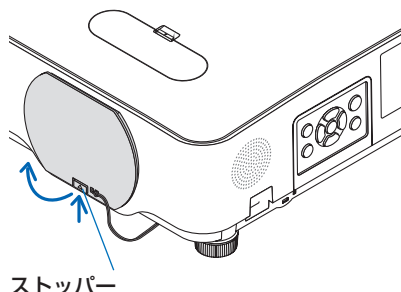


警告

プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

1. レンズキャップを取り外す。

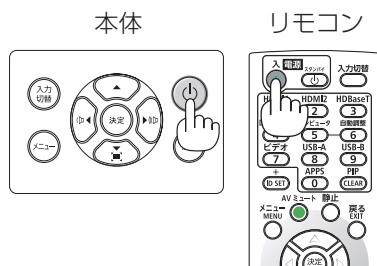
レンズキャップのストッパーを押し上げたまま手前に引いて外します。



2. 電源ボタンを押す。

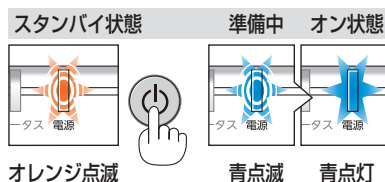
電源インジケータが青色に点灯し、スクリーンに映像が投写されます。

- ・リモコンで操作する場合は、電源入ボタンを押します。
- ・信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- ・映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。（→ 48 ページ）



【参考】

- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。（→ 68 ページ）
- 電源ボタンやメニューボタンなどを押すとビープ音を出します。ビープ音を出したくないときは、オンスクリーンメニューで「オフ」に設定できます。（→ 104 ページ）

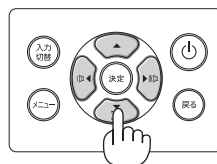


- ご購入後はじめて電源を入れたときはLANGUAGE 画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。

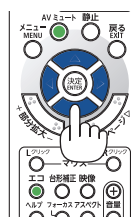


- ① ▼▲◀▶ ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。

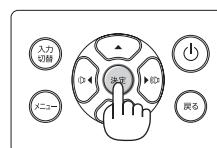
本体



リモコン



- ② 決定ボタンを押す。
 オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。



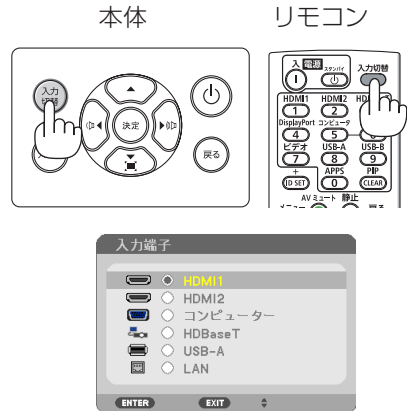
[注意]

- 次のような場合は、② ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・ 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
 - ・ ② ボタンを押している間にステータスインジケータがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。（→ 97 ページ）
- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは② ボタンを押しても電源は切れません（青色で長い点滅はオフタイマーを設定していますので電源は切れます）。

2-4. 入力信号を選択する

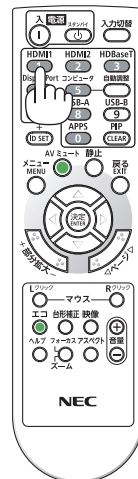
投写する信号を自動検出する

1. 本機に接続しているコンピューターやDVD プレーヤーなどの電源を入れる。
DVD プレーヤーなどの映像を投写するとき
は、再生（PLAY）操作をしてください。
2. 入力切替ボタンを押す。
入力端子画面が表示されます。
 - ・ HDMI1 → HDMI2 → コンピューター → HDBaseT → USB-A → LAN の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。
 - ・ 入力端子画面が表示されているときに、入力切替ボタンを数回押して、投写したい入力信号を選択することもできます。



リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1. 本機に接続しているコンピューターやDVD プレーヤーなどの電源を入れる。
DVD プレーヤーなどの映像を投写するとき
は、再生（PLAY）操作をしてください。
2. リモコンの HDMI 1、HDMI 2、HDBaseT、コンピューター、USB-A、APPS ボタンを押す。



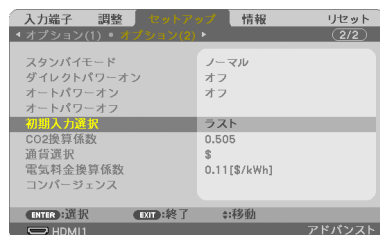
自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1. オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション（2）」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

- ・ オンスクリーンメニューの操作については、「4-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。（→ [70](#) ページ）



2. 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、決定ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



3. 戻るボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

4. 本機の電源を入れなおす。

手順 2 で設定した信号が自動的に投写されます。

【参考】

- 本機とコンピューターを接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピューターから出されたコンピューター信号または HDMI 信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピューター画面を投写することができます（オートパワーオン）。（→ 107 ページ）
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
DVD プレーヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピューターの画面がうまく投写できない場合
ノートブックコンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り替えてください。
 - ・ Windows のノートブックコンピューターの場合は、[Fn] キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC
[Fn] + [F8]	DELL

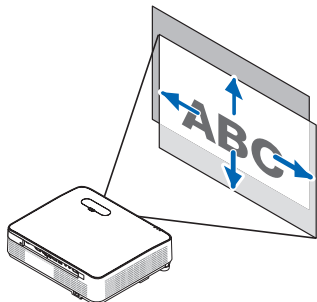
※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- ・ Apple MacBook は、ビデオミラーリングを設定します。
 - ・ それでも投写しない場合は入力端子を再度選択してください。（→ 42 ページ）
-

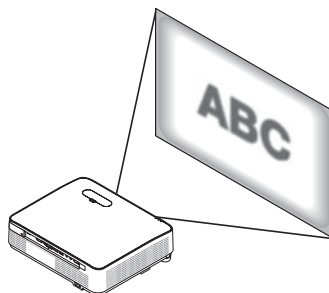
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

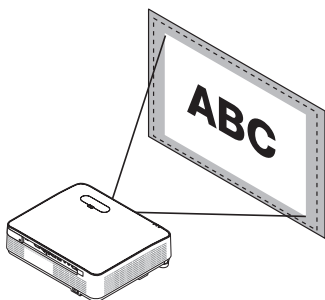
投写画面の上下・左右位置の調整
【レンズシフト】（→[次ページ](#)）



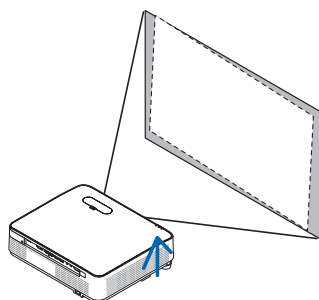
投写画面のフォーカス調整
【フォーカスリング】（→[48 ページ](#)）



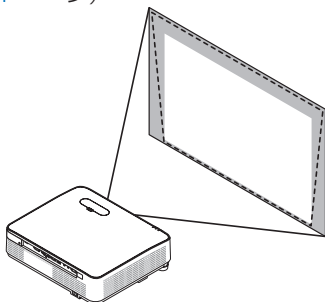
投写画面の大きさの調整【ズームレバー】
（→[49 ページ](#)）



投写画面の高低と左右の傾き調整
【チルトフット】（→[49 ページ](#)）



投写画面の台形歪み補正【台形補正】
（→[51 ページ](#)）



※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写画面の位置の調整（レンズシフト）



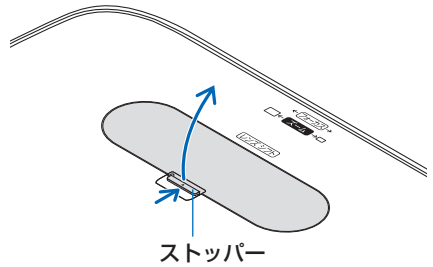
注意

プロジェクターの後ろまたは横から調整してください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

1. レンズシフトカバーを開ける。

カバーのストッパーを前方へ押したまま開けます。

・ レンズシフトカバーは外れません。



2. レンズシフトダイヤルを左右に回す。

上下ダイヤル：

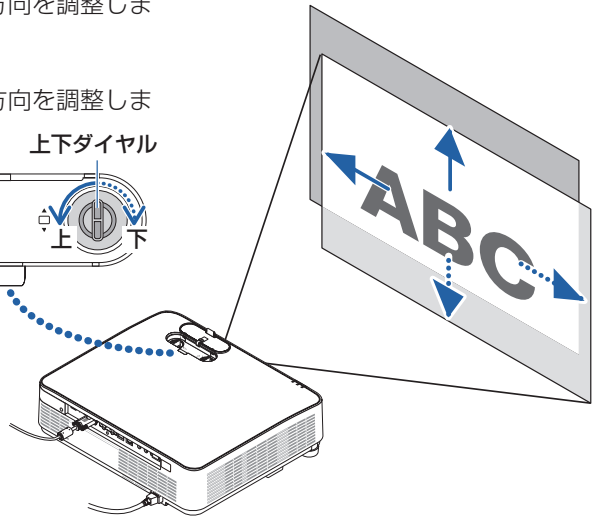
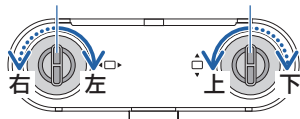
左右へ回して投写位置の上下方向を調整します。

左右ダイヤル：

左右へ回して投写位置の左右方向を調整します。

左右ダイヤル

上下ダイヤル

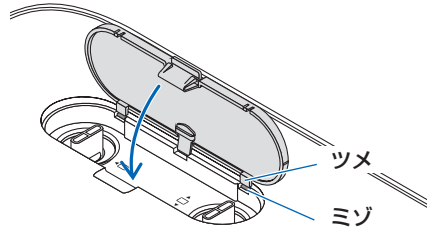


【注意】

- ダイヤルは1回転以上回すことができます。ただし、投写位置を参考に掲載の範囲を超えて移動することはできません。
また、ダイヤル機構が破損しますのでダイヤルを無理に回さないでください。
- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。
- 上下方向のレンズシフトは画面が上がる方向で調整を終えてください。
画面が下がる方向で調整を終えた場合、ズームやフォーカスを調整する際や大きな震動が加わった際に画面が少し下がる場合があります。

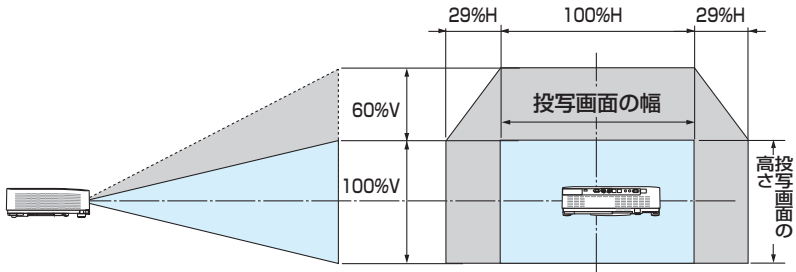
3. レンズシフトカバーを閉める。

カバーのツメ（2箇所）を本体のミゾに入れてから、カバーを閉めます。



[参考]

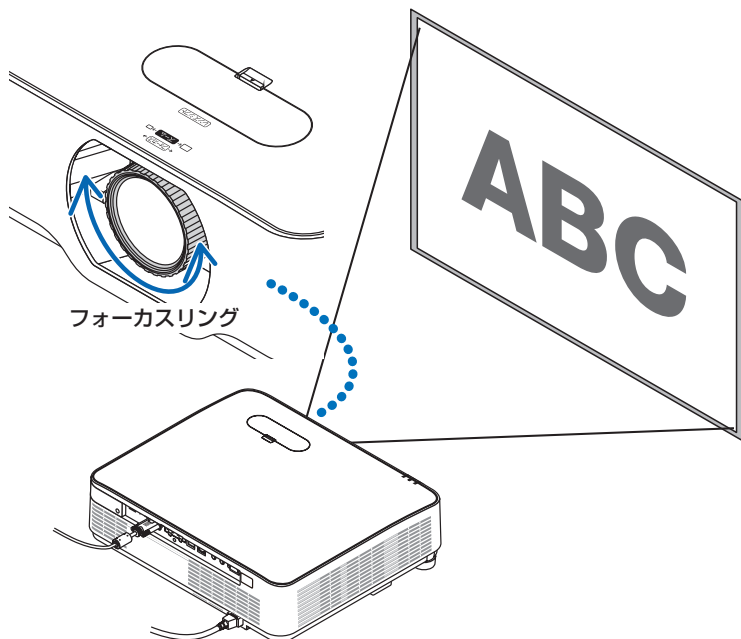
- 下図はレンズシフト調整範囲（投写方式：デスク／フロント）を示しています。
- 天吊り／フロント投写のレンズシフト調整範囲は [159](#) ページをご覧ください。



記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。

投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

1. フォーカスリングを左右に回してピントを合わせる。

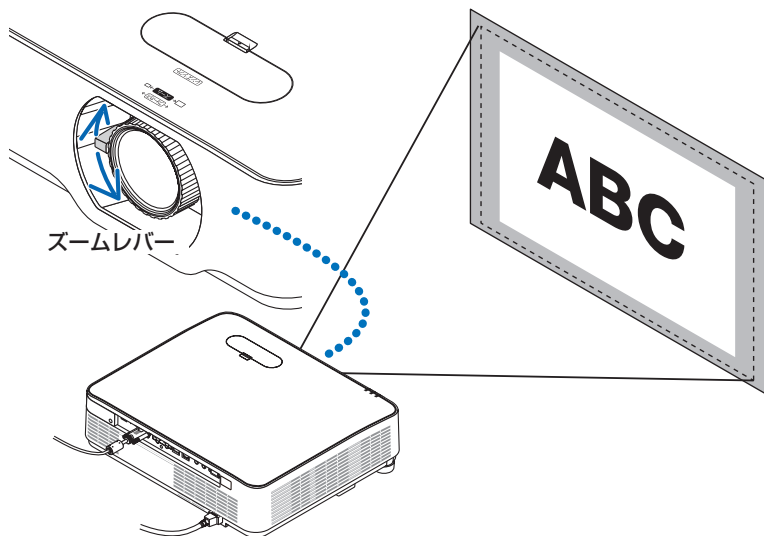


【参考】

- フォーカスは、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに調整することをおすすめします。
テストパターンの表示については→ [101](#) ページをご覧ください。

投写画面の大きさの調整（ズームレバー）

1. ズームレバーを左右に回す。



投写画面の高低と左右の傾き調整（チルトフット）

1. 左右のチルトフットを回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。

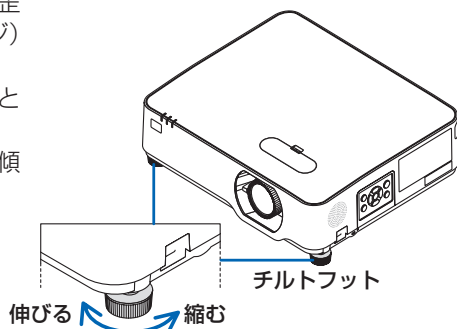
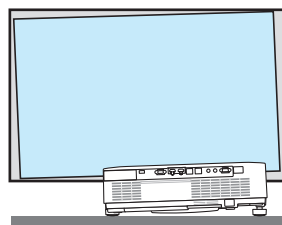
投写画面の高低は左と右のチルトフットを回して高さ調整をします。

投写画面が傾いているときは、どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

・ 投写画面が歪んでいるときは「2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）」（→ 51 ページ）をご覧ください。

・ チルトフットは、最大 15mm 伸ばすことができます。

・ チルトフットにより、本機を最大約 2° 傾けることができます。



.....

【注意】

- チルトフットは 15mm 以上伸ばさないでください。15mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
 - チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。
チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。
-

2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）

本機とスクリーンを正しく設置していないと投写画面が台形状に歪みます。この歪みを調整するのが台形補正です。

ここではスクリーンに向かって斜め横から投写した場合の台形歪みを調整する手順を説明しています。

●台形補正調整の前に

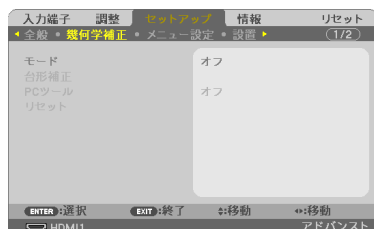
台形補正には、台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正 左端 / 右端、ピンクッション補正 上端 / 下端、4点補正があります。

すでに、4点補正またはピンクッション補正を調整しているときは、台形補正 水平と台形補正 垂直がグレー表示になり選択できません。

このときは、調整前にリセット操作をしてください。

1. オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の▼（台形補正）ボタンを押す。

・ リモコンは台形補正ボタンを押します。
投写画面に幾何学補正画面が表示されます。



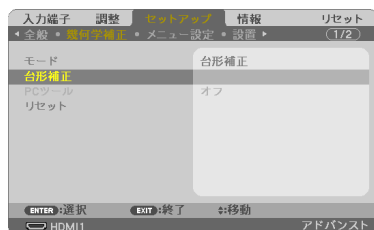
2. ▼ボタンを押して「モード」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

モード選択画面に切り替わります。



3. ▼ボタンを押して「台形補正」を選択し、決定ボタンを押す。

幾何学補正画面に戻ります。



4. ▼ボタンを押して「台形補正」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

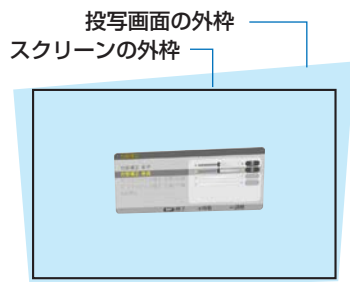
台形補正画面に切り替わります。

・ ピンクッション補正については 64 ページをご覧ください。
・ 4点補正については 62 ページをご覧ください。



5. ▼ボタンを押して「台形補正 垂直」にカーソルを合わせ、◀ / ▶ボタンを押して左右の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み（垂直）を調整します。



6. スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

- ・ 投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。
- ・ 右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

（左辺を合わせる）



7. ▲ボタンを押して「台形補正 水平」にカーソルを合わせ、◀ / ▶ボタンを押して上下の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み（水平）を調整します。

- ・ 右の図のように左辺を合わせた場合は、▶ボタンを押します。



8. 手順5～7を繰り返し、台形歪みを調整する。

9. 台形歪みの調整が終わったら、戻るボタンを数回押してメニュー画面を消す。

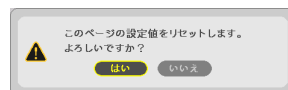
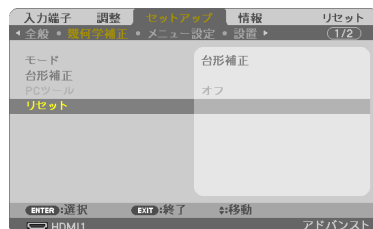


[注意]

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正は電氣的な補正をしているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

台形補正值を初期値に戻すには

1. 幾何学補正画面を表示させ、モードで台形補正が選択されていることを確認する。
2. ▼ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
確認画面が表示されます。
3. ◀/▶ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
確認画面が消えリセットされます。



[注意]

- リセットすると台形補正画面の項目、全ての調整値が初期化されます。

[参考]

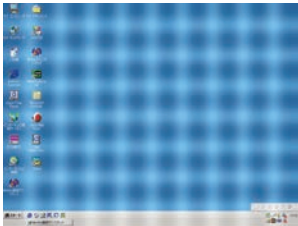
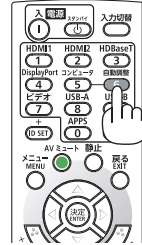
- 台形補正は、オンスクリーンメニューのセットアップ→幾何学補正→台形補正からも調整できます。(→ 91 ページ)

2-7. コンピューターの映像を自動調整する

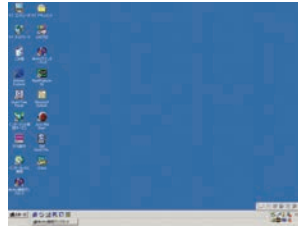
コンピューターの信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1. リモコンの自動調整ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

【参考】

- 自動調整をしても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面を調整してください。（→ [84](#), [85](#) ページ）
- コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、[175](#) ページを参照してください。

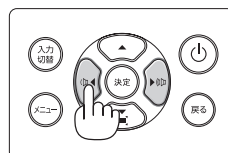
2-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

本体の操作ボタンで調整する

1. オンスクリーンメニューが表示されていないときに、◀ / ▶ ボタンを押す。
音量調整バーが表示されます。

◀▶ 側…音量が大きくなります。
◀▶ 側…音量が小さくなります。

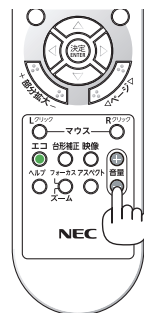


【注意】

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、部分拡大+ボタンで画面を拡大しているとき、ビューワー表示中、および LAN 端子表示中は、◀ / ▶ ボタンを使った音量調整はできません。

リモコンを使って調整する

1. リモコンの音量 + / - ボタンを押す。
音量調整バーが表示されます。
+ 側…音量が大きくなります。
- 側…音量が小さくなります。



【参考】

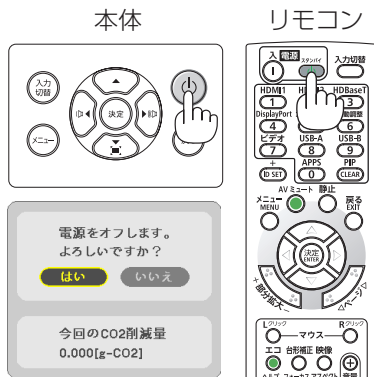
- ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)のビープ音を「オフ」にしてください。(→ [104ページ](#))

2-9. 本機の電源を切る

1. ㊤ ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- ・ 電源オフ確認メッセージには今回の CO₂ 削減量（→ 61 ページ）を表示します。
- ・ リモコンで操作する場合は、電源スタンバイボタンを押します。

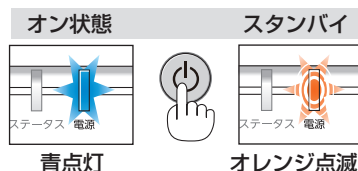


2. 決定ボタンを押す。

光源が消灯し、電源が切れます。（スタンバイ状態）

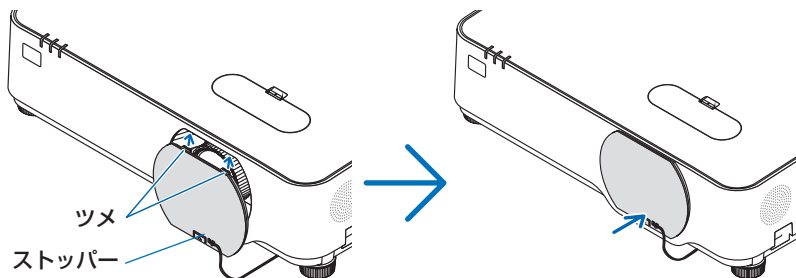
スタンバイ状態になると、電源インジケータがオレンジ色で点滅します。（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）

- ・ 決定ボタンの代わりに、㊤ ボタンまたは電源スタンバイボタンを押しても、電源が切れます。
- ・ 電源を切らない場合は、◀ / ▶ ボタンで「いいえ」を選んで決定ボタンを押します。



3. レンズキャップを取り付ける。

レンズキャップのツメ（2箇所）を本体のミゾに入れて、レンズキャップの下側を押し込みます。ストッパーが本体に固定されます。





注意

電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。
取り扱いに注意してください。

[注意]

- 電源インジケーターが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、ブレーカーなどを利用してください。
- 各種の調整をして調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

2-10. 移動するときは

1. 電源コードを取り外す。
2. 各種信号ケーブルを取り外す。
 - ・ 本機に USB メモリーを差している場合は取り外してください。



注意

電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。
取り扱いに注意してください。

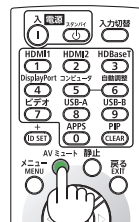
3. 便利な機能

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）

1. リモコンの AV ミュートボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカーおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

- ・ もう一度 AV ミュートボタンを押すと、映像と音声が出ます。



【注意】

- ビープ音は AV ミュートボタンを押しても消えません。
ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション (1) のビープ音を「オフ」にしてください。（→ 104 ページ）

【参考】

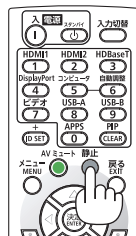
- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

3-2. 動画を静止画にする（静止）

1. リモコンの静止ボタンを押す。

DVD プレーヤーの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- ・ もう一度静止ボタンを押すと、動画に戻ります。



【参考】

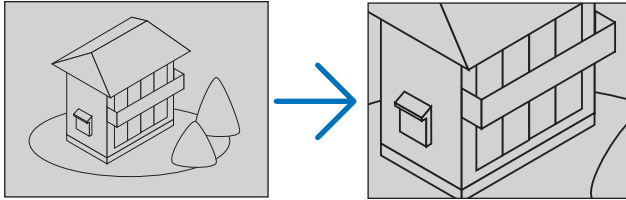
- 静止画にすると、そのときに投写されていた映像を本機のメモリーに保存し、メモリー内の映像（静止画）を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

1. リモコンの部分拡大 + ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

・ 最大 4 倍まで拡大できます。



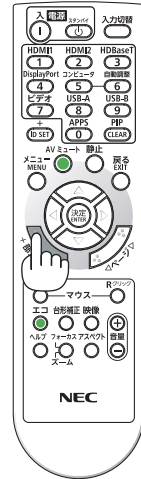
2. ▼▲◀▶ ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

3. 部分拡大 - ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

・ もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。



[注意]

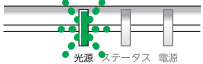
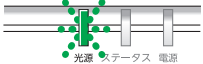
- 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合があります。

[参考]

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

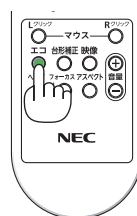
3-4. エコモードと省エネ効果

本機は、使用目的などに合わせて、2つのエコモードを選択できます。

エコモードの設定 (メニュー下部のアイコン表示)	輝度	光源インジケータ の状態
オフ (表示なし)	輝度 (明るさ) が 100% になります。 明るい画面になります。	緑点灯 
エコ ()	輝度 (明るさ) が約 60% になります。 冷却ファンの回転数も対応して下がります。 消費電力が下がります。	緑点減 
長寿命 ()	輝度 (明るさ) が約 80% (NP-P627ULJL)、 または約 65% (NP-P547ULJL) になります。 光源の寿命を延ばすことを優先する設定で す。	緑点減 

エコモードに切り替える

1. リモコンのエコボタンを押す。
エコモード選択画面が表示されます。



2. ▼ / ▲ボタンを押して選択し、決定ボタンを押す。
エコモード選択画面が消え、選択したモードに切り替わります。



[参考]

- オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→ライトモード→エコモードでも切り替えることができます。
- ライト使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(→ 110 ページ)
- 本機に入力信号がない状態 (無信号ガイダンス、ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき) のまま約 1 分経過すると、自動的にエコモードに切り替わり光源インジケータが緑点灯します。その後、本機が入力信号を感知するとエコモードはもとの設定状態に戻ります。

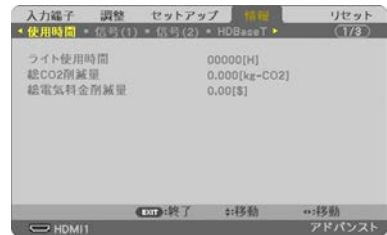
- 室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的に輝度（明るさ）を下げるがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右下に「」アイコンが表示されます。
室温を下げることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、エコモードはもとの設定状態に戻ります。

省エネ効果を見る（カーボンメーター）

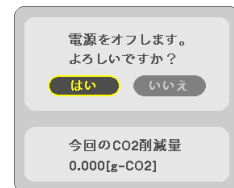
本機のエコモードを「エコ」または「長寿命」に設定している期間の省エネ効果を CO₂ 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメーター」と呼びます。

表示には「総 CO₂ 削減量」と「今回の CO₂ 削減量」があります。

「総 CO₂ 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO₂ 削減量 (kg) を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。(→ [110 ページ](#))



「今回の CO₂ 削減量」は電源を入れてエコモードに切り替わってから電源を切るまでの CO₂ 削減量 (g) を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



【参考】

- CO₂ 排出削減量は、エコモードを「オフ」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO₂ 排出係数を掛けて算出[※]します。
エコモードを「エコ」または「長寿命」に設定して使用すると、CO₂ 排出削減量の値は増加します。
[※] CO₂ 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO₂ Emissions from Fuel Combustion”に基づいて算出しています。
- 「総 CO₂ 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどエコモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。

3-5. 投写画面の歪みを調整する (4点補正 / ピンクッション補正)

台形補正の4点補正画面やピンクッション補正画面を表示して、投写画面の歪みを調整します。

●調整の前に

台形補正には、台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正 左端 / 右端、ピンクッション補正 上端 / 下端、4点補正があります。

すでに他の台形補正を使用しているときは、4点補正とピンクッション補正がグレー表示になり選択できません。

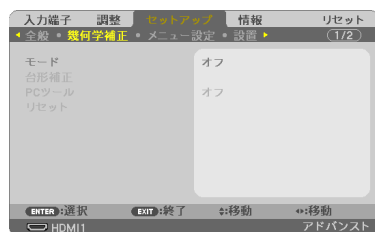
このときは、調整前にリセット操作をしてください。

4 点補正

1. オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の▼（台形補正）ボタンを押す。

・リモコンは台形補正ボタンを押します。

投写画面に幾何学補正画面が表示されます。



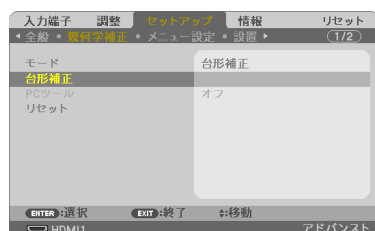
2. ▼ボタンを押して「モード」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

モード選択画面に切り替わります。



3. ▼ボタンを押して「台形補正」を選択し、決定ボタンを押す。

幾何学補正画面に戻ります。



4. ▼ボタンを押して「台形補正」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

台形補正画面に切り替わります。



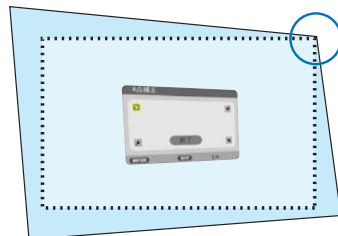
5. ▼ボタンを押して「4点補正」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

4点補正画面が表示されます。



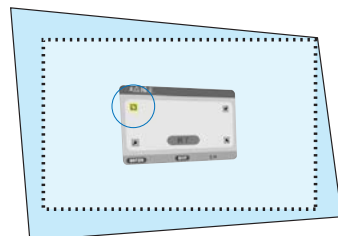
6. スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。

7. スクリーンと投写画面の角を合わせる（図は右上の角）。



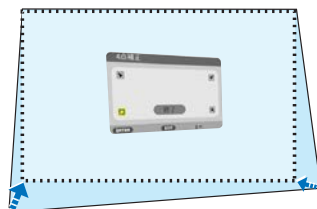
8. ▼▲◀▶ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ（図は左上の▼）。

9. 決定ボタンを押す。

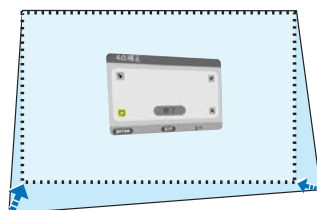


10. ▼▲◀▶ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。

11. 決定ボタンを押す。



12. ▼▲◀▶ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。



13. 手順8～11を繰り返し、投写画面の歪みを調整する。



14. 投写画面の歪みの調整が終わったら、4点補正画面で「終了」を選んで、決定ボタンを押す。

4点補正の調整終了画面が表示されます。

15. ◀ / ▶ ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

4点補正の調整が確定されます。

- ・「取消」を選択して決定ボタンを押すと、4点補正画面に戻ります。

戻るボタンを押しても4点補正画面に戻ります。



16. 戻るボタンを数回押してメニュー画面を消す。

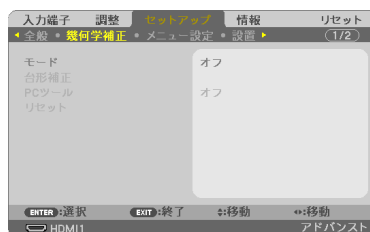
ピンクッション補正

ピンクッション補正は「ピンクッション補正 左端/右端」または「ピンクッション補正 上端/下端」のどちらか1つが調整できます。

プロジェクターはスクリーン面に対して真正面にし、台形歪みがでないように設置してください。(→ 45 ページ)

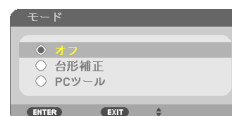
1. オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の ▼ (台形補正) ボタンを押す。

- ・ リモコンは台形補正ボタンを押します。
- 投写画面に幾何学補正画面が表示されます。



2. ▼ ボタンを押して「モード」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

モード選択画面に切り替わります。

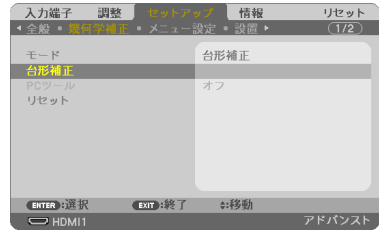


3. ▼ボタンを押して「台形補正」を選択し、決定ボタンを押す。

幾何学補正画面に戻ります。

4. ▼ボタンを押して「台形補正」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

台形補正画面に切り替わります。

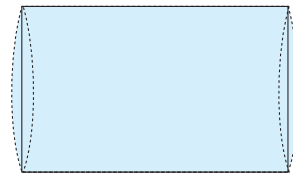


5. ▼ボタンを押して、「ピンクッション補正 左端 / 右端」または「ピンクッション補正 上端 / 下端」にカーソルを合わせる。



6. ◀ / ▶ ボタンを押して、投写画面のわん曲歪みを調整する。

7. 調整が終わったら、戻るボタンを数回押してメニュー画面を消す。



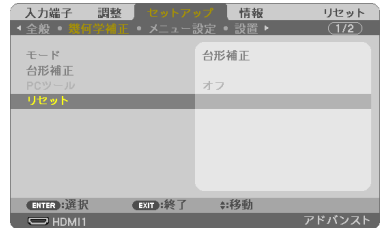
※ピンクッション左端 / 右端調整例

[注意]

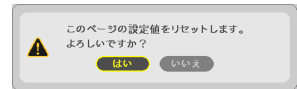
- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えてもピンクッションの補正の調整値を保持しています。
- ピンクッション補正および4点補正は電氣的な補正をしているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

4 点補正值、ピンクッション補正値を初期値に戻すには

1. 幾何学補正画面を表示させ、モードで台形補正が選択されていることを確認する。
2. ▼ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
確認画面が表示されます。



3. ◀ / ▶ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
確認画面が消えリセットされます。



[注意]

- リセットすると台形補正画面の項目、全ての調整値が初期化されます。

[参考]

- 当社のアプリケーションソフト ProAssist を使って、円柱面や球面等の特殊形状スクリーンに投写するときの歪みを補正することができます。
ProAssist は、当社のホームページからダウンロードしてください。
<https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

【注意】

- セキュリティは、リセットでは解除されません。

セキュリティを有効にする

1. メニューボタンを押す。
 オンスクリーンメニュー画面が表示されます。

2. ▶ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
 「全般」にカーソルが移動します。

3. ▶ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。

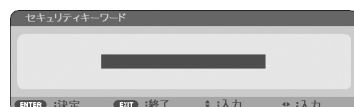
4. ▼ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
 セキュリティ設定画面に変わります。



5. ▼ボタンで「オン」を選択し、決定ボタンを押す。
 セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



6. ▼▲◀▶ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、決定ボタンを押す。
 入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。



セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。

【重要】

- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



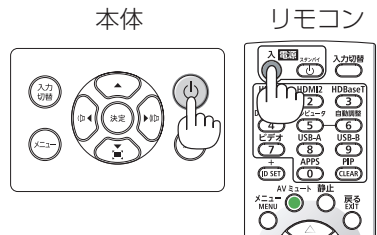
7. 6で設定したセキュリティキーワードを再入力し、決定ボタンを押す。
確認画面が表示されます。



8. ◀ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す。
セキュリティが有効になります。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

1. ④ ボタンを押す。
・リモコンで操作する場合は、電源入ボタンを押します。
本機の電源が入り、「セキュリティロック中」です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



2. メニューボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



3. セキュリティキーワードを入力し、決定ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。



【注意】

- セキュリティロックの解除状態は、電源コードを抜くまで保持されます。

セキュリティを無効にする

1. **メニューボタン**を押す。
メニュー画面が表示されます。
2. **▶ボタン**で「**セットアップ**」にカーソルを合わせ、**決定ボタン**を押す。
「全般」にカーソルが移動します。
3. **▶ボタン**を押して「**設置**」にカーソルを合わせる。
4. **▼ボタン**を押して「**セキュリティ**」にカーソルを合わせ、**決定ボタン**を押す。
セキュリティ設定画面に変わります。
5. **▲ボタン**で「**オフ**」を選択し、**決定ボタン**を押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
6. **セキュリティキーワード**を入力し、**決定ボタン**を押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティが無効になります。



[参考]

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター ([裏表紙](#)) にご連絡ください。

4. オンスクリーンメニュー

4-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して操作します。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

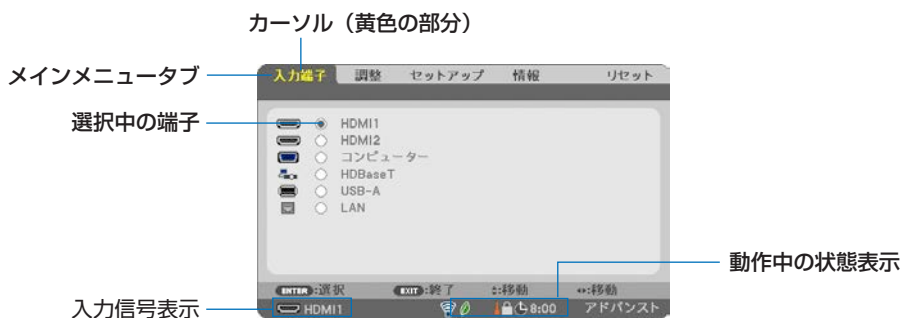
メニューを表示するにはメニューボタンを押します。また、メニューを消す場合は戻るボタンを押します。

ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1. メニューボタンを押す。

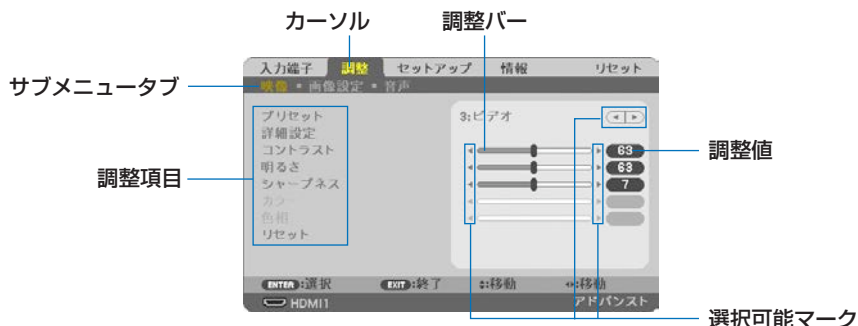
ご購入後、はじめて操作したときは入力端子のメニューが表示されます。



無線 LAN ユニットの動作中、エコモード設定、強制エコモード、本体キーロック中、オフタイマーの残り時間のアイコン

2. ▶ボタンを 1 回押す。

カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。



3. ▼ / ▲ボタンを押す。

カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

4. 「明るさ」にカーソルを合わせ、◀ / ▶ボタンを押す。

画面の明るさが調整されます。

・「◀ ▶（選択可能マーク）」が付いている項目は◀ / ▶ボタンで設定を切り替えることができます。

「◀ ▶（選択可能マーク）」が付いていない項目を設定する場合は、その項目にカーソルを合わせ決定ボタンを押します。

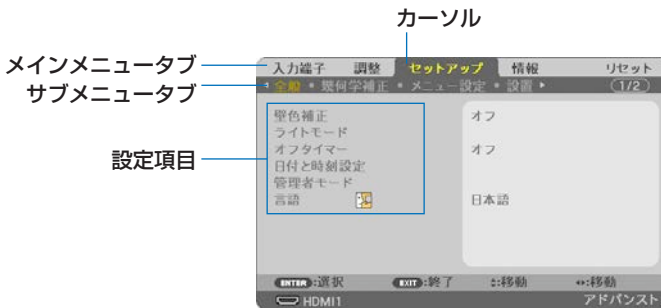
・調整項目内のリセットにカーソルを合わせ決定ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

5. 戻るボタンを2回押す。

カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。

6. ▶ボタンを1回押す。

カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



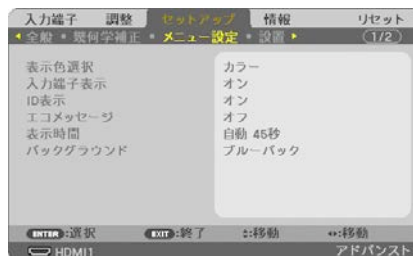
7. 決定ボタンを押す。

全般にカーソルが移動します。

・セットアップには全般、メニュー設定、設置、オプション (1)、オプション (2) という5つのサブメニュータブがあります。◀ / ▶ボタンで選択します。

8. ▶ボタンを1回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。

メニュー設定のメニューに切り替わります。



9. ▼ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

・バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



10. ▼ / ▲ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

11. 選択したい項目にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

バックグラウンドが設定されます。

・選択を取り消す場合は、戻るボタンを押します。

12. メニューボタンを1回押す。

メニューが消えます。

[注意]

●入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

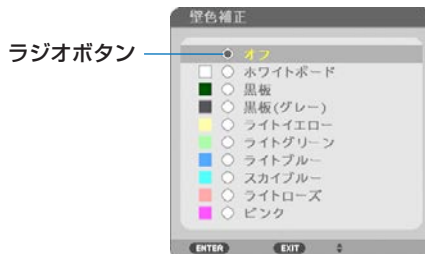
調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択

選択肢の中から1つ「」を選びます。

【例1】「壁色補正」の選択

セットアップ→全般→壁色補正



1. ▼ / ▲ボタンを押す。

選択されているマーク (●) が移動します。

2. 選択する項目に「●」を移動したら、決定ボタンを押す。

●実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で戻るボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例 2】調整のリセット



1. 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
2. 決定ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
3. 実行する場合は、◀ / ▶ ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
機能が実行されます。
 - ・ 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、決定ボタンを押します。

4-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンストメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「**B**」マークを付けています。

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー		
入力端子	—	HDMI1 B	78
		HDMI2 B	
		コンピューター B	
		HDBaseT B	
		USB-A B	
		LAN B	
調整	映像	プリセット	79
		詳細設定	
		全般	
		参照	80
		ガンマ補正	
		スクリーンサイズ	
		色温度	
		ダイナミックコントラスト	
		画面モード	
		カラーエンハンスメント	
		ホワイトバランス	
		コントラスト赤	
		コントラスト緑	
		コントラスト青	
		明るさ赤	
		明るさ緑	
		明るさ青	
		コントラスト B	
		明るさ B	
		シャープネス B	
		カラー B	
		色相 B	
		リセット B	
画像設定	クロック周波数		
		位相	
		水平	
		垂直	

4. オンスクリーンメニュー

メニュー		選択項目		参照 ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
調整	画像設定	オーバースキャン	自動、0%、5%、10%	85	
		アスペクト	自動、4:3、16:9、15:9、16:10、レター ボックス、リアル	86	
	音声	音量 B		87	
セット アップ	全般	壁色補正 B		オフ、ホワイトボード、黒板、黒板（グ レー）、ライトイエロー、ライトグリーン、 ライトブルー、スカイブルー、ライトロー ズ、ピンク	88
		ライトモー ド B	エコモード	オフ、エコ、長寿命	89
			調整		
			輝度一定モード	オフ、オン	
		オフタイマー B	オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、 12:00、16:00		90
		日付と時刻設定			
		管理者モー ド B	メニューモード	アドバンスド、ベーシック	
			設定値を保存しない	オフ、オン	
			キーワード	オフ、オン	
		言語 B	ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、 ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、 РУССКИЙ、عربي、ئۇيغۇر、日本語、 DANSK、PORTUGUÊS、ČEŠTINA、 MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、 БЪЛГАРСКИ、हिन्दी、简体中文、繁體中文、 SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、ROMÂNĂ、 HRVATSKI、INDONESIA、ΕΛΛΗΝΙΚΑ、ไทย、 한국어、TIẾNG VIỆT		
	幾何学補 正	モード		オフ、台形補正、PC ツール	91
		台形補正	台形補正 水平		
			台形補正 垂直		
			ピンクッション補正 左端 / 右端		
			ピンクッション補正 上端 / 下端		
			4点補正		
		PC ツール	オフ、1、2、3		92
	リセット			93	
メニュー 設定	表示色選択		カラー、モノクロ	94	
	入力端子表示		オフ、オン		
	ID 表示		オフ、オン		
	エコメッセージ		オフ、オン		
	表示時間		手動、自動 5 秒、自動 15 秒、 自動 45 秒		
	バックグラウンド		ブルーバック、ブラックバック、ロゴ	95	

4. オンスクリーンメニュー

メニュー		選択項目		参照 ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
セット アップ	設置	投写方法		自動、デスク／フロント、天吊り／リア、 デスク／リア、天吊り／フロント	96
		本体キーロック		オフ、オン	97
		セキュリティ		オフ、オン	
		通信速度		4800bps、9600bps、19200bps、 38400bps	98
		シリアルポート		PC CONTROL、HDBaseT	99
		リモコン受光部設定		すべて、前側／後側、前側、後側、 HDBaseT	
		コントロール ID	コントロールID番 号	1- 254	
			コントロールID	オフ、オン	
		テストパターン			101
		ネットワーク設定			
	オプショ ン (1)	シームレススイッチング		オフ、オン	102
		ファンモード		自動、高地	
		信号選択	コンピューター	RGB/ コンポーネント、RGB、コンポー ネント	
		WXGA モード		オフ、オン	103
		デインターレース		オフ、オン	
		ビデオレベル	HDMI1	自動、標準、拡張	
			HDMI2	自動、標準、拡張	
			HDBaseT	自動、標準、拡張	
		音声入力選択	HDMI1	HDMI1、コンピューター	104
			HDMI2	HDMI2、コンピューター	
			LAN	LAN、コンピューター	
			HDBaseT	HDBaseT、コンピューター	
		ビープ音		オフ、オン	
		LAN ポート		LAN、HDBaseT	
	オプショ ン (2)	スタンバイモード		ノーマル、ネットワークスタンバイ、 スリープ	105
		ダイレクトパワーオン		オフ、オン	106
		オートパワーオン		オフ、自動、HDMI1、HDMI2、 コンピューター	107
		オートパワーオフ	時刻	1 ～ 60 (分)	
			モード	オフ、オン	
		初期入力選択		ラスト、自動、HDMI1、HDMI2、コンピュ ーター、HDBaseT、USB-A、LAN	108
		CO2 換算係数			109
		通貨選択		\$、€、JP¥、RMB¥	
		電気料金換算係数			
		コンバージェ ンス	水平赤		
			水平緑		
	水平青				
	垂直赤				
	垂直緑				
	垂直青				

メニュー		選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー		
情報	使用時間 B	ライト使用時間、総 CO2 削減量、 総電気料金削減量	110
	信号 (1) B	信号名、信号番号、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期形態、同期極性、走査方式	
	信号 (2) B	信号形式、色深度、ビデオレベル	
	HDBaseT	信号品質、オペレーションモード、リンクステータス、HDMI ステータス	
	有線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス	
	無線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、SSID、通信モード、セキュリティ、チャンネル、信号レベル	
	VERSION (1) B	FIRMWARE、DATA、	
	VERSION (2) B	FIRMWARE2、DATA2	
	その他 B	日付と時刻 B 、プロジェクター名 B 、ホスト名 B 、MODEL NO. B 、SERIAL NUMBER B 、LAN UNIT TYPE、CONTROL ID B ※2	
	状態	吸気温度、排気温度	
リセット	—	表示中の信号	111
		全データ	

※2：CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

4-3. 入力端子

投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。



HDMI1	HDMI1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンピューター	コンピューター映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDBaseT	HDBaseT 対応の伝送機器から送られてくる映像信号を投写します。
USB-A	ビューワーを起動します。 本機にセットした USB メモリーのデータを投写します。
LAN	MultiPresenter のスタート画面を表示します。 LAN ポート (RJ-45) または添付の無線 LAN ユニット (NP05LM3) を介してコンピューターから送られてくるデータを投写します。

[参考]

- コンポーネント入力信号をコンピューター映像入力端子に接続している場合は、コンピューターを選択してください。
コンピューター映像入力端子の入力信号は、コンピューター信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

4-4. 調整

映像



●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。

本機の工場出荷時は、プリセット項目 1～7 に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目 1～7 に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPoint などプレゼンテーションするときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGB に準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられている DICOM 規格に近似した設定にします。

【注意】

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM 規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

【参考】

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピューターやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年に Hewlett-Packard 社と Microsoft 社が策定し、1999年に IEC の国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」の DICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピューター断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

●詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目 1～7 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、〈決定〉ボタンを押します。

ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、画面モード、カラーエンハンスメントの項目について、細かな設定ができます。



全般—参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

全般—ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

【注意】

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

全般—スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正にします。

大	150 型前後のサイズのときに選択します。
中	100 型前後のサイズのときに選択します。
小	50 型前後のサイズのときに選択します。

[注意]

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ選択できます。

全般—色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

5000K から 10500K まで、100K 単位で設定できます。

[注意]

- 参照で「高輝度モード」を選択した場合、色温度は選択できません。

全般—ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると、最適なコントラスト比に調整します。

[注意]

- 輝度一定モードが動作している場合はダイナミックコントラストを選択できません。
- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合、ダイナミックコントラストは選択できません。

全般 — 画面モード

投写する映像が静止画の場合、またはアニメーションなどの動きのある映像の場合に応じて、最適な画面のモードに設定します。

[注意]

- 参照で「高輝度モード」を選択した場合のみ選択できます。

全般—カラーエンハンスメント

映像の色の濃さを調整します。「弱」「中」「強」の順に色が濃くなりますが、画面は暗くなります。「オフ」を選択したときは、カラーエンハンスメントは機能しません。

【注意】

- 参照で「sRGB」または「DICOM SIM.」を選択した場合、カラーエンハンスメントは選択できません。

ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。

【注意】

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像を調整します。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

[注意]

- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

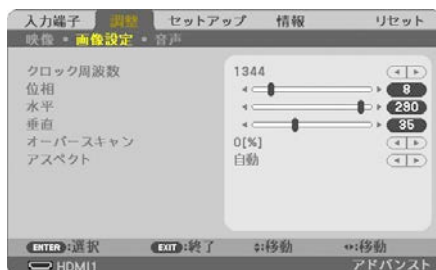
入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピューター /HDMI/ HDBaseT の RGB 系	○	○	○	×	×
コンピューター /HDMI/ HDBaseT のコンポーネ ント系	○	○	○	○	○
USB-A、LAN	○	○	○	×	×

(○：調整可、×：調整不可)

●リセット

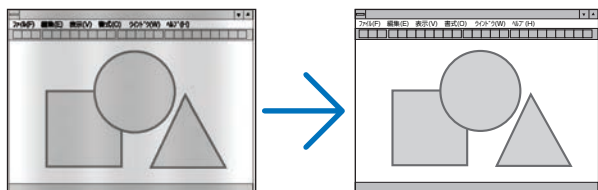
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

画像設定



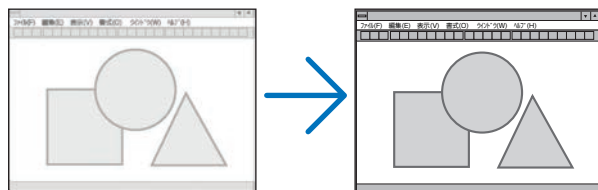
●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



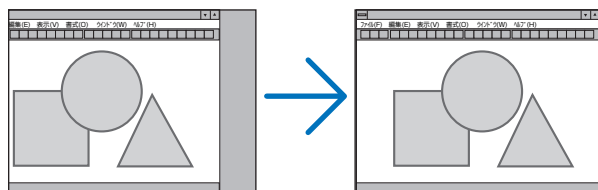
●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



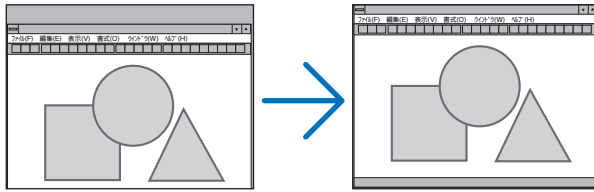
●水平

画面を水平方向に移動します。



●垂直

画面を垂直方向に移動します。

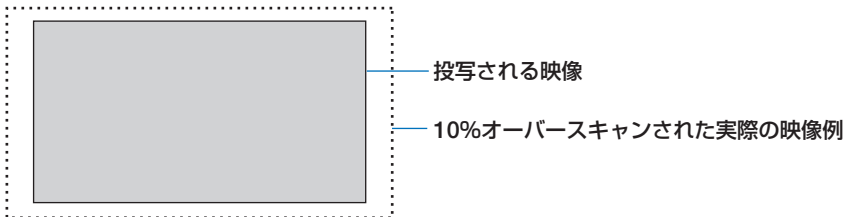


【注意】

- クロック周波数、位相、水平、垂直は、アナログ信号を入力している場合のみ選択できます。
- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号（解像度、水平・垂直走査周波数）を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」または「全データ」でリセットしてください。

●オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。「自動」を選択すると、入力信号に最適なオーバースキャンをして表示します。



【注意】

- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。

●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

選択項目	説 明
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4 : 3	4 : 3 のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9 のサイズで投写します。
15 : 9	15 : 9 のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10 のサイズで投写します。
レターボックス	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均等に拡大して投写します。映像の上端と下端は表示されません。
リアル	コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピューター入力信号の解像度のまま投写します。 【例】 解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき  【注意】 ● コンピューター以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。 ● コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度以上のときは「リアル」は選択できません。

[参考]

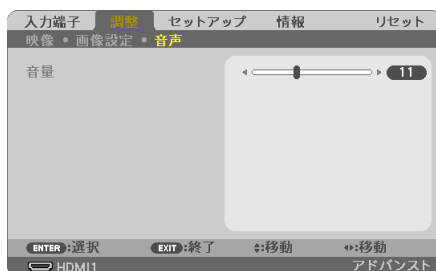
・コンピュータの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

	解像度	アスペクト比
VGA	640 × 480	4 : 3
SVGA	800 × 600	4 : 3
XGA	1024 × 768	4 : 3
WXGA	1280 × 768	15 : 9
WXGA	1280 × 800	16 : 10
WXGA+	1440 × 900	16 : 10
SXGA	1280 × 1024	5 : 4
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3
UXGA	1600 × 1200	4 : 3
Full HD	1920 × 1080	16 : 9
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10
4K	3840 × 2160	16 : 9

音声

●音量

本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

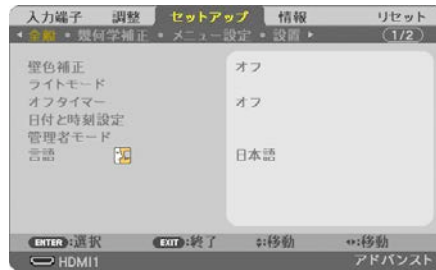


[参考]

- 音量は、本体操作部の◀ / ▶ボタン、およびリモコンの音量+ / -ボタンでも調整できます。

4-5. セットアップ

全般



●壁色補正



映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

[注意]

- 「ホワイトボード」を選択すると、明るさが低下します。

● ライトモード

省エネの設定やマルチスクリーン投写時の各プロジェクター間の輝度合わせの調整です。
省エネ設定は 60 ページの「3-4. エコモードと省エネ効果」をご覧ください。

エコモード	オフ	輝度（明るさ）が、「調整」で設定した明るさになります。
	エコ	輝度とファンを制御することで動作音が小さくなり消費電力も下がります。
	長寿命	光源の寿命を延ばすことを優先するモードです。
調整		出力を 50 ～ 100% の範囲（1% 刻み）で調整できます。 複数台のプロジェクターを使用してマルチスクリーン投写したとき、各プロジェクターの輝度合わせに使用できます。 エコモードが「オフ」のとき調整が有効になります。
輝度一定モード	オフ	輝度一定モードが解除されます。
	オン	「オン」に切り替えた時点の明るさを基準にして、明るさを一定に保つように制御します。調整値は「オフ」にしない限り電源を切っても記憶しています。 - 再度輝度調整を実施する場合は、一度「オフ」にしてから輝度調整してください。 [注意] ● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。

[注意]

- 輝度一定モードは、エコモードが「オフ」で、調整が 50 ～ 70% の場合に選択できます。
- 輝度一定モードを「オン」に設定している場合、エコモードと調整は選択できません。

[参考]

- 通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、使用時間に応じて出力を自動調整し、輝度を維持できます。
ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。

●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。

オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケーターの青色が長い点滅になります。

●日付と時刻設定

MultiPresenter のスタート画面を表示します（→ [180](#) ページ）

●管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのキーワードを設定します。

メニューモード	ベーシックメニューとアドバンスドメニューを選択します。それぞれのメニューで使用する項目は 74 ページをご覧ください。
設定値を保存しない	オンを選択すると、オンスクリーンメニューで設定した項目の値を保存しません。
キーワード	管理者モードにパスワードを設定します。▲▼◀▶ボタンと決定ボタンを使って入力します。（最大 10 文字）

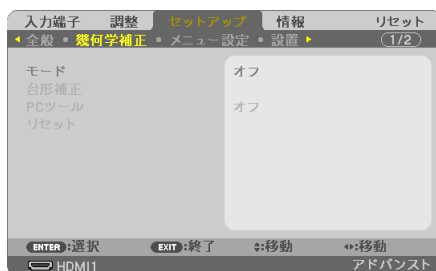
●言語

メニューに表示される言語を選択します。

[参考]

- 言語は、リセットしても変更されません。

幾何学補正



●モード

投写画面の歪みを補正する方法を選択します。
オフを選択すると、幾何学補正が無効になります。

●台形補正

投写画面の歪みを補正するのが台形補正です。

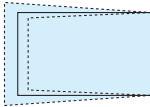


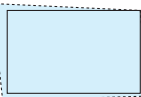
台形補正には、台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正 左端 / 右端、ピンクッション補正 端 / 下端、4点補正があります。

台形補正 水平と台形補正 垂直は、同時に調整することができます。

いずれかを選択して調整すると、同時に調整できない補正はグレー表示になります。

他の補正に変更する場合は、リセットしてください。

台形補正 水平	スクリーンに対してプロジェクターを斜横方向から投写しているときの調整です。 (→ 51 ページ)	
台形補正 垂直	スクリーンに対してプロジェクターを上または下向きから投写しているときの調整です。(→ 51 ページ)	
ピンクッション補正 左端 / 右端	投写画面の左端と右端のわん曲歪みを調整します。(→ 64 ページ)	

ピンクッション補正 上端 / 下端	投写画面の上端と下端のわん曲歪みを調整します。(→ 64 ページ)	
4 点補正	投写画面の四隅を選択してスクリーンに合わせる調整方法です。(→ 62 ページ)	

[注意]

- 台形補正、ピンクッション補正および 4 点補正は電氣的な補正をしているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 調整すると調整値は上書きされます。電源を切っても調整値を保持しています。

[参考]

- 4 点補正および台形補正での調整範囲は次のとおりです。

	水平方向	垂直方向
4 点補正	最大 ±約 30°	最大 ±約 30°
台形補正		

・ 信号によっては、最大範囲まで調整できない場合があります。

● PC ツール

本機にあらかじめ登録されている幾何学補正のデータを呼び出します。
 当社のアプリケーションソフト ProAssist (→ 66 ページ) を使った幾何学補正データは、ここに登録されます。

[注意]

- 幾何学補正は電氣的な補正をしているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

●リセット

幾何学補正のモードで選択されている項目をリセットします。
選択しているモードにより動作が異なります。

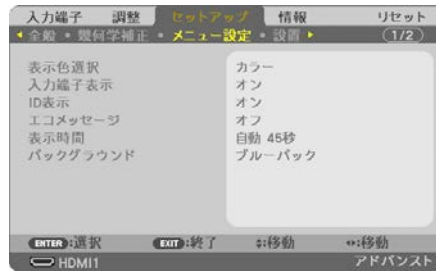
モード	動作
台形補正	台形補正の全ての調整値を初期値に戻します。
PC ツール	設定をオフにします。 登録されたデータはリセットされません。
オフ	リセットは無効です。

.....

[参考]

- リモコンの台形補正ボタンを 2 秒以上押してもリセットできます。
-

メニュー設定



●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次のように表示します。

- ・入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピューター」などの入力端子名を表示します。
- ・信号が入力されていないときは、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。ただし、入力端子で USB-A または LAN を選択しているときは、無信号ガイダンスを表示しません。

●ID 表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロール ID 機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンのボタンを押したときに、コントロール ID 画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロール ID (→ 99 ページ) をご覧ください。

●エコメッセージ

本機の電源を入れたときに、エコメッセージを表示するか、しないかを選択します。

エコメッセージは、本機の利用者に省エネをすすめるためのメッセージで、エコモードが「オフ」の場合はエコモードを設定するように促します。

表示を消すには戻るボタンを押します。また、30 秒間ボタン操作をしないと自動で消えます。

●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

●バックグラウンド

入力端子の HDMI 1、HDMI 2、コンピューターまたは HDBaseT を選択している場合で、入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

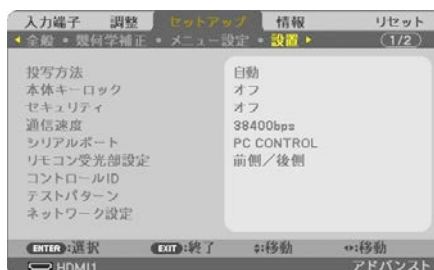
[注意]

- 入力端子表示を「オン」にしているときは、バックグラウンドの設定に関わらず、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。

[参考]

- ロゴとして表示する背景画像を変更するには、[136](#) ページをご覧ください。
- バックグラウンドは、リセットしても変更されません。

設置



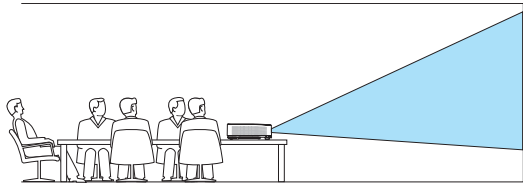
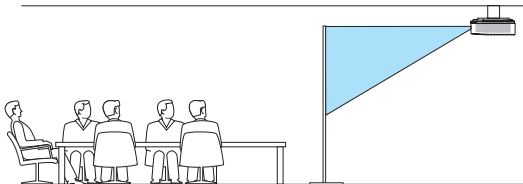
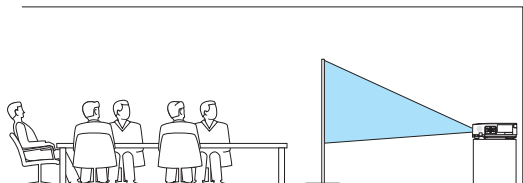
●投写方法

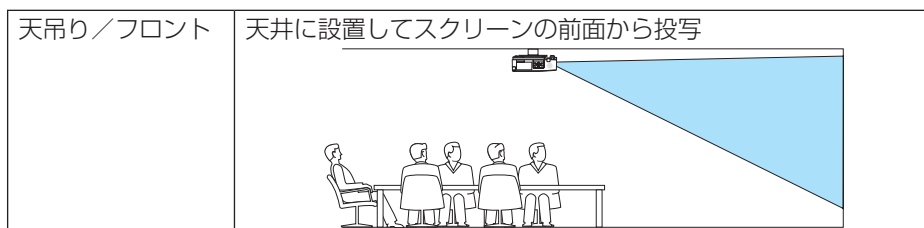
本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



警告

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

自動	本機の電源を入れたときに、本体内部のセンサーで、デスク／フロントであるか、天吊り／フロントであるかを判別して、投写方法を切り替えます。
デスク／フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り／リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 



●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが動きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

[注意]

● 本体キーロックの解除方法

- (1) 投写中またはスリープ状態のときは、本体の入力切替ボタンを約 10 秒間押すと、本体のキーロックの設定が解除されます。
- (2) スタンバイ状態のときは、本体の  (電源) ボタンを約 10 秒間押すと本機の電源を入れることができます。本機が投写状態に移行したあと、(1) の操作してください。

[参考]

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に  アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。セキュリティ設定のしかたは「3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する」(→ [67](#) ページ) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

[参考]

- セキュリティは、リセットしても解除されません。
-

●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度を設定します。接続する機器と転送速度を合わせてください。

[参考]

- 通信速度は、リセットしても変更されません。
-

●シリアルポート

市販の HDBaseT 伝送機器側からプロジェクターを遠隔操作する（電源の入 / 切など制御信号）場合、本機のどの端子でシリアル制御信号を受信するかの設定です。遠隔操作しない（映像と音声のみの伝送）場合は設定の必要はありません。

PC CONTROL	PC コントロール端子で制御信号（RS-232C シリアル通信）を受信します。
HDBaseT	Ethernet/HDBaseT ポートで映像 / 音声と制御信号（RS-232C シリアル通信）を受信します。

[注意]

- 「HDBaseT」設定時は、スタンバイモード（→ [105 ページ](#)）がノーマルまたはネットワークスタンバイの設定に関わらず、" スリープ状態 " になります。それにより、本機がスタンバイ状態のとき、接続している HDBaseT 伝送機器から本機の電源を入れることができます。
また、「HDBaseT」設定時、スタンバイモードの設定は変更できません。
-

[参考]

- LAN ポートでプロジェクターを制御するときは、どちらの設定でも動作します。
-

●リモコン受光部設定

本体前面と後面および HDBaseT のリモコン受光部を設定します。

選択後、決定ボタンを押すと確認画面が開きます。◀ ボタンを押してカーソルを「はい」に合わせて、決定ボタンを押すと設定されます。

すべて	前側、後側のリモコン受光部と HDBaseT（電源入時）からのリモコン信号を有効にします。
前側／後側	前面および後面のリモコン受光部を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。
HDBaseT	市販の HDBaseT 伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定し、リモコンを使って本機を操作する場合に選択します。

[参考]

- 本機を天吊り設置したときなどに、蛍光灯の影響でリモコンが利きづらくなる場合があります。その場合はリモコン受光部設定を変更してみてください。

●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1 ～ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

[注意]

- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

[参考]

- コントロール ID は、リセットしても変更されません。
- 本体の決定ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

リモコンへの ID の設定／変更方法

1. プロジェクターの電源を入れる。

2. リモコンの ID SET ボタンを押す。

コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

3. リモコンの ID SET ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または CLEAR ボタンを押します。

【参考】

- リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。

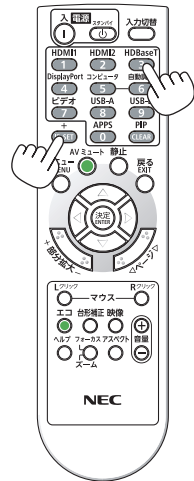
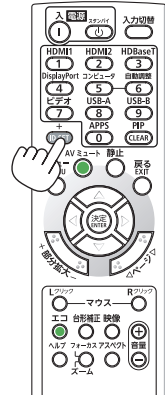
4. ID SET ボタンを離す。

コントロール ID 画面が表示されます。

このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

【注意】

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。



●テストパターン

プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認およびフォーカスを調整する際に表示します。

オンスクリーンメニューで「テストパターン」を選択すると、調整用のパターンが表示されます。画面に歪みがある場合は、プロジェクターの設置角度を変更するか、リモコンの台形補正ボタンを押して調整してください。

フォーカスを調整する場合は、フォーカスリングを回してください。

フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で30分以上経過したのちに調整することをおすすめします。

テストパターンを消す場合は、戻るボタンを押します。

●ネットワーク設定

ネットワーク設定メニューを表示します。(→ [141](#) ページ)

オプション (1)



●シームレススイッチング

入力端子切り替え時、切り替え前の映像を保持 (フリーズ) することで、無信号状態を経ずに切り替え後の映像が映し出されます。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサーにより、適切な速度で回転します。
高地	標高約 1600m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選 びます。常に高速で回転します。

[注意]

- 標高約 1600m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1600m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後内部の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 高地で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットしても変更されません。

●信号選択

コンピューター映像入力端子に入力する信号の選択です。通常は「RGB/ コンポーネント」に設定します。画像の色彩が不自然な場合には設定を切り替えてください。

RGB / コンポーネント	RGB とコンポーネント信号を自動判別します。
RGB	RGB 入力に切り替えます。
コンポーネント	コンポーネント入力に切り替えます。

● WXGA モード

「オン」にすると、入力信号を認識する際、ワイド信号（WXGA：1280 × 768 ドット／WUXGA：1920 × 1200 ドット）を優先します。

WXGA モードを「オン」に設定しているとき、XGA（1024 × 768 ドット）信号または UXGA（1600 × 1200 ドット）信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は WXGA モードを「オフ」にしてください。

【参考】

- 工場出荷時の設定は「オン」になっています。

●デインターレース

ビデオや DVD など標準画質映像（480i または 575i 信号）および HDTV（1080i 信号）のときにインターレース信号の映像のちらつきを低減させます。

【注意】

- 動画信号によっては、映像にギザギザが目立つ場合があります。このようなときは「オフ」に設定してください。
- HDTV（プログレッシブ）、コンピューター入力信号のときは選択できません。
- 接続する機器によっては、選択できない場合があります。

●ビデオレベル

本機の HDMI 1 入力端子、HDMI 2 入力端子および Ethernet/HDBaseT ポートと外部機器とを接続した場合の映像信号レベルの選択です。

自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「標準」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
標準	拡張を無効にします。
拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。

●音声入力選択

本機の HDMI1 入力端子、HDMI2 入力端子、LAN ポートおよび Ethernet/HDBaseT ポートの音声入力の選択です。

アナログ音声を入力するときは、本機の音声入力端子と接続機器の音声出力端子を接続し、音声入力選択を「コンピューター」に設定します。

●ビープ音

電源の入／切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

【参考】

- ビープ音の音量は調整できません。また、AV ミュートボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、ビープ音を「オフ」に設定してください。

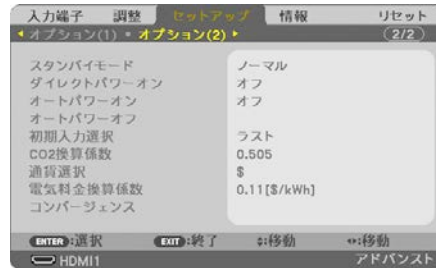
●LAN ポート

有線 LAN に接続して制御するポートを選択します。

各ポートについては接続端子部の説明をご覧ください。(→ [30 ページ](#))

LAN	LAN ポートを経由して本機を制御します。
HDBaseT	Ethernet/HDBase ポートを経由して本機を制御します。

オプション (2)



●スタンバイモード

本機の電源を切った後の状態を設定します。

ノーマル	スタンバイ状態になり、消費電力が下がります。電源インジケータはオレンジ色で点滅します。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の ⏻ ボタン、リモコンの電源入ボタン、PC コントロール端子を使った電源オン、オートパワーオン	消費電力 低
ネットワークスタンバイ	ネットワークスタンバイ状態になります。有線 LAN (LAN ポート) を使って本機の電源を入れることができます。 電源インジケータはオレンジ色で点灯します。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の ⏻ ボタン、リモコンの電源入ボタン、PC コントロール端子を使った電源オン、オートパワーオン、ネットワークサービス	消費電力 中
スリープ	スリープ状態を維持します。ネットワークスタンバイで動作するボタン、端子、機能に加え、Ethernet/HDBaseT ポートに接続した HDBaseT 対応の伝送機器を使って本機を操作することができます。 電源インジケータは緑色で点灯します。	消費電力 高

[重要]

- 「ネットワークスタンバイ」に設定している場合、LAN が 3 分間リンクダウンすると、消費電力を下げるために、自動的に「ノーマル」に変わります。
- 「ネットワークスタンバイ」を選択するとオートパワーオフは選択できなくなり（灰色表示）、自動的にオートパワーオフの「0:15」が選択された状態になります。

次ページに続く

- 以下の状態では、スタンバイモードの設定は無効となりスリープ状態※になります。
 ※スリープ状態とは、スタンバイモードの設定による機能制限をなくした状態です。
 スタンバイモードの設定が「ネットワークスタンバイ」の場合
 - ・ ネットワークサービス → AMX ビーコン → 「オン」 のとき
 - ・ ネットワークサービス → Extron XTP → 「オン」 のとき
 - ・ ネットワークサービス → CRESTRON → Crestron Control → 「オン」 のとき
 - ・ ネットワーク設定 → 無線 LAN → 「無効」 以外のときでかつ無線 LAN ユニットが接続されているとき
 - ・ コンピュータ映像入力端子に信号入力があるとき
 - ・ HDMI1 入力端子に信号入力があるとき
 - ・ HDMI2 入力端子に信号入力があるとき

[参考]

- スタンバイモードを「ノーマル」にしている場合、PC コントロール端子を使った電源のオン/オフはできません。ただし、「ノーマル」では、ASCII コントロールコマンドは使用できません。
 ASCII コントロールコマンドを使用する場合は、「ネットワークスタンバイ」または「スリープ」に設定してください。
- スタンバイモードは、リセットしても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメーターの CO₂ 削減量の計算から除外しています。

●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。
 本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。初期入力選択 (→ 108 ページ) で設定している信号が投写されます。

●オートパワーオン

本機がスタンバイ状態のとき、コンピューター信号または HDMI 信号が入力されると自動的に投写する設定です。

本機のコンピューター映像入力端子、HDMI1 入力端子または HDMI2 入力端子と機器を接続して、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン機能は働きません。
自動	コンピューター信号または HDMI 信号を感知すると本機の電源を自動で入れて投写します。 本機に複数の機器を接続していて、入力信号が正しく検出されない場合は、HDMI1、HDMI2、コンピューターの中から入力端子を選択してください。
HDMI1	選択した入力端子の信号を検出します。
HDMI2	信号を感知すると、本機の電源を自動で入れて投写します。
コンピューター	

【注意】

- コンピューター映像入力端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン (Sync on Green) またはコンポジットシンク (Composite Sync) のコンピューター信号の場合は働きません。
- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオンを働かせたい場合は、電源を切ってスリープ状態になったあと 30 秒以上待ってから、コンピューター信号または HDMI 信号を入力してください。
本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、コンピューター信号または HDMI 信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。
- ご使用の機器によっては、オートパワーオンが正常に動作しない場合があります。その場合は、スタンバイモードを「ネットワークスタンバイ」に設定してください。

●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

時刻		本機をスタンバイ状態にするまでの無信号状態の時間を 1 から 60 分の間で設定します。
モード	オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
	オン	「時刻」で設定した時間以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

.....

【参考】

- スタンバイモードのモードごとにオートパワーオフを設定することができます。
各モードの工場出荷時の設定は以下のとおりです。

	時刻	モード
ノーマル	60 分	オン
ネットワークスタンバイ	15 分	オン
スリープ	5 分	オフ

- プロジェクターの電源が切れるまでの残り時間が 3 分になると、画面下部に「3 分以内にパワーオフします。」というメッセージが表示されます。
ただし、時刻で 1 分、2 分、または 3 分を選択した場合、プロジェクターの電源が切れるまでの残り時間が 30 秒になると、上記のメッセージが表示されます。
-

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかを設定します。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号を自動検出し、最初に見つかった入力信号を投写します。
HDMI1	HDMI 1 入力端子の入力信号を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子の入力信号を投写します。
コンピューター	コンピューター映像入力端子の入力信号を投写します。
HDBaseT	HDBaseT 対応の伝送機器から送られてくる映像信号を投写します。
USB-A	ビューワーを表示します。
LAN	LAN ポート (RJ-45) または無線 LAN ユニットの介してコンピューターから送られてくるデータを投写します。

● CO₂ 換算係数

カーボンメーターに表示する CO₂ 削減量を算出するための CO₂ 排出係数を設定します。
初期値は、0.505 [kg-CO₂/kWh] に設定しています。

●通貨選択

カーボンメーターに表示する電気料金削減量の通貨単位を選択します。

\$	米国ドル
€	欧州ユーロ
JP¥	日本円
RMB¥	中国元

●電気料金換算係数

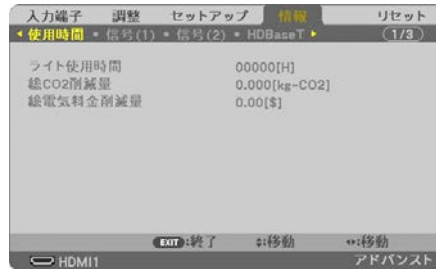
カーボンメーターに表示する電気料金削減量を算出するための係数として、1kWh あたりの電気料金を設定します。

●コンバージェンス

画面の色ずれを調整します。

水平 赤、水平 緑、水平 青は水平方向、垂直 赤、垂直 緑、垂直 青は垂直方向に± 1 画素の調整ができます。

4-6. 情報



※「使用時間」選択時の画面です。

ライト使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN や無線 LAN のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

サブメニュー	項目名
使用時間	ライト使用時間、総 CO2 削減量、総電気料金削減量
信号 (1)	信号名、信号番号、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期形態、同期極性、走査方式
信号 (2)	信号形式、ビデオ標準、色深度、ビデオレベル
HDBaseT	信号品質、オペレーションモード、リンクステータス、HDMI ステータス
有線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス
無線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、SSID、通信モード、セキュリティ、チャンネル、信号レベル
VERSION (1)	FIRMWARE、DATA
VERSION (2)	FIRMWARE2、DATA2
その他	日付と時刻、プロジェクター名、ホスト名、MODEL NO.、SERIAL NUMBER、LAN UNIT TYPE、CONTROL ID
状態	吸気温度、排気温度

- ・ 使用時間ページの「総 CO2 削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。(→ [61 ページ](#))
- ・ 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(→ [161 ページ](#)) もあわせてご覧ください。

4-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされるデータ】

プリセット・コントラスト・明るさ・シャープネス・カラー・色相・クロック周波数・位相・水平・垂直・オーバースキャン・アスペクト

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

台形補正 水平 / 垂直・ピンクッション補正・PC ツール・日付と時刻設定・管理者モード・言語・バックグラウンド・投写方法・セキュリティ・通信速度・シリアルポート・コントロール ID・ネットワーク設定・ファンモード・スタンバイモード・CO2 換算係数・通貨選択・電気料金換算係数・コンバージェンス・ライト使用時間・総 CO2 削減量・総電気料金削減量・プロジェクター名・有線 LAN・無線 LAN

5. 機器と接続する

【注意】

- 添付のケーブルを使用してください。
HDMI、LAN、RS-232C、オーディオについてはシールドタイプのケーブルを使用してください。
ミニ D-Sub 15 ピンについては、シールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。
これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。
-

5-1. コンピューターと接続する

コンピューターとの接続は、コンピューターケーブル（市販）および HDMI ケーブル（市販）を使用する方法があります。

- ・ 市販のコンピューターケーブルは、コンピューター側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピューター映像入力端子を接続します。
 - ・ 市販の HDMI ケーブルは、コンピューターの HDMI 出力端子と本機の HDMI 1 または HDMI 2 入力端子を接続します。
-

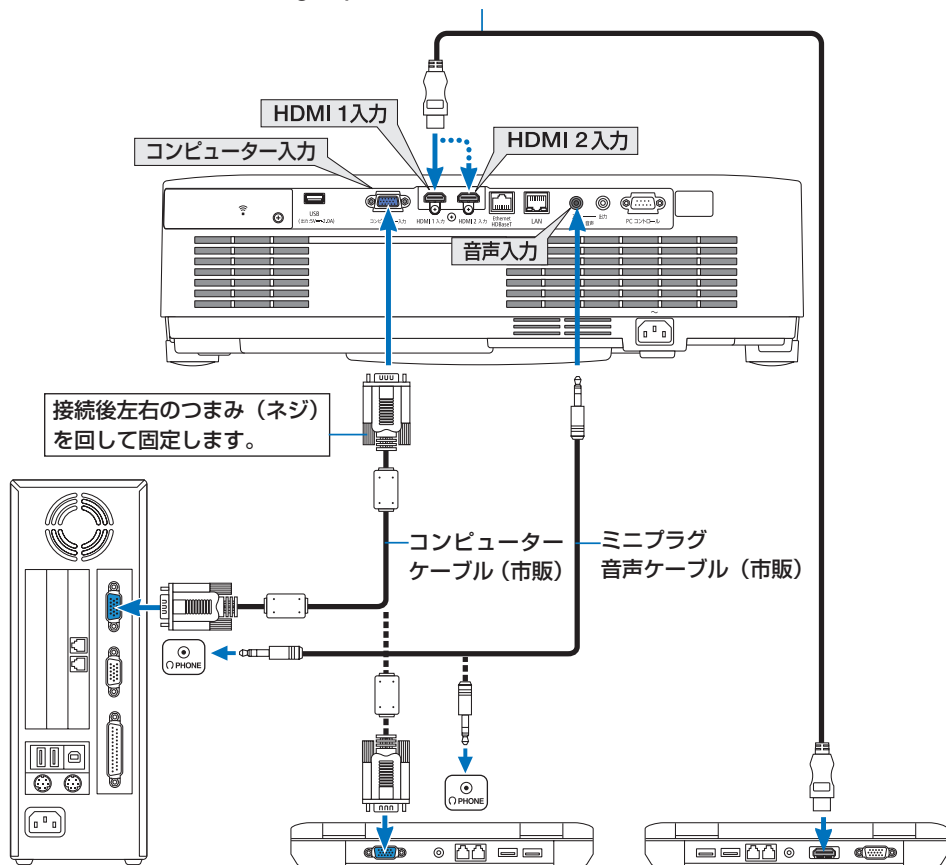
【注意】

- コンピューターや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピューターの音量を低めに調整してください。そして、コンピューターと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピューターの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピューターにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- スキャンコンバーターなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- 接続機器によっては、接続している HDMI ケーブルを抜き差ししたときに HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）の映像が映らなくなることがあります。そのときは、HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）を再度選択してください。

【入力端子の再選択方法】

- ・ リモコンで操作する場合は HDMI 1 または HDMI 2 ボタンを押してください。
 - ・ プロジェクター本体で操作する場合はメニューボタンを押して入力端子画面で HDMI 1（または HDMI 2）を再選択してください。
-

HDMI ケーブル（市販）
High Speed HDMI ケーブルを使用してください。



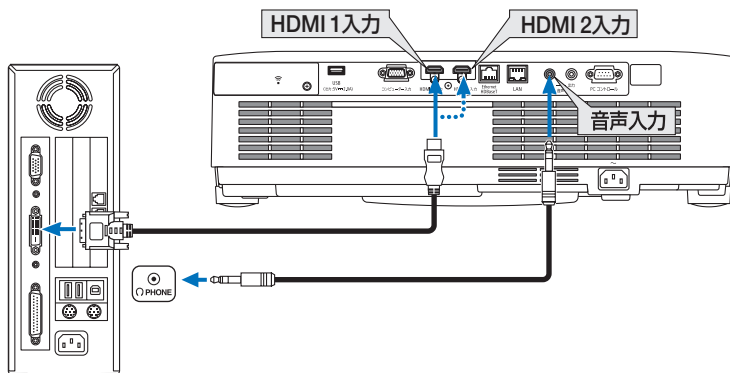
コンピューターによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、コンピューターの取扱説明書でご確認ください。

- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の入力切替ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1 入力端子	 HDMI1	HDMI 1
HDMI 2 入力端子	 HDMI2	HDMI 2
コンピューター映像入力端子	 コンピューター	コンピュータ

[参考]

- コンピューター映像入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Mac との接続では、Mac 用信号アダプタ（市販）が必要になる場合があります。
- コンピューター側が DVI 出力端子の場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブルを使用し、本機の HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）に接続します。
・ デジタル映像信号のみ入力できます。



また、コンピューターの音声出力は、本機の音声入力端子に接続してください。その場合は、本機のオンスクリーンメニューのセットアップ→オプション（1）→音声入力選択で HDMI1 または HDMI2 の設定を「コンピューター」に切り替えてください。（→ 104 ページ）

[注意]

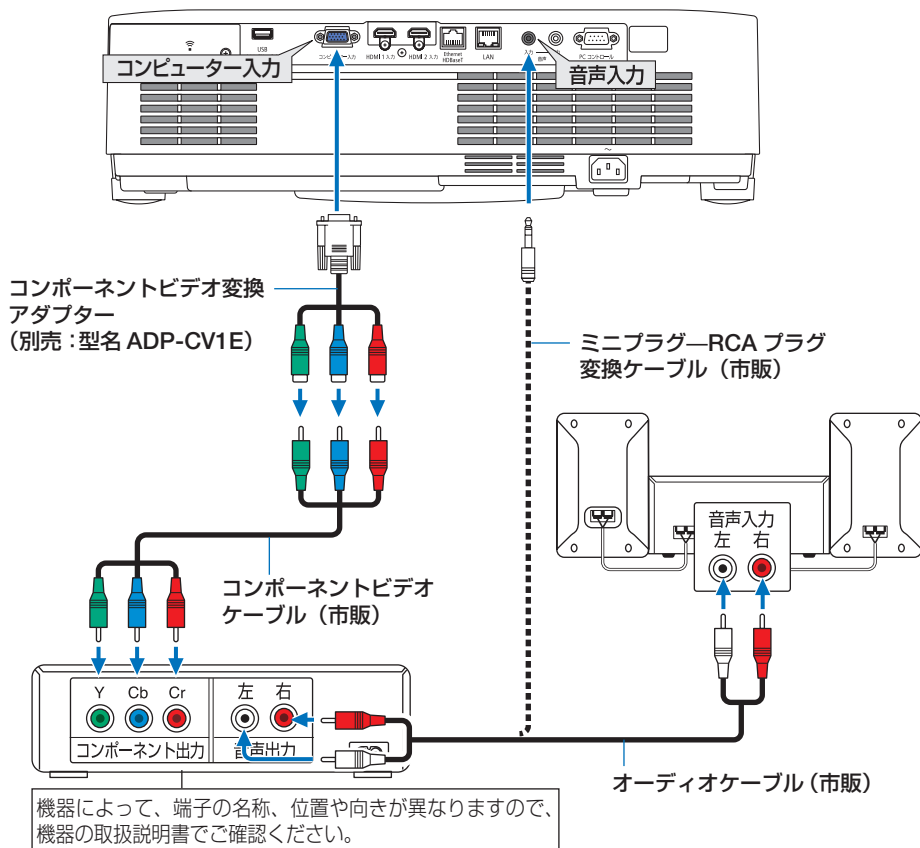
- DVI（デジタル）入力時の注意事項
 - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m 以内のものを使用してください。
 - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルは、本機とコンピューターの電源が切れた状態で接続してください。
 - ・ DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI 入力を選択します。最後にコンピューターを起動してください。
上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピューターを再起動してください。
 - ・ コンピューターのグラフィックカードによっては、アナログ RGB (D-Sub) と DVI（または DFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
 - ・ 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。
一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピューターを再起動してください。

5-2.DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続する

コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤーの色差出力端子（DVD 映像出力）やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子（HD 映像出力）を使って本機で投写することができます。

DVD プレーヤーの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

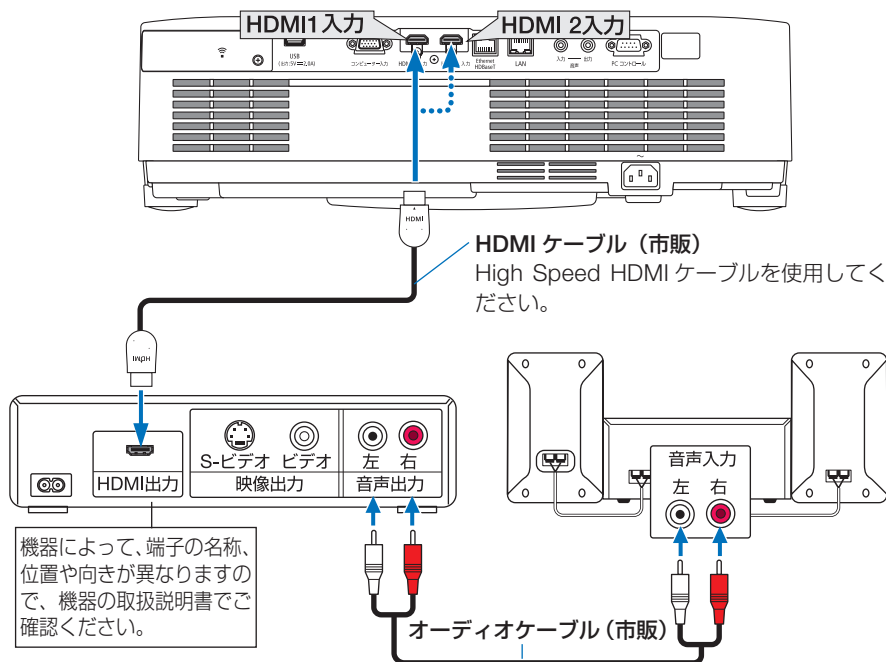
接続端子	本体の入力切替ボタン	リモコンのボタン
コンピューター映像入力端子	 コンピューター	コンピュータ

[参考]

- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、別売の D 端子変換アダプタ（型名 ADP-DT1E）をお使いください。

デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤーまたはデジタル放送チューナーなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。本機の HDMI 1 入力端子または HDMI 2 入力端子はデジタル映像とデジタル音声を入力しますが、本機の内蔵スピーカーはモノラルですので、音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



● 本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

接続端子	本体の入力切替ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1 入力端子	HDMI1	HDMI1
HDMI 2 入力端子	HDMI2	HDMI2

【参考】

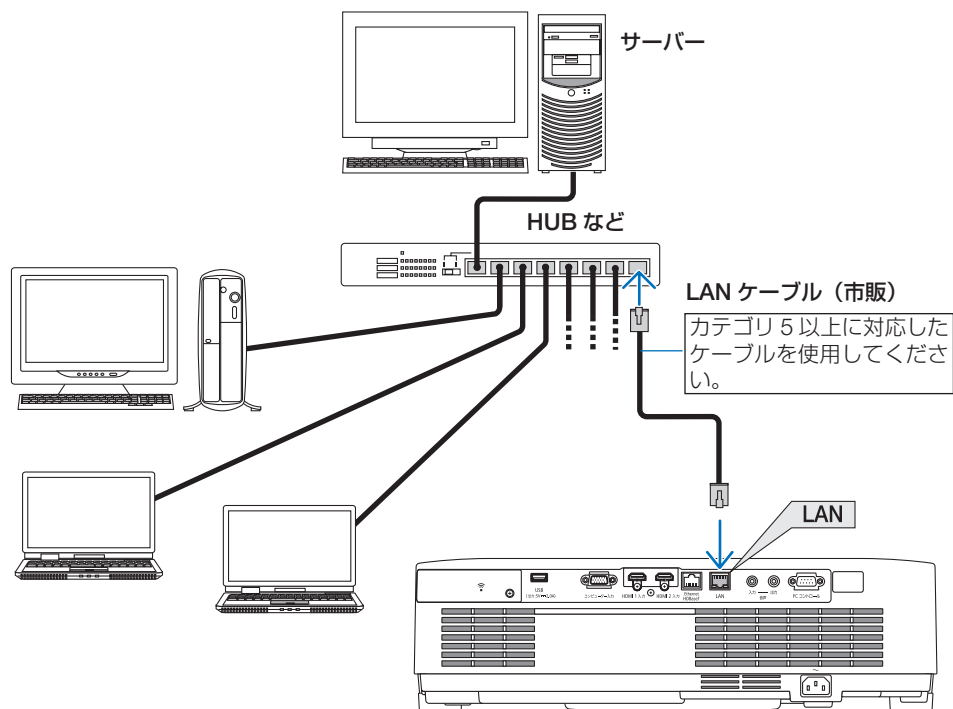
- 本機の HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）に DVD プレーヤーを接続している場合に、DVD プレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの HDMI 設定→HDMI1 または HDMI2 →ビデオレベルで設定します。DVD プレーヤーのビデオレベルの設定については、DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI 1 入力(または HDMI 2 入力)の音声が出力されない場合は、本機のオンスクリーンメニューの音声入力選択が「HDMI1」または「HDMI2」に設定されているか確認してください。(→ 104 ページ)

5-3. 有線 LAN と接続する

本機を有線 LAN に接続すると、HTTP サーバー機能を利用して、コンピューターでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。

詳しくは「7. ネットワークと接続する」(→ [138](#) ページ) をご覧ください。

接続例



5-4. 無線 LAN と接続する

添付の無線 LAN ユニットにより、無線 LAN 環境を利用することができます。本機を無線 LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。詳しくは「7. ネットワークと接続する」(→ [138](#) ページ) をご覧ください。

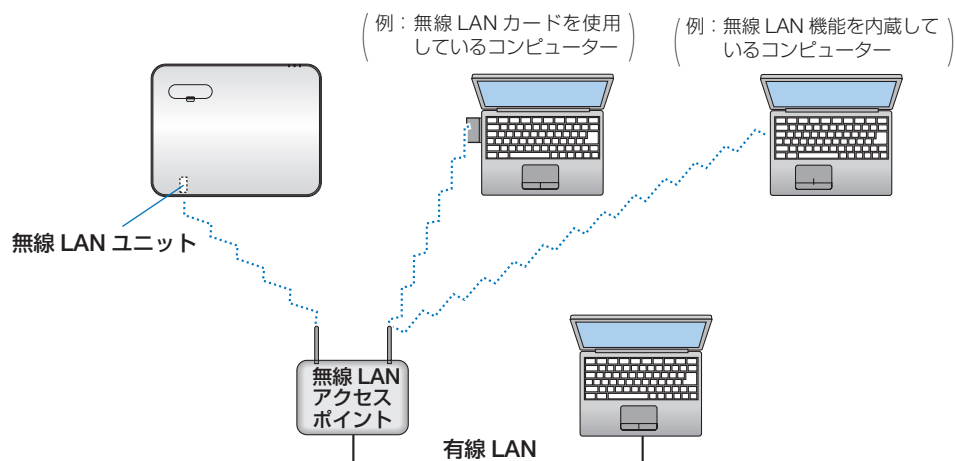
[重要]

- 本機を無線機器が禁止されている区域で使用する場合は、無線 LAN ユニットを取り外してください。

[注意]

- 無線 LAN ユニットのボタンは押さないでください。本機では使用できません。
- コンピューター側の無線 LAN アダプター (またはユニット) は、Wi-Fi (IEEE802.11a/b/g/n) 規格のものを使用してください。

無線 LAN への接続例



無線 LAN ユニットの取り付けかた

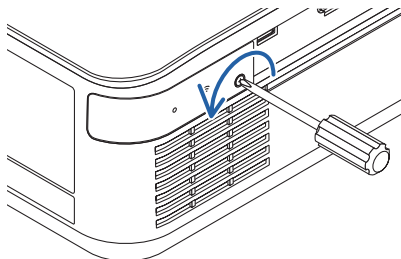
[注意]

- 無線 LAN ユニットには表と裏があり、USB（無線 LAN）ポートに取り付ける向きが決まっています。逆に取り付けようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると、USB（無線 LAN）ポートが壊れます。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 無線 LAN ユニットを取り付け／取り外しするときは、電源コードを外してください。本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときに無線 LAN ユニットを取り付け／取り外しすると、無線 LAN ユニットが壊れたり、本機が誤動作することがあります。万一本機が誤動作した場合は、本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。その後電源コードを差し込んでください。
- 無線 LAN カバーの中にある USB（無線 LAN）ポートには、無線 LAN ユニット以外の USB 機器を取り付けしないでください。また、USB ポートには無線 LAN ユニットを取り付けしないでください。

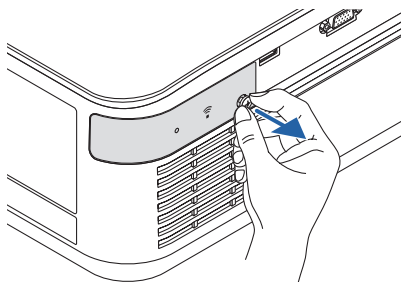
1. 電源ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、電源コードを抜く。

2. 無線 LAN カバーを取り外す。

- ① ネジを空転するまで左へ回します。
 - ・ ネジは外れません。



- ② ネジの頭を持って取り外します。



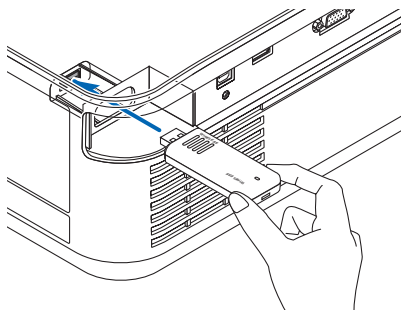
3. 無線 LAN ユニットを USB（無線 LAN）ポートに差し込む。

- 無線 LAN ユニットのキャップを外し、表面（インジケーターのある面）を上向きにして差し込んでください。
- 無線 LAN ユニットの左右上下にゆっくりスライドさせて差し込み口を確認してから押し込んでください。

外したキャップは、取り外したときに使いますので大切に保管してください。

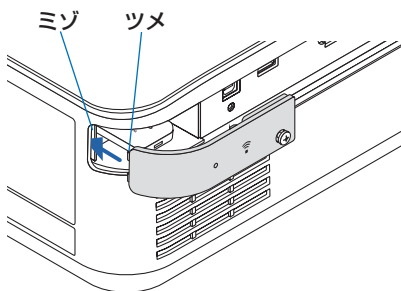
[注意]

- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。

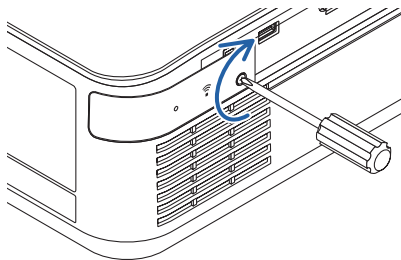


4. 無線 LAN カバーを取り付ける。

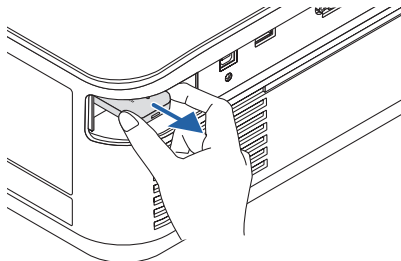
- ① カバーの裏にあるツメを本体のミゾに入れて、無線 LAN カバーを閉めます。



- ② ネジを右へ回して固定します。



- ※ 取り外すときは、電源コードを抜いてから、無線 LAN ユニットを持って引き抜いてください。

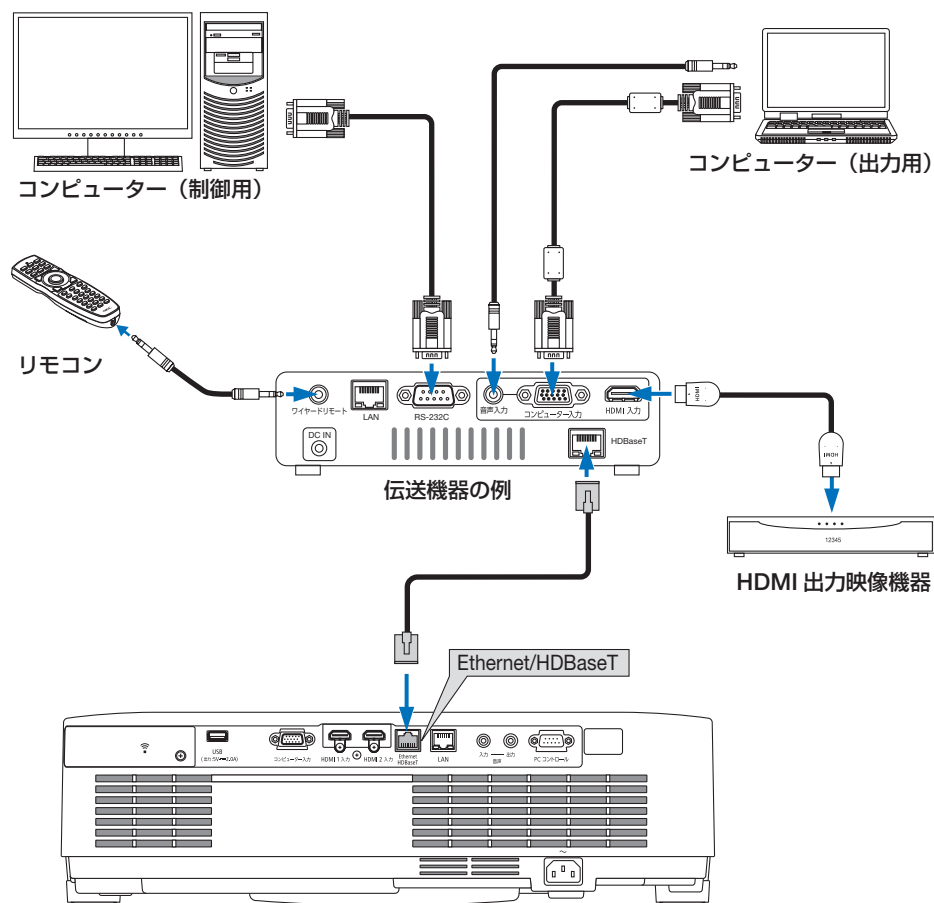


5-5.HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する

HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。市販の LAN ケーブルを使って、本機の Ethernet/HDBaseT ポート（RJ-45）を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。

本機の Ethernet/HDBaseT ポートは、伝送機器からの HDMI 信号（HDCP 対応）、外部機器からのシリアル制御、リモコン信号（IR コマンド）に対応しています。

接続例

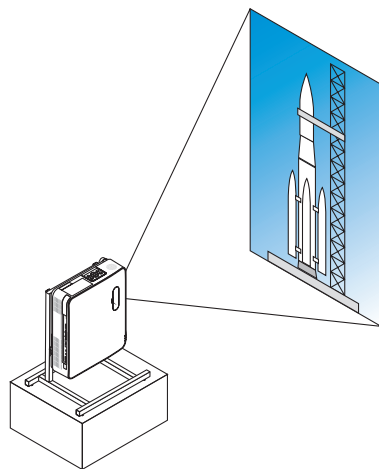


[注意]

- LAN ケーブル（市販）は、カテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア（STP）ケーブルを使用してください。
 - LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100m です（4K 信号の場合は最長 70m）。
 - HTBaseT の接続では、0.5m などの短い LAN ケーブルは使用できません。
 - 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化することがあります。
 - 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。
 - 外部機器から LAN 制御をする場合は、販売店へお問い合わせください。
-

5-6. ポートレート（縦向き）投写をする

本機を縦設置することでコンピューターなどのポートレート画面を投写することができます。なお、オンスクリーンメニュー画面など、すべて反時計方向に回転した表示になります。本体は設置状態を自動で検知するセンサーを搭載しています。



設置上のご注意

- 床や台の上に本体をそのまま縦向きで設置しないでください。吸気口または排気口がふさがれ、本体が高温になり火災や故障の原因となります。
- 本体を支えるスタンドを必ず製作してください。このとき本体の重心がスタンド脚の内側に十分入る様に設計してください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。
- プロジェクター本体やスタンドに不具合が発生した場合を想定して、落下防止の対応が必要です。

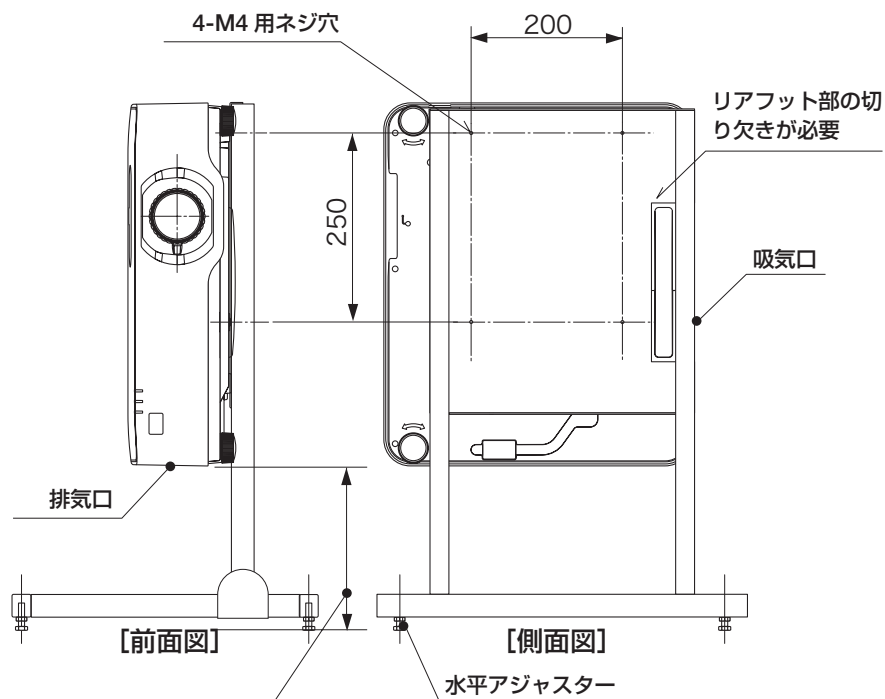
スタンド設計製作の条件

ポートレート投写をするには専用のスタンドをプロジェクター設置業者にご依頼ください（有料）。設計に際しては次のことをお守りください。

1. 排気口を下向きにする場合は、床と本体排気口の距離を 200mm 以上確保してください。
 本体後面の吸気口をパネルなどで塞がないでください。
2. 本体底面にある 4 箇所のネジ穴を使ってスタンドと固定してください。
 ネジ穴センター寸法：200 × 250mm
 本体のネジ穴寸法：M4 ネジ最大深さ 8mm
 ※ 本体底面後部のリアフットがスタンドにぶつからないように設計してください。
 チルトフットは回して外すことができます。
3. 水平調整機構（たとえばボルトとナット：4 箇所）
4. スタンドは容易に転倒しないよう設計してください。

参考図 ※寸法条件を表す図で、実際のスタンド設計図ではありません。

(単位：mm)



排気口を下向きにする場合は、床と本体排気口の距離を 200mm 以上確保してください。

6. ビューワーを使用する

6-1. ビューワーでできること

ビューワーには次のような特長があります。

- 画像を保存した市販の USB メモリーを本機の USB ポート（タイプ A）に差すと、USB メモリー内の画像を本機で投写することができます。これにより、コンピューターを使わずにプレゼンテーションできます。
- ビューワーで投写できる画像の種類は、JPEG と PNG です。
- ビューワーではサムネイルを表示でき、投写する画像を素早く選択できます。
- 複数の画像を連続して投写する場合（スライドショー）は、手動操作で切り替える方法（手動再生）と、自動的に切り替える方法（自動再生）があります。また、自動再生のときは画像の切り替え時間を変更できます。
- 投写する順番は、画像のファイル名、ファイル種別、日付、サイズで指定でき、昇順・降順を選択できます。
- 画像の向きを 90° 単位で変えることができます。
- 入力端子の無信号状態の画面（バックグラウンドロゴ）と MultiPresenter のスタート画面の背景画像（MultiPresenter ロゴ）を変更できます。また、パスワードを設定して、第三者による画像の変更を禁止することもできます。（→ [136 ページ](#)）

[注意]

- ビューワー（スライド画面、ファイルリスト画面）表示中は、▼ボタンによる台形補正はできません。
ビューワー表示中に台形補正を使用する場合は、メニューボタンを 2 回押してオンスクリーンメニューを表示し操作してください。
- ビューワー表示中は、リモコンの静止ボタンは働きません。
- オンスクリーンメニューでリセット→全データを実行すると、ビューワーのオプションメニューの設定は工場出荷状態に戻ります。
- USB メモリーについて
 - ・ 本機のビューワーで使用する USB メモリーは、FAT32 形式、または FAT16 形式でフォーマットしてください。
 - ・ 本機は、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリーを認識できません。
 - ・ 本機に差した USB メモリーが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
 - ・ フォーマット方法については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
 - ・ 本機の USB ポートは、市販されているすべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。

次ページに続く

● 対応画像について

- ・ビューワーで投写できる画像は次のとおりです。

JPEG	拡張子	jpg、jpe、jpeg（大文字小文字は同一視）
	形式	ベースライン、プログレッシブ
	色	RGB、グレースケール
	解像度	ベースライン：最大 10000 × 10000 (pixel) プログレッシブ：最大 2000 × 2000 (pixel)
	EXIF	EXIF 情報（回転 / サムネイルなど）には対応していません。
PNG	拡張子	png（大文字小文字は同一視）
	形式	ノーマル、インターレース
	色	RGB、インデックスカラー、グレースケール
	解像度	ノーマル：最大 10000 × 10000 (pixel) インターレース：最大 2000 × 2000 (pixel)

6-2. USB メモリー内の画像を投写する(基本操作)

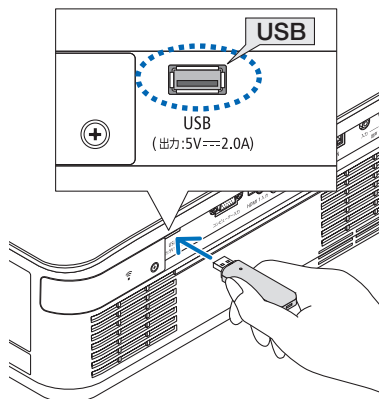
ここでは、ビューワーの基本操作を説明します。ビューワーのオプションメニュー(→ 134 ページ)が工場出荷時の状態になっているときの操作手順です。

① ビューワーを起動する

1. 本機の電源を入れる。
2. 本機の USB ポート(タイプ A)に USB メモリーを差す。

[注意]

- 本機から USB メモリーを取り外すときは、ファイルリスト画面またはドライブ画面でメニューボタンを押して「USB デバイスを取り外す」を選択してください。(→ 133 ページ「USB メモリーを取り外す」)



3. 入力切替ボタンを押す。
入力端子画面が表示されます。

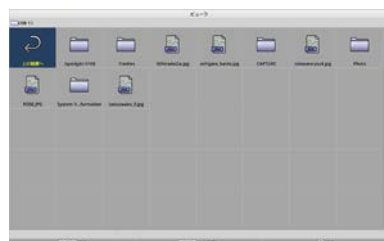
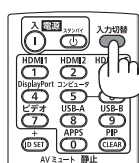
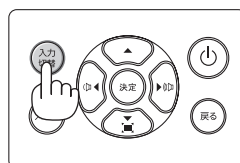
4. 入力切替ボタンを数回押して「USB-A」にカーソルを合わせる。

- ・ 入力切替ボタンを短く押すたびに、次の入力端子にカーソルが移動します。
- ・ 「USB-A」にカーソルを合わせたまましばらくすると、ビューワーが起動し USB メモリー内のドライブ一覧画面が投写されます。

5. 「USB 1」にカーソルが合っていることを確認し、決定ボタンを押す。
ファイルリスト画面が表示されます。

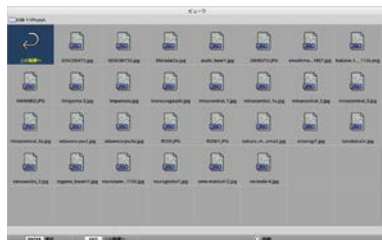
本体

リモコン



6. ▼▲◀▶ボタンでフォルダーまたは画像ファイルにカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

- ・フォルダーを選択した場合は、フォルダー内のファイルリスト画面が表示されます。
- ・画像ファイルを選択した場合は、スライド画面が表示されます。



7. ファイルリスト画面で画像ファイルにカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
スライド画面が表示されます。



8. ▶ボタンを押す。
次の画像が投写されます。



9. ◀ボタンを押す。
前の画像が投写されます。

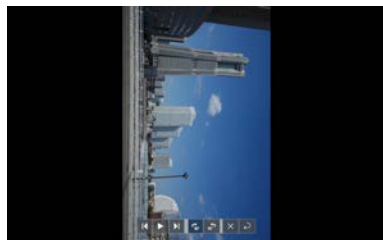
10. メニューボタンを押す。
コントロールバーが表示されます。
- ・コントロールバー表示中にメニューボタンを押すと、入力端子画面が表示されます。もう一度メニューボタンを押すと、入力端子画面は消えます。
 - ・コントロールバー表示中に戻るボタンを押すと、コントロールバーは消えます。



11. ▶ ボタンを押して にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

画像が時計回りに 90° 回転します。

- ・ この状態で決定ボタンを押すごとに、画像が時計回りに 90° 回転します。



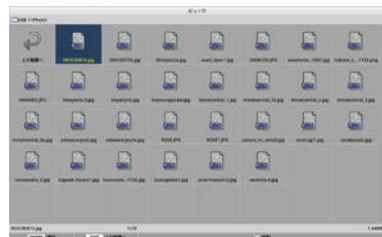
12. ▶ ボタンを押して にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

コントロールバーが消えます。

13. 戻るボタンを押す。

ファイルリスト画面に変わります。

- ・ 手順 10. のコントロールバーで  にカーソルを合わせ、決定ボタンを押してもファイルリスト画面に変わります。
- ・ ファイルリスト画面からスライド画面に戻す場合は、スライド表示する画像にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

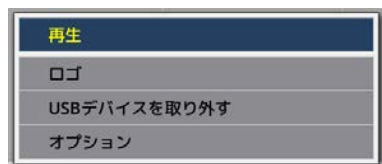


② USB メモリーを取り外す

1 ファイルリスト画面でメニューボタンを押す。

画面左下にポップアップメニューが表示されます。

- ・ ポップアップメニュー表示中にメニューボタンを押すと、入力端子画面が表示されます。もう一度メニューボタンを押すと、入力端子画面は消えます。
- ・ ポップアップメニュー表示中に戻るボタンを押すと、ポップアップメニューは消えます。



2. 「USB デバイスを取り外す」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

画面中央に確認メッセージが表示されます。

3. USB メモリーを取り外す場合は、◀ ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

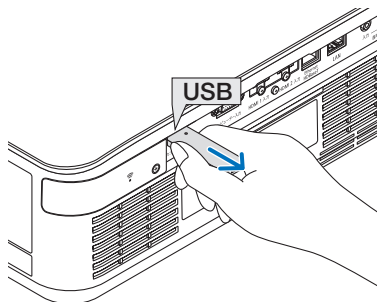
画面中央のメッセージ表示が変わります。

4. 決定ボタンを押す。

5. 本機から USB メモリーを取り外す。

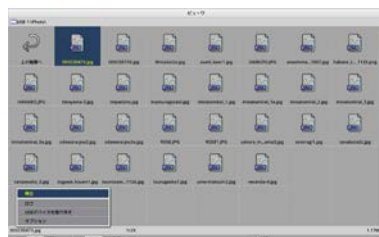
【注意】

- メニューで「USB デバイスを取り外す」を実行せずに本機から USB メモリーを取り外した場合、本機の動作が不安定になることがあります。その場合は、いったん本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。その後約 3 分待って、電源コードをコンセントに接続し、本機の電源を入れてください。

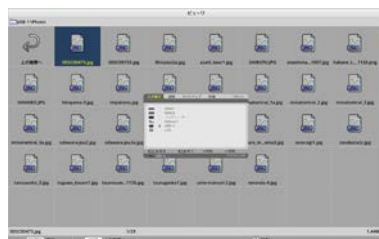


③ビューワーを終了する

1. スライド画面またはファイルリスト画面でメニューボタンを押す。
コントロールバーまたはポップアップメニューが表示されます。



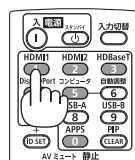
2. もう一度メニューボタンを押す。
入力端子画面が表示されます。



3. 「USB-A」以外の入力端子にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
ビューワーが終了します。

【参考】

- リモコンで操作する場合は、HDMI1 ボタンなどを押すと、ビューワーが終了します。



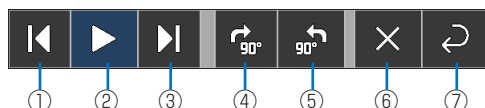
6-3. スライド画面の操作

スライド画面では次の操作ができます。



ボタン名	説明
▶、ページ ▽	次の画像を投写します。
◀、ページ △	前の画像を投写します。
決定	ポインター（→）を表示します。ポインターは▼▲◀▶ボタンを押すと移動します。もう一度決定ボタンを押すとポインターが消えます。
戻る	ファイルリスト画面に切り替えます。
メニュー	コントロールバーを表示します。

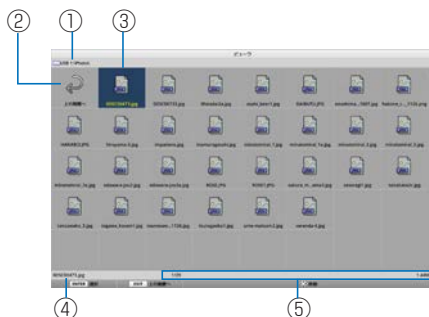
コントロールバーでは、◀ / ▶ ボタンを押して黄色のカーソルを移動し目的の項目で決定ボタンを押します。各項目の動きは次のとおりです。



コントロールバーの項目	説明
① 戻る	前の画像を投写します。
② 再生／停止	スライドショーの自動再生を開始します。またはスライドショーを停止します。
③ 進む	次の画像を投写します。
④ 右 90° 回転	画像を時計回りに 90° 回転します。
⑤ 左 90° 回転	画像を反時計回りに 90° 回転します。
⑥ 終了	コントロールバーを消します。
⑦ ファイルリスト画面へ戻る	サムネイル画面に切り替えます。

6-4. ファイルリスト画面の操作

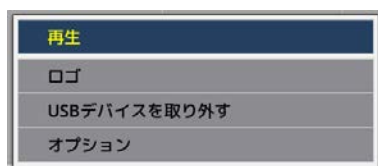
ファイルリスト画面の見かた



表示の名称	説明
① パス	投写しているフォルダーのパスを表示します。 USB メモリーを差しているときはドライブ名が「USB」と表示されます。
② 上の階層へ	上（親）の階層のフォルダーに戻ります。
③ 画像またはフォルダー（アイコン表示または）サムネイル表示	画像やフォルダーをアイコンまたはサムネイル（縮小表示）で表示します。
④ 選択している画像のファイル名	カーソルが当たっている画像のファイル名を表示します
⑤ 情報表示	・ 画像にカーソルがあるとき画像の順番（全画像数分の何番目か）、画像に変更を加えた最新の日時、ファイル容量を表示します。 ・ フォルダーにカーソルがあるときフォルダーの更新日時を表示します。

ファイルリスト画面の操作

ボタン名	説明
▼▲◀▶	カーソルを移動します。
決定	・ 画像にカーソルが合っている場合は、スライド画面に切り替わります。 ・ フォルダーにカーソルが合っている場合は、フォルダー内のファイルが表示されます。 ・ 「上の階層へ」にカーソルが合っている場合は、上（親）の階層のフォルダーに戻ります。
戻る	上（親）の階層のフォルダーに戻ります。
メニュー	次のポップアップメニューを表示します。
ページ ▼	次のファイルリスト画面を投写します。
ページ △	前のファイルリスト画面を投写します。



メニュー項目	説明
再生	スライドショーを開始します。
ロゴ	入力端子の無信号状態の画面（バックグラウンドロゴ）または MultiPresenter のスタート画面の背景画像（MultiPresenter ロゴ）を変更します。
USB デバイスを取り外す	本機に差している USB メモリーを使用停止状態にします。本機から USB メモリーを取り外す前に、このメニュー項目を実行します。
オプション	オプションメニューを表示します。（→ 次ページ ）

6-5. オプションメニュー

メニュー項目	説明	工場出荷時
再生モード	スライド画面の表示モードを選択します。 手動：手動操作で画像を切り替えます。 自動：間隔の設定に従って自動で画像を切り替えます。	手動
間隔	スライドショーを自動再生する際の表示する間隔を設定します。 選択可能範囲：5 ～ 300（秒）の間を 1 秒刻みで設定します。	5（秒）
繰り返し	スライドショーの繰り返しを設定します。 ・ オフ：繰り返ししない設定です。スライドショーが最後の画像を表示し終えたら、スライドショーを終了します。 ・ オン：繰り返す設定です。スライドショーが最後の画像を表示し終えたら、先頭の画像に戻り表示します。	オフ
開始	入力端子で USB-A が選択されたときに表示する画面を設定します。 ・ スライド画面：スライド画面を表示します。 ・ サムネイル：リスト画面を表示します。	スライド画面
サムネイル表示	ファイルリスト画面に表示された画像ファイルをサムネイル表示するかどうかを設定します。 ・ オフ：アイコンで表示します。 ・ オン：サムネイルで表示します。 表示例 	オフ

並び順	ファイルリスト表示をしたときのソート順を設定します。 ・ 名前 (ABC..) / 名前 (ZYX..) : ファイルおよびフォルダー名の文字コード順に表示します。 ・ 種類 (ABC..) / 種類 (ZYX..) : 拡張子の文字コード順に表示します。 ・ 日付 (新) / 日付 (旧) : ファイルの更新日時の新しい順または古い順に表示します。 ・ サイズ (大) / サイズ (小) : ファイルサイズの大きい順または小さい順に表示します。	名前 (ABC..)
-----	---	------------

【参考】

● 「設定値保存」について

各設定項目で決定ボタンを押した直後に保存します。ただし、「並び順」の設定値は、電源をオフするまで設定値を保持し、次回電源をオンした際に「名前 (ABC..)」に戻します。

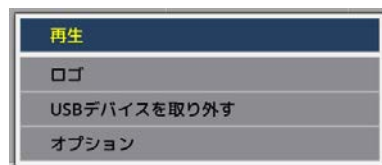
6-6. ロゴデータ（背景の画像）を変更する

- 入力端子の無信号状態の画面（バックグラウンドロゴ）と MultiPresenter のスタート画面の背景画像（MultiPresenter ロゴ）を変更できます。
- パスワードを設定して、第三者による画像の変更を禁止することもできます。
- 以下の条件をすべて満たす画像が設定できます。

フォーマット	JPEG または PNG でビューワーで表示可能な画像
解像度	本機のパネル解像度以下 WUXGA (1920 × 1200)
ファイルサイズ	1 メガバイト以下

1. ファイルリスト画面を表示する。

2. バックグラウンドロゴまたは MultiPresenter ロゴに設定する画像にカーソルを合わせ、メニューボタンを押す。
ポップアップメニューが表示されます。



3. 「ロゴ」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
サブメニューが表示されます。



① バックグラウンドロゴまたは MultiPresenter ロゴを設定する

1. サブメニューで「バックグラウンドロゴに設定」または「MultiPresenter ロゴに設定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
 - ・ ロゴパスワードが設定されている場合は、ロゴパスワード入力画面が表示されるので、ロゴパスワードを入力してください。
 - ・ ロゴを変更するかどうかの確認画面が表示されます。
2. 「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

②バックグラウンドロゴまたは MultiPresenter ロゴを初期化する

1. サブメニューで「バックグラウンドロゴを初期化」または「MultiPresenter ロゴを初期化」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
 - ・ ロゴパスワードが設定されている場合は、ロゴパスワード入力画面が表示されるので、ロゴパスワードを入力してください。
 - ・ ロゴを初期化するかどうかの確認画面が表示されます。
2. 「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

③ロゴを無断で変更されないようにパスワードを設定する

ここでは、はじめてパスワードを設定する場合の手順を説明します。

1. サブメニューで「ロゴパスワード」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
パスワード設定画面が表示されます。
2. 「新規パスワード」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
 - ・ 文字入力画面が表示されます。▲▼◀▶ボタンと決定ボタンを使ってパスワードを入力します。
 - ・ パスワードとして入力可能な文字は、英数字のみで、1～10文字が入力できます。
 - ・ パスワードを決定すると、入力欄にはアスタリスクで表示されます。
3. 「新規パスワード再確認」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
 - ・ もう一度同じパスワードを入力します。
4. パスワード設定画面の「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
ロゴパスワードが設定されます。

[参考]

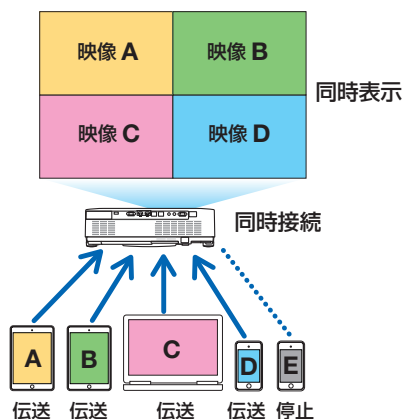
- 設定したロゴパスワードを消去する方法
 - ① サブメニューで「ロゴパスワード」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
 - ② パスワード入力画面で、決定ボタンを押す。
 - ③ パスワードを入力し、「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
パスワード設定画面が表示されます。
 - ④ 「新規パスワード」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
 - ・ 文字入力画面で何も入力せずに「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
 - ⑤ 「新規パスワード再確認」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
 - ・ 文字入力画面で何も入力せずに「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
 - ⑥ パスワード設定画面の「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。
以上で、設定したロゴパスワードが消去されます。

7. ネットワークと接続する

7-1. 本機をネットワークと接続してできること

- 当社の MultiPresenter アプリをインストールした端末から本機へ、有線 LAN/ 無線 LAN を経由して画面イメージを送信しスクリーンへ投写できます。
MultiPresenter については、当社のホームページをご覧ください。

<https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/soft/multipresenter/index.html>



- 無線 LAN を使って本機に接続する場合、メニューの「ネットワーク設定」において、次の 3 つのプロファイルを設定できます。

プロファイル名	説明
インテリジェントコネクション	MultiPresenter をインストールしたコンピューターやタブレット端末をプロジェクターにピアツーピアで簡単に接続します。
インフラストラクチャー	プロジェクターを既存のアクセスポイントに接続し、MultiPresenter をインストールしたコンピューターやタブレット端末をプロジェクターに接続します。
簡易アクセスポイント	プロジェクターを簡易アクセスポイントにして、コンピューターやタブレット端末をプロジェクターに接続します。

- 複数のコンピューターやタブレット端末を同時に接続できます。
フリーモード時は最大 16 台、管理モード時は最大 50 台です。
- 有線 LAN/ 無線 LAN で接続中のコンピューターやタブレット端末のウェブブラウザを使って、本機の HTTP サーバーに接続し、本機を制御したりネットワーク設定をすることができます。
- 本機のネットワークサービスを設定することにより、AMX ビーコン、Extron XTP、HTTP サーバーのログオンパスワード、PJLink、アラートメール、CRESTRON などが利用できます。

7-2. MultiPresenter と接続する

準備：

- ・ 本機を有線 LAN に接続する場合は、LAN ケーブルを本機に接続してください。(→ 117 ページ)
- ・ 本機を無線 LAN に接続する場合は、無線 LAN ユニットを本機に取り付けてください。(→ 119 ページ)
- ・ 本機のネットワーク設定をしてください。(→ 141 ページ)
- ・ コンピューターやタブレット端末に MultiPresenter アプリをインストールしてください。

<https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/soft/multipresenter/index.html>

ここでは、無線 LAN のプロファイル「インテリジェントコネクション」、「インフラストラクチャー」、および「簡易アクセスポイント」ごとに分けて手順を説明します。

① インテリジェントコネクションで接続する場合

1. 本機の電源を入れ、リモコンの APPS ボタンを押す。

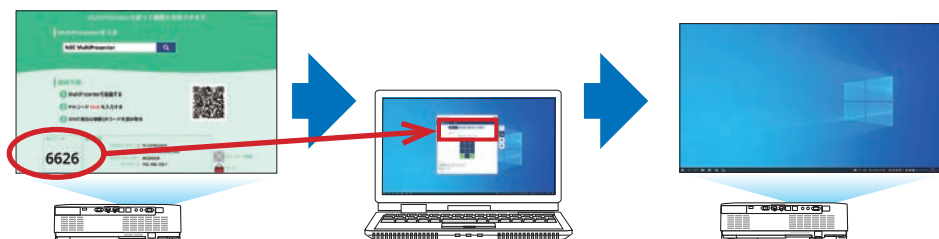
MultiPresenter のスタート画面が表示されます。

2. MultiPresenter を起動する。

ターゲットデバイス画面が表示されます。

3. スタート画面に表示されている 4 桁の PIN コードを、ターゲットデバイス画面に入力する。

本機との接続が完了すると、コンピューターやタブレット端末の画面がスクリーンに投写されます。



② インフラストラクチャーで接続する場合

1. 本機の電源を入れ、リモコンの APPS ボタンを押す。
MultiPresenter のスタート画面が表示されます。
2. 本機とお使いのコンピューターやタブレット端末を同一のネットワークに接続する。

「注意」

- 接続するネットワークの「接続情報」はネットワーク管理者に確認してください。
-

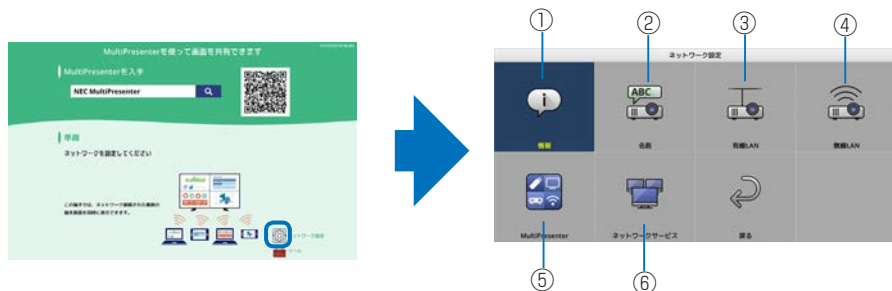
3. **MultiPresenter を起動する。**
ターゲットデバイス画面が表示されます。
4. スタート画面に表示されている 4 桁の PIN コードをターゲットデバイス画面に入力する。
本機との接続が完了すると、コンピューターやタブレット端末の画面がスクリーンに投写されます。

③ 簡易アクセスポイントで接続する場合

1. 本機の電源を入れ、リモコンの APPS ボタンを押す。
MultiPresenter のスタート画面が表示されます。
2. スタート画面に表示されている「SSID」と一致するアクセスポイントにコンピューターやタブレット端末を接続する。
3. **MultiPresenter を起動する。**
ターゲットデバイス画面が表示されます。
4. スタート画面に表示されている 4 桁の PIN コードをターゲットデバイス画面に入力する。
本機との接続が完了すると、コンピューターやタブレット端末の画面がスクリーンに投写されます。

7-3. ネットワーク設定

スタート画面の右下にある「 ネットワーク設定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押すと、ネットワーク設定画面が表示されます。

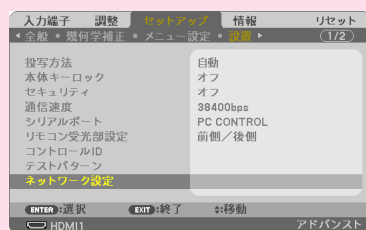


【重要】ネットワークパスワードについて

このプロジェクターの工場出荷時は「有線 LAN」の設定が「無効（プロファイル）」になっています。ネットワークに接続する場合は、オンスクリーンメニューを表示してネットワーク設定の「有線 LAN」のプロファイル設定を「無効」から「有効」に変更して有線 LAN を有効にしてください。

プロジェクターをご購入後、はじめてオンスクリーンメニューで「有線 LAN」または「無線 LAN」を選択すると、「ネットワークパスワード」設定画面が表示されます。その場合は以下のように操作してください。

1. オンスクリーンメニューで「セットアップ」→「設置」→「ネットワーク設定」を選択します。
ネットワーク設定画面が表示されます。



2. 「有線 LAN」または「無線 LAN」を選択して決定ボタンを押します。



ネットワークパスワード設定画面が表示されます。

次の（1）または（2）を操作してください。

（1）ネットワークパスワードを設定する場合（推奨）

1. 新規パスワード欄に1～10文字の英数字で任意のパスワードを入力します。
2. その下の入力欄に確認のための同じパスワードを入力します。
3. 「確定」を選択して決定ボタンを押します。

（2）ネットワークパスワードを設定しない場合

1. ネットワークパスワード設定画面の2つの入力欄に何も入力せず空欄のまま、「確定」を選択して決定ボタンを押します。

参考

- ネットワークパスワードを設定しなかった場合や設定したパスワードを変更する場合は、あとからオンスクリーンメニューの「ネットワーク設定」→「ネットワークサービス」→「ネットワークパスワード」を選択して設定したり変更したりすることができます。



- ネットワークパスワードを設定している場合、HTTP サーバー画面を表示してネットワーク設定を更新するときに、ネットワークパスワードを入力する必要があります。
- 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

① 情報

本機の有線 LAN および無線 LAN に関して設定します。

・ ネットワーク設定画面に戻るときは、戻るボタンを押します。

② 名前

プロジェクター名およびホスト名を設定します。

項目名	説明
プロジェクター名	プロジェクター名を設定します。 ・ 初期値：「PJ-XXXXXXXXXX」 初期値「PJ-XXXXXXXXXX」は「PJ-」+「製造番号」を表します。 ・ 入力可能文字：半角英数記号（スペース含む） ・ 文字数：1～16文字
ホスト名	ホスト名を設定します。 ・ 初期値：「pj-xxxxxxxxx」 初期値「pj-xxxxxxxxx」は「pj-」+「製造番号」を表します。 ・ 入力可能文字：半角英数字、「-」 【注意】 ● ホスト名の先頭・末尾には「-」を入力できません。 ・ 文字数：1～16文字

③ 有線 LAN

有線 LAN のプロファイル、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSなどを設定します。

- ・ 有線 LAN を使用する場合は、プロファイルを「有効」にし、必要な項目を設定します。
- ・ 有線 LAN を使用しない場合は、プロファイルを「無効」にします。
- ・ 設定が終了したら、「OK」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

④ 無線 LAN

無線 LAN に関して設定します。

項目名	説明
プロファイル	無線 LAN のプロファイルは次の4つがあります。 ・ 無効（初期値） ・ インテリジェントコネクション ・ 簡易アクセスポイント ・ インフラストラクチャー 各プロファイルは設定項目が異なります。以降で説明します。

● 無効

本機の無線 LAN を無効にします。

● インテリジェントコネクション

インフラストラクチャーや簡易アクセスポイントで接続する場合に比べて、MultiPresenter をインストールしたコンピュータやタブレット端末を簡単にプロジェクトに接続できます。

項目名	説明
プロファイル	インテリジェントコネクション
無線モード	無線モード (IEEE802.11b/g/n または IEEE802.11a/n) を選択します。 ・ 初期値: IEEE802.11b/g/n
チャンネル	無線チャンネルを設定します。 ・ 初期値: 自動
セキュリティの種類	セキュリティの種類 (無効または WPA2-PSK) を設定します。 ・ 初期値: 無効 【注意】 ● MultiPresenter 設定の PIN の種類がワンタイムのときは、セキュリティは自動で適用されるため、セキュリティの種類は指定できません。
セキュリティキー	暗号化のキーを設定します。 ・ 初期値: 空欄 ・ 入力可能文字: 半角英数記号 (スペース含む) ・ 文字数: 8 ~ 63 文字 セキュリティキーが設定されているときは文字数分のアスタリスク「*」が表示されます。 【注意】 ● MultiPresenter 設定の PIN の種類がワンタイムのときは、セキュリティキーは自動で設定されるため、セキュリティキーの設定はできません。

● 簡易アクセスポイント

プロジェクターを簡易アクセスポイントにして、MultiPresenter をインストールしたコンピューターやタブレット端末をプロジェクターに接続します。

項目名	説明
プロファイル	簡易アクセスポイント
無線モード	無線モード (IEEE802.11b/g/n または IEEE802.11a/n) を選択します。 ・ 初期値: IEEE802.11b/g/n
チャンネル	無線チャンネルを設定します。 ・ 初期値: 自動
SSID	SSID を設定します。 ・ 初期値: 「AP-XXXXXXXXXX」 初期値「AP-XXXXXXXXXX」は「AP-」 + 「製造番号」を表します。 ・ 入力可能文字: 半角英数記号 (スペース含む) ・ 文字数: 1 ~ 32 文字
セキュリティの種類	セキュリティの種類 (無効または WPA2-PSK) を設定します。 ・ 初期値: 無効
セキュリティキー	暗号化のキーを設定します。 ・ 初期値: 空欄 ・ 入力可能文字: 半角英数記号 (スペース含む) ・ 文字数: 8 ~ 63 文字 セキュリティキーが設定されているときは文字数分のアスタリスク「*」が表示されます。

●インフラストラクチャー

本機を既存のアクセスポイントに接続します。

項目名	説明
プロファイル	インフラストラクチャー
DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、自動 DNS、DNS アドレス	DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、自動 DNS、DNS アドレスを設定します。
サイトサーベイ	サイトサーベイを実行し、アクセスポイントを検索します。 選択したアクセスポイントに応じて SSID とセキュリティの種類が設定されます。
SSID	SSID を設定します。 ・ 初期値：NECPJ ・ 入力可能文字：半角英数記号（スペース含む） ・ 文字数：1 ～ 32 文字
セキュリティの種類	セキュリティの種類（無効、WPA2-PSK、または WPA/WPA2-PSK）を設定します。 ・ 初期値：無効
セキュリティキー	暗号化のキーを設定します。 ・ 初期値：空欄 ・ 入力可能文字：半角英数記号（スペース含む） ・ 文字数：8 ～ 63 文字 セキュリティキーが設定されているときは文字数分のアスタリスク「*」が表示されます。

⑤ MultiPresenter

MultiPresenter の動作を設定します。

項目名	説明
モード	フリーモードまたは管理モードを選択します。 管理モードにすると、MultiPresenter の画面を投写中に、本機のリモコンの決定ボタンを押して、画面の分割パターンを変更することができます。 ・ 初期値：フリー 【注意】 ● モードの設定は、すべての接続が切れたときに適用されます。

次ページへ続く

PIN の種類	ワンタイムまたは固定を選択します。 ・ 初期値：ワンタイム ・ ワンタイムは PIN コードを自動生成しますので、次の項目の「PIN コード」は入力できません。 ・ 固定は任意の PIN コードを入力します。
PIN コード	固定の PIN コードを入力します。 ・ 初期値：4 桁の乱数字 ・ 入力可能文字：半角数字 ・ 文字数：4 文字 (0000 ～ 9999)
PIN コードを接続パスワードとして使用する	PIN コードをパスワードとして使用しない (オフ)、または PIN コードをパスワードとして使用する (オン) を選択します。 ・ 初期値：オン
通信速度制限	MultiPresenter が伝送に使用する通信速度の上限を設定します。 ・ 初期値：無効
スタート画面	
アプリ入手	スタート画面の MultiPresenter 入手の表示をするかしないかを選択します。 ・ 初期値：オン (表示する)
接続手順	スタート画面の接続手順の表示をするかしないかを選択します。 ・ 初期値：オン (表示する)
接続情報	スタート画面の接続情報の表示をするかしないかを選択します。 ・ 初期値：オン (表示する)
MultiPresenter 画面	
接続情報	MultiPresenter 接続中の画面に接続情報の表示をするかしないかを選択します。 ・ 初期値：オン (表示する)

⑥ ネットワークサービス

AMX ビーコン、Extron XTP、HTTP サーバー、PJLink、アラートメール、CRESTRONなどを設定します。

項目名	説明	
AMX ビーコン	AMX のビーコンを送信するかしないかを選択します。 ・ 初期値：オフ（送信しない）	
Extron XTP	Extron XTP 機器との接続を有効にするか無効にするかを選択します。 ・ 初期値：オフ（無効にする）	
HTTP サーバー	本機の HTTP サーバーへログオンするパスワードを設定します。 ・ 初期値：空欄 ・ 入力可能文字：半角英数字記号 ・ 文字数：0 ～ 10 文字 パスワードが設定されているときは文字数分のアスタリスク '*' が表示されます。	
PJLink	PJLink のパスワードを設定します。	
	パスワード設定	PJLink のパスワードを設定します。 ・ 初期値：空欄 ・ 入力可能文字：半角英数字 ・ 文字数：0 ～ 32 文字 パスワードが設定されているときは文字数分のアスタリスク「*」が表示されます。
アラートメール	アラートメールを設定しテストメールを送信します。	
	メール通知	本機にアラート対象の事象が生じたときにアラートメールを送信するかしないかを選択します。 ・ 初期値：オフ（送信しない）
	差出人アドレス	本機から E メールを送信する際の差出人アドレスを設定します。 ・ 初期値：空欄 ・ 入力可能文字：半角英数字、記号 ・ 文字数：0 ～ 60 文字
	SMTP サーバー名	本機が接続するネットワークの SMTP サーバーを設定します。 ・ 初期値：空欄 ・ 入力可能文字：半角英数字、記号 ・ 文字数：0 ～ 60 文字

次ページへ続く

アラートメール	宛先アドレス 1/2/3	本機から E メールを送信する宛先アドレスを設定します（最大 3 つ）。 ・ 初期値：空欄 ・ 入力可能文字：半角英数字、記号 ・ 文字数：0 ～ 60 文字
	送信テスト	設定に従ってテストメールを送信します。
CRESTRON	CRESTRON の機能を設定します。	
	Crestron Room View	
	Crestron Room View	Crestron Room View を使用するかどうかを選択します。 ・ 初期値：オフ（使用しない）
	Crestron Control	
	Crestron Control	Crestron Control を使用するかどうかを選択します。 ・ 初期値：オフ（使用しない）
	IP アドレス	Crestron Control の IP アドレスを設定します。 ・ 初期値：192.168.0.100 ・ 入力可能文字：半角英数、ピリオド ・ 文字数：7 ～ 15 文字
	IP ID	Crestron Control の IP ID を設定します。 ・ 初期値：5 ・ 入力可能文字：半角英数 ・ 入力文字範囲：3 ～ 65535 ・ 文字数：1 ～ 5 文字

[注意]

- PJLink のバージョンは、出荷状態においては Class 1 に設定しています。Class 2 に変更する場合は、販売店へお問い合わせください。

7-4.HTTP サーバー機能

概要

HTTP サーバー機能では次の設定や操作ができます。

- 本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続するための設定（NETWORK SETTINGS）。
無線 LAN を利用する場合は、添付の無線 LAN ユニットを本機に装着してください。
（→ [119](#) ページ）
有線 LAN / 無線 LAN の設定をする場合は、本機とコンピューターを市販の LAN ケーブルで接続してください。（→ [117](#) ページ）
- メール通知の設定（ALERT MAIL）。
本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続しているときに、光源の使用時間や各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。
- 本機の操作。
本機の電源のオン／オフ、入力端子の切り替え、音量調整、映像調整などができます。
- AMX ビーコン、Extron XTP、HTTP サーバー、PJLink、アラートメール、CRESTRON などの設定。

HTTP サーバー機能へアクセスするには

本機とネットワークで接続されたコンピューターでウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ `http://〈本機の IP アドレス〉/index.html` と指定してください。

[参考]

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

[注意]

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、設定してください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作をするとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作してください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能なようにブラウザを設定してください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

使用前の準備

ウェブブラウザによる操作の前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。(→ 117 ページ)

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い

ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

(例 1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
`http://pj.nec.co.jp/index.html` と指定します。

(例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
`http://192.168.73.1/index.html` と指定します。

プロジェクター調整

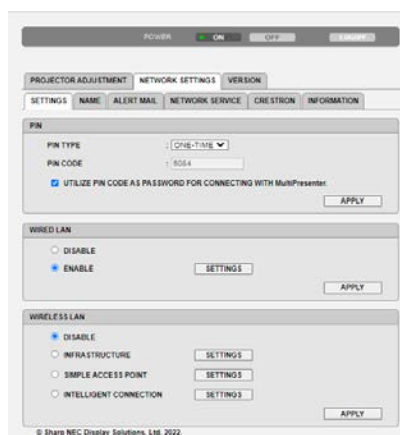


POWER	本機の電源をオン／オフします。	
	ON	電源をオンにします。
	OFF	電源をオフにします。
VOLUME	本機の音量をコントロールします。	
	▲	音量調整値をアップします。
	▼	音量調整値をダウンします。
AV-MUTE	本機の MUTE をコントロールします。	
	PICTURE 	映像をミュート（一時的に消去）します。
	PICTURE 	映像ミュートを解除します。
	SOUND 	音声をミュート（一時的に消去）します。
	SOUND 	音声ミュートを解除します。
	ALL ON	映像、音声、メニュー表示をすべてミュート（一時的に消去）します。
	ALL OFF	映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。
PICTURE	本機の映像調整をコントロールします。	
	CONTRAST ▲	コントラストの調整値をアップします。
	CONTRAST ▼	コントラストの調整値をダウンします。
	BRIGHTNESS ▲	明るさの調整値をアップします。
	BRIGHTNESS ▼	明るさの調整値をダウンします。
	SHARPNESS ▲	シャープネスの調整値をアップします。
	SHARPNESS ▼	シャープネスの調整値をダウンします。
	COLOR ▲	カラーの調整値をアップします。
	COLOR ▼	カラーの調整値をダウンします。
	HUE ▲	色相の調整値をアップします。
	HUE ▼	色相の調整値をダウンします。
※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「4-4. 調整」の「コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相」（→ 83 ページ）をご覧ください。		
SOURCE SELECT	本機の入力端子を切り替えます。	
	HDMI1	HDMI1 入力端子に切り替えます。
	HDMI2	HDMI2 入力端子に切り替えます。
	COMPUTER	コンピューター映像入力端子に切り替えます。
	HDBaseT	Ethernet/HDBaseT ポートに切り替えます。
	USB-A	本機にセットした USB メモリーのデータ表示に切り替えます。

LAN	ネットワークから送られてくるデータ表示に切り替えます。
PROJECTOR STATUS	本機の状態を表示します。
LIGHT HOURS USED	光源の使用時間を表示します。
ERROR STATUS	本機内部のエラー発生状況を表示します。
LOG OFF	ログオフして認証画面（ログオン画面）に戻ります。

ネットワーク設定

ネットワーク設定の各項目については、「7-3. ネットワーク設定」（→ [141](#) ページ）をご覧ください。



●バージョン

本機の FIRMWARE および DATA のバージョンを表示します。



8. 本体のお手入れ

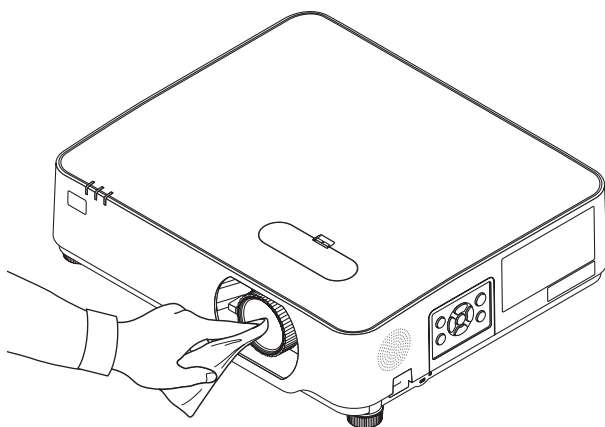
8-1. レンズの清掃

本機のレンズはプラスチック製です。レンズを清掃する際は、市販のプラスチック用レンズクリーナーを使用して汚れをふき取ってください。

市販のプラスチック用レンズクリーナーは、カメラ販売店等でお買い求めください。



- レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。
- レンズを清掃する際は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。レンズの清掃中に電源が入ると、レンズからの強い光が目に入り、視力障害の原因となります。また強い光によって指をやけどするおそれがあります。



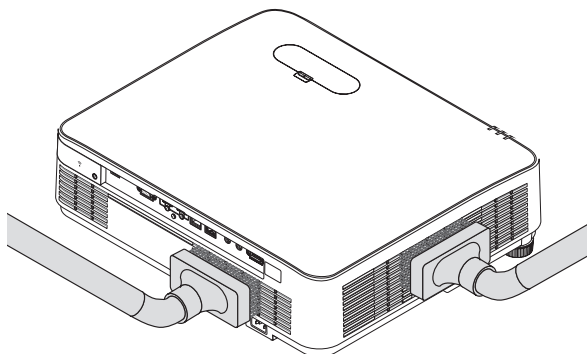
[注意]

- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

8-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口やスピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。



通風口やスピーカー部のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

[注意]

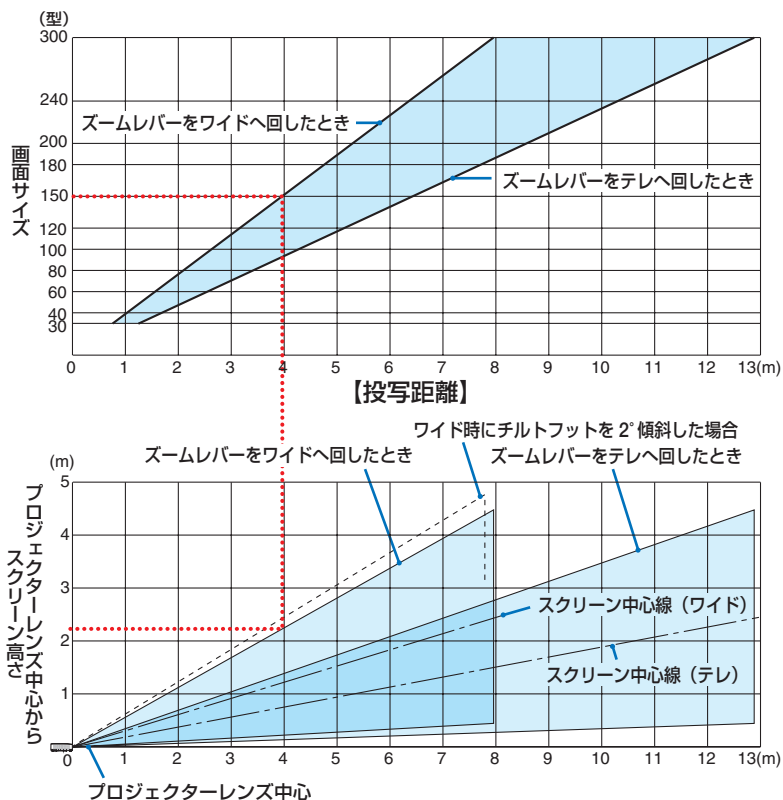
- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

9. 付 録

9-1. 投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.77m（30 型の場合）～ 12.89m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。



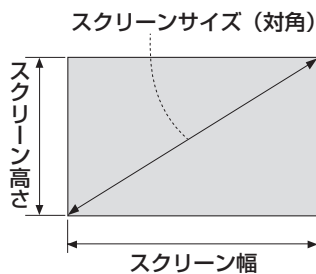
※投写距離表の「プロジェクターレンズ中心からスクリーンの高さ」はレンズシフトを上方向へ最大（60% V）に移動ときを表しています。

【表のみかた】

表より 150 型スクリーンにワイドで投写するには表より、4m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 2.2m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。投写画面はレンズシフトにより上下左右に移動できます。（→ 46 ページ）

スクリーンサイズと寸法表



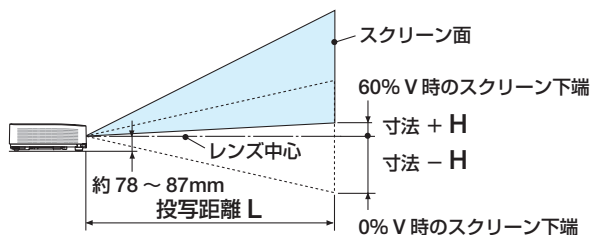
サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	64.6	40.4
40	86.2	53.8
60	129.2	80.8
80	172.3	107.7
90	193.9	121.2
100	215.4	134.6
120	258.5	161.5
150	323.1	201.9
180	387.7	242.3
200	430.8	269.2
240	516.9	323.1
250	538.5	336.5
270	581.6	363.5
300	646.2	403.9

デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用する時の例です。

水平投写位置……レンズを中心に左右均等

垂直投写位置……（下表参照）



（注）レンズ中心からスクリーン下端までの高さ（チルトフットを縮めた状態）

スクリーンサイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	0% V ~ 60% V
30	0.77	1.26	-20.2 ~ +4.0
40	1.03	1.69	-26.9 ~ +5.4
60	1.56	2.55	-40.4 ~ +8.1
80	2.10	3.41	-53.8 ~ +10.8
90	2.36	3.84	-60.6 ~ +12.1
100	2.63	4.27	-67.3 ~ +13.5
120	3.16	5.13	-80.8 ~ +16.2
150	3.96	6.43	-101.0 ~ +20.2
180	4.76	7.72	-121.2 ~ +24.2
200	5.30	8.58	-134.6 ~ +26.9
240	6.36	10.30	-161.5 ~ +32.3
270	7.16	11.59	-181.7 ~ +36.3
300	7.96	12.89	-201.9 ~ +40.4

レンズシフト範囲

本機にはダイヤル操作で画面位置を調整するレンズシフト機能(→ [46 ページ](#))があります。
次の範囲内のレンズシフトができます。

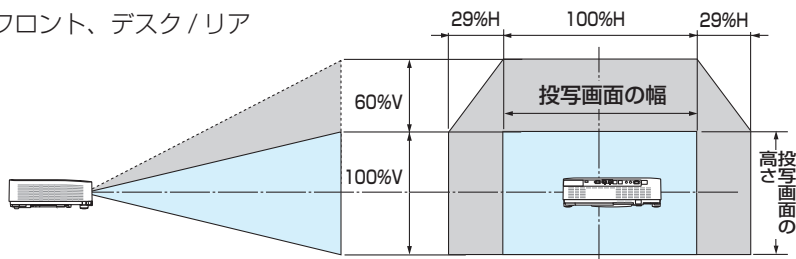
レンズシフト範囲 垂直方向：+ 60%、- 0%
水平方向：± 29%

[注意]

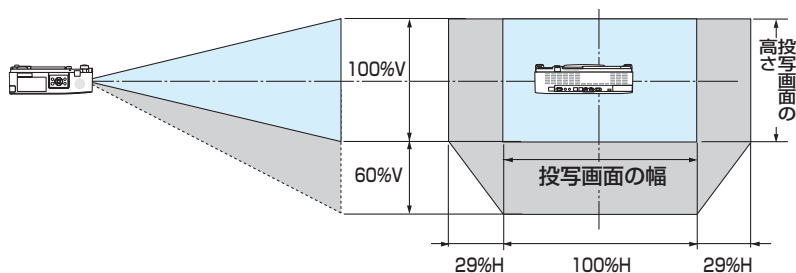
- レンズシフトの移動量が下図の範囲を超えている場合、画面の端がぼやけたり、影が出たりすることがあります。

記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表し、レンズソフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。

デスク / フロント、デスク / リア



天吊り / フロント、天吊り / リア



(計算例) 150 インチで投写している場合
「スクリーンサイズと寸法表」(→ [157 ページ](#)) のスクリーン表により H=323.1cm、
V=201.9cm になります。

垂直方向の調整範囲：上方向 $0.60 \times 201.9\text{cm} \div 121\text{cm}$ 、投写画面を移動することができます（レンズが中心位置の場合）。

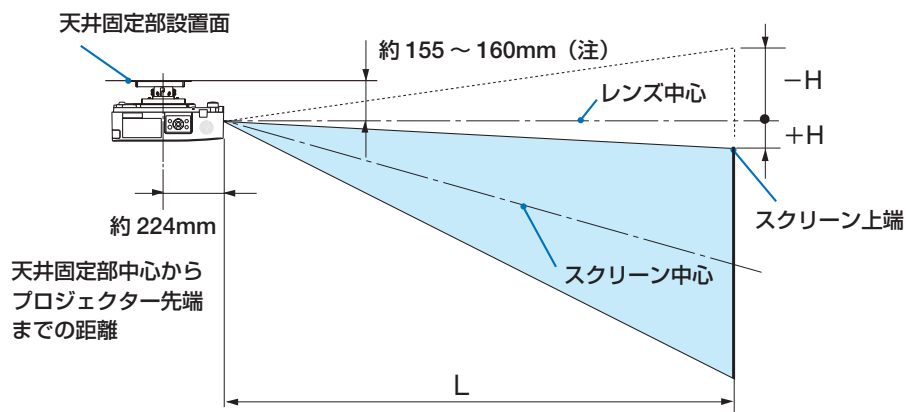
水平方向の調整範囲：左方向 $0.29 \times 323.1\text{cm} \div 94\text{cm}$ 、右方向も同様に約 94cm 投写画面を移動することができます。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

[参考]

- 天井吊り金具（別売）設置時の投写距離について
投写距離（L）、寸法（H）はデスクトップの例と同じです。
レンズシフトについては 159 ページをご覧ください。
天井固定部の寸法およびプロジェクター取り付け時の寸法は 167 ページをご覧ください。

（注）天井固定部設置面からレンズ中心までの高さ
レンズシフト位置により高さは可変
（プロジェクター取付けアダプターの上下角度 0° 時



- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

9-2. 対応解像度一覧

アナログ RGB

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60/72/75/85/iMac
SVGA	800 × 600	4 : 3	56/60/72/75/85/iMac
XGA	1024 × 768	4 : 3	60/70/75/85/iMac
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1360 × 768 ^{*1}	16 : 9	60
	1366 × 768 ^{*1}	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60/75
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60/75
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900 ^{*1}	16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200 ^{*2}	4 : 3	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{*3 *4}	16 : 10	60
MAC 13"	640 × 480	4 : 3	67
MAC 16"	832 × 624	4 : 3	75
MAC 19"	1024 × 768	4 : 3	75
MAC 21"	1152 × 870	4 : 3	75
MAC 23"	1280 × 1024	5 : 4	65

HDMI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{*3}	16 : 10	60
4K	3840 × 2160	16 : 9	23.98/24/25/29.97/30

HDTV(1080p)	1920 × 1080 ^{*3}	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

コンポーネント

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

*1: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16 : 9」に設定してください。

*2: WXGA モードオフ時。

*3: リアル表示

*4: WXGA モードオン時。

- ・ ご使用機器、ご使用のディスクによっては、映像が正しく表示されないことがあります。
本機は HDCP 2.2、4K/60p、HDR に非対応です。
- ・ 本機の解像度を超える信号はアドバンスド・アキュブレンドにより対応。
- ・ アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。
- ・ 出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピューターの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ・ コンピューター信号は、セパレート同期信号のみ対応しています。

9-3. 仕 様

型名			NP-P627ULJL	NP-P547ULJL
方式			三原色液晶シャッター投映方式	
主要 部 品 仕 様	液晶パネル	サイズ	0.64 型 (16.3mm) × 3 枚、アスペクト比 16:10	
		画素数 ^(*)	2,304,000 画素 (1920 ドット× 1200 ライン)	
	投写レンズ		F=1.5 ～ 2.1、 f = 17.2 ～ 27.7mm、ズーム比 1.6 倍	
		ズーム	マニュアル	
		フォーカス	マニュアル	
		レンズシフト	マニュアル (水平：± 29%、垂直：+ 60% , - 0%)	
	光源		レーザーダイオード+蛍光体	
光学装置		ダイクロイックミラーによる光分離 クロスプリズムによる合成方式		
明るさ ^(*) ^(*)			6200 lm	5400 lm
画面サイズ (投写距離)			30 ～ 300 型 (0.8 ～ 12.9m)	
色再現性			10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色)	
走査周波数	水平	15 ～ 100kHz (RGB 入力は 24kHz 以上)		
	垂直	50 ～ 120Hz		
入 出 力 端 子	コンピューター/ コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1 RGB:0.7Vp-p / 75 Ω H/V Sync:4.0Vp-p/TTL Composite Sync:4.0Vp-p/TTL Y:1.0Vp-p / 75 Ω (with Negative Polarity Sync) Cb,Cr (Pb,Pr) :0.7Vp-p / 75 Ω Sync on G: 1.0 Vp-p/75 Ω (with Sync)	
		音声入力	ステレオミニジャック× 1 0.5Vrms / 22k Ω以上	
	HDMI	映像入力	タイプ A × 2 Deep Color、LipSync、HDCP ^(*)	
		音声入力	サンプリング周波数 32/44.1/48kHz サンプリングビット 16/20/24bit	
	Ethernet/ HDBaseT	映像入力	RJ-45 × 1、100BASE-TX、Deep Color、LipSync、 HDCP ^(*)	
		音声入力	サンプリング周波数 32/44.1/48kHz サンプリングビット 16/20/24bit	
	音声出力		ステレオミニジャック× 1 (全信号共通)	
	USB		USB タイプ A × 1、電源供給 5.0V/2.0A	
	LAN		RJ-45 × 1、100BASE-TX、PJLink Class2	
	無線 LAN 用 USB		USB タイプ A × 1	
制御入出力端子				
PC コントロール			D-Sub 9 ピン× 1、RS232C	
スピーカー			20W モノラルスピーカー内蔵	

型名	NP-P627ULJL		NP-P547ULJL
使用環境 ^{(*)5}	動作温度 :0 ～ 40℃		
	動作湿度 :20 ～ 80% (ただし、結露しないこと)		
	保存温度 :－ 10 ～ 50℃		
	保存湿度 :20 ～ 80% (ただし、結露しないこと)		
	動作高度 :0 ～ 2600m (1600 ～ 2600m はファンモード「高地」)		
電源	AC 100V 50/60Hz ^{(*)6}		
消費電力	328W	303W	
消費電力 (スタンバイ時)			
スタンバイ モード	ノーマル時	0.13W	
	ネットワーク スタンバイ時	1.4W	
定格入力電流	5.1A		
外形寸法	480 (幅) × 122 (高) × 407 (奥行) mm (突起部含まず) 480 (幅) × 142.5 (高) × 407 (奥行) mm (突起部含む)		
質量	9.4kg		

(* 1) : 有効画素数は 99.99%です。

(* 2) : JIS X6911:2021 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書2に基づいています。

(* 3) : エコモードが「オフ」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。
エコモードを「エコ」または「長寿命」にすると明るさが低下します (エコ : 約 60%、長寿命 : 約 80% (NP-P627ULJL)、または約 65% (NP-P547ULJL))。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(* 4) : HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機の HDMI 1 および HDMI 2 入力端子、HDBaseT ポートは、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1 および HDMI 2 入力端子、HDBaseT ポートの映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット、LipSync

音声 : LPCM; チャンネル数 : 2ch、サンプリング周波数 : 32/44.1/48kHz、

サンプリングビット : 16/20/24 ビット

HDMI : HDCP 1.4 に対応

HDBaseT : HDCP 1.4 に対応

(* 5) : 使用環境の温度により「強制エコモード」になります。(→ 61 ページ)

(* 6) : 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

●無線 LAN ユニットの仕様

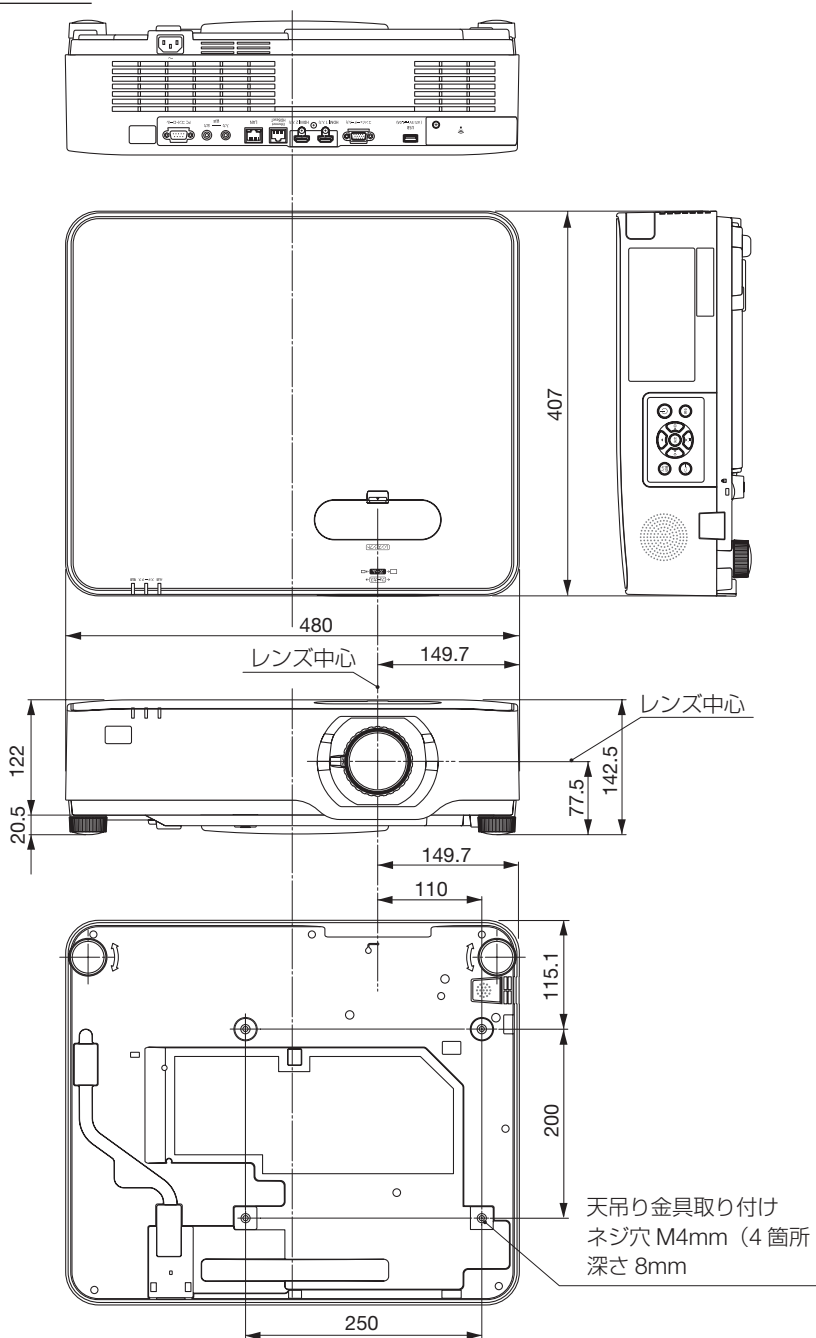
仕様	
動作電源電圧	5V（プロジェクター本体から供給）
消費電流（最大）	500 mA
ホストインターフェイス	USB 2.0（プロジェクター本体の USB（無線 LAN）ポートで使用）
外形寸法	28（幅）× 11（高さ）× 81（奥行）mm（キャップを含む）
質量	22g（キャップを含む）
使用環境	動作温度：5 ～ 40℃ 動作湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと） 保存温度：-10 ～ 50℃ 保存湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）

対応規格	
無線インターフェイス	チャンネル（周波数帯域）…中心周波数
IEEE802.11b	1 ～ 13 チャンネル（2412 ～ 2472 MHz）
IEEE802.11g	1 ～ 13 チャンネル（2412 ～ 2472 MHz）
IEEE802.11a	36/40/44/48 チャンネル（5180 ～ 5240 MHz）
	52/56/60/64 チャンネル（5260 ～ 5320 MHz）
	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネル（5500 ～ 5700 MHz）
IEEE802.11n	1 ～ 13 チャンネル（2412 ～ 2472 MHz）
	36/40/44/48 チャンネル（5180 ～ 5240 MHz）
	52/56/60/64 チャンネル（5260 ～ 5320 MHz）
	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネル（5500 ～ 5700 MHz）

* ご利用環境により、デュアルチャンネル通信無効／有効モードが自動で切り替わります。

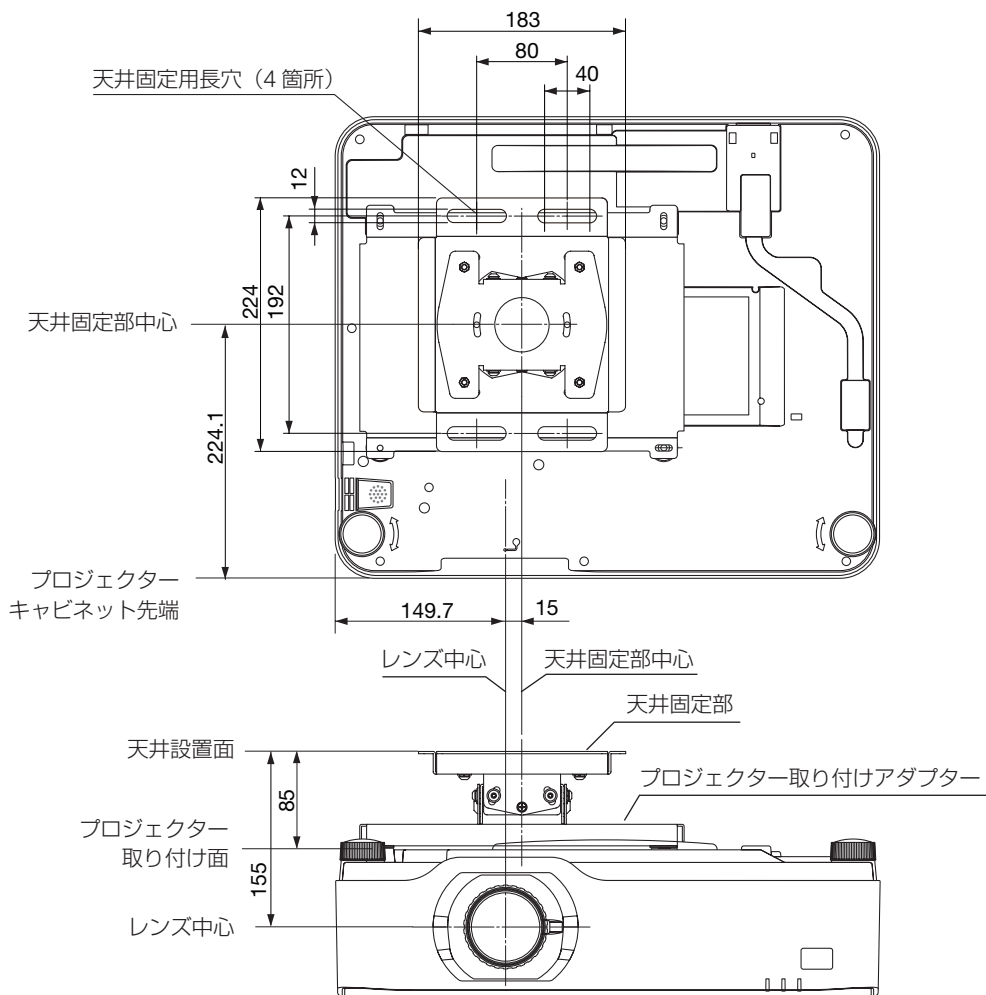
9-4. 外観図

単位：mm



天吊り金具（別売）取り付け図

天井設置面寸法図（単位：mm）

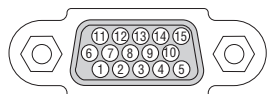


注）左右 0°、上下 0°、傾き 0°、上下位置中心時の寸法です。

9-5. 主な端子のピン配列と信号名

●コンピュータ映像入力端子（ミニ D-Sub 15 ピン）

各ピンの接続と信号レベル



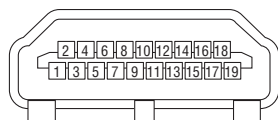
信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）

同期信号：TTL レベル

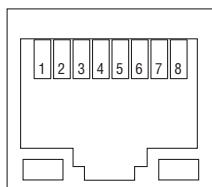
ピン番号	RGB 信号（アナログ）	YCbCr 信号	
1	赤	Cr	
2	緑またはシンクオングリーン	Y	
3	青	Cb	
4	接 地		
5	接 地		
6	赤 接 地	Cr	接 地
7	緑 接 地	Y	接 地
8	青 接 地	Cb	接 地
9	Hotplug		
10	同期信号 接 地		
11	非接続		
12	Bi-directional DATA (SDA)		
13	水平またはコンポジット同期		
14	垂直同期		
15	Data Clock		

●HDMI IN 1/2 端子（タイプ A）



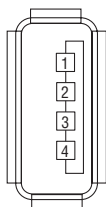
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TMDS データ 2 +	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロッカー
3	TMDS データ 2 -	13	CEC
4	TMDS データ 1 +	14	非接続
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1 -	16	SDA
7	TMDS データ 0 +	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0 シールド	18	+ 5V 電源
9	TMDS データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック +		

● Ethernet/HDBaseT ポート／LAN ポート (RJ-45)



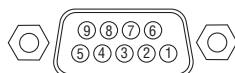
ピン番号	信号
1	TxD + / HDBT0 +
2	TxD - / HDBT0 -
3	RxD + / HDBT1 +
4	非接続 / HDBT2 +
5	非接続 / HDBT2 -
6	RxD - / HDBT1 -
7	非接続 / HDBT3 +
8	非接続 / HDBT3 -

● USB ポート (USB タイプ A)



ピン番号	信号
1	VBUS
2	D -
3	D +
4	接地

● PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)



ピン番号	信号
1	未使用
2	RxD 受信データ
3	TxD 送信データ
4	未使用
5	接地
6	未使用
7	RTS 送信要求
8	CTS 送信可
9	未使用

9-6. ASCII コントロールコマンドについて

本機は、当社のプロジェクターまたはディスプレイを制御するための共通 ASCII コントロールコマンドに対応しています。

コマンドの詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

外部機器との接続方法

プロジェクターとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の 2 つがあります。

① シリアルポートを使用した接続

シリアルケーブル（クロスケーブル）を使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

② ネットワーク (LAN) 経由での接続

LAN ケーブルを使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

使用する LAN ケーブルの種類（ストレート / クロス）については、ネットワーク管理者にご確認ください。

接続インターフェース

① シリアルポートを使用した接続

通信条件

項目	詳細
ボーレート	38400/19200/9600/4800bps
データ長	8 ビット
パリティビット	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし
通信手順	全二重

② ネットワーク (LAN) 経由での接続

通信条件（LAN による接続）

項目	詳細
伝送速度	自動設定 (10/100Mbps)
対応規格	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX, Auto-Negotiation)

コマンドの送受信には、TCP ーのポート番号「7142」を使用します。

本機で使用するパラメーター

● input コマンド

入力端子	レスポンス	パラメーター
HDMI1	hdmi1	hdmi1 または hdmi
HDMI2	hdmi2	hdmi2
コンピューター	computer	次の 6 つの文字列のいずれか computer , computer1 , vga , vga1 , rgb , rgb1
HDBaseT	hdbaset	hdbaset または hdbaset1
USB-A	usb-a	usb-a または usb-a1
LAN	lan	lan または lan1

● status コマンド

レスポンス	本機の状態
error:temp	温度エラー
error:fan	ファン異常
error:light	光源異常
error:system	システム異常

9-7. 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。
それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	38
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	179
	標高約 1600m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後光源の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	102
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	56
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマーまたはオートパワーオフを「オン（時間を選択）」にしていますか。	90 107
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の入力切替ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	42
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	112 } 121
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	83
	AV ミュートボタンが押されていませんか。	58
	コンピューター信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	161

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が出ない	コンピューター信号（RGB）の場合、正しく画面調整をしていますか。	54
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、 175 ページ をご覧ください。	—
	HDMI 1/2 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピューターに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピューター、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバーや最新 OS は、お客様の責任においてインストールしていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—
	HDBaseT 対応伝送機器によっては信号が対応していない場合があります。また IR、RS-232C が対応できない場合があります。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	74
	それでも解決しない場合は、リセットしてみてください。	111
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	68
	標高約 1600m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクターが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。	102
映像が歪む	正しく設置されていますか。	45
	台形状に歪む場合は台形補正で調整してください。	51
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	48
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	45
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	156
	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか	159

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像がぼやける	レンズなどが結露していませんか 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れると投写窓や内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	コンピューター信号（RGB）の場合、自動調整ボタンを押してください。	54
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。	61
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピューター信号（RGB）の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	84 85
	コンピューター信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	161
コンピューター信号（RGB）で文字がちらついたり色がずれている	自動調整ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。	54 84
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	36
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	35
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありますか。	15
	リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。	36
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。 HDBaseT 対応の伝送機器を介してリモコン操作をする場合は、リモコン受光部設定を「HDBaseT」、スタンバイモードを「スリープ」に設定にしてください。	99
インジケーターが点滅する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	177 178
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	56

コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機をコンピューターケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。

特にノートブックコンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

[参考]

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピューターから外部出力信号が出力されていません。(→ [110 ページ](#))

●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

[参考]

- Windows のノートブックコンピューターの場合は、キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

Fn + F3	NEC
Fn + F8	DELL

※詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングを設定します。

●ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整しても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする操作をする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）と、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプター（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

●MacBook と本機を同時に表示させる場合

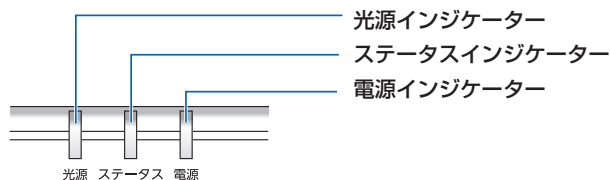
MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を本機の表示解像度に設定できないことがあります。

●Mac の投写画面からフォルダーなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

9-8. インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●通常のインジケータ表示

電源	ステータス	光源	本機の状態
(熄灭)	(熄灭)	(熄灭)	主電源が切れている
オレンジ色 (長い間隔の点滅 ^{※1})	(熄灭)	(熄灭)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ノーマル」)
オレンジ色 (点灯)	(熄灭)	(熄灭)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」)
緑色 (点灯)	(熄灭)	(熄灭)	スリープ状態
青色 (点灯)	(熄灭)	緑色 (点灯)	電源オン状態 (エコモードが「オフ」)
青色 (点灯)	(熄灭)	緑色 (長い点滅 ^{※2})	電源オン状態 (エコモードが「エコ」または「長寿命」)
青色 (長い点滅 ^{※2})	(熄灭)	(各状態)	オフタイマー有効状態 (電源オン状態)
青色 (短い点滅 ^{※3})	(熄灭)	(熄灭)	電源オン準備中

※1 1.5 秒点灯 / 7.5 秒消灯 のくり返し

※2 2.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し

※3 0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 のくり返し

●異常時のインジケータ表示

電源	ステータス	光源	本機の状態	処置方法
 青色 (点灯)	 オレンジ色 (点灯)	(各状態)	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(→ 97 ページ)
			プロジェクターの ID 番号とリモコンの ID 番号が一致しないとき	コントロール ID を確認してください。(→ 99 ページ)
 青色 (点灯)	 オレンジ色 (長い間隔の点滅 ^{*4})	(各状態)	ネットワークの競合	本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時に同じネットワークに接続することはできません。本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時にネットワークに接続する場合は、異なるネットワークに接続してください。 注：スタンバイ状態では、ネットワークが競合しても、本機のステータスインジケータはオレンジ色に点滅しません。
 青色 (点灯)	 (消灯)	 オレンジ色 (点灯)	周囲高温 (強制工コモード中)	周囲の温度が高くなっています。室温を下げてください。
 赤色 (短い点滅 ^{*3})	 (消灯)	 (消灯)	温度エラー	室温が、本機の動作温度 (0 ~ 40℃) を超えています。適切な室温に調節してください。また、排気口がふさがれていないか、吸気口の近くに他のプロジェクターの排気口がないか確認してください。
(各状態)	 (消灯)	 赤色 (短い点滅 ^{*3})	ハードウェア異常	ハードウェアの異常です。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
 赤色 (点灯)	(各状態)	(各状態)	修理が必要な異常発生中	NEC カスタマーサポートセンターへ修理を依頼してください。その際に、インジケータの点灯状態をお知らせください。

*3 0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯の繰り返し

*4 0.5 秒点灯 / 2.5 秒消灯の繰り返し

●温度プロテクターが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、光源が消灯し、ステータスインジケーターが点滅します（2 回点滅の繰り返し）。

同時に本機の温度プロテクター機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。

このようなときは、以下の処置をしてください。

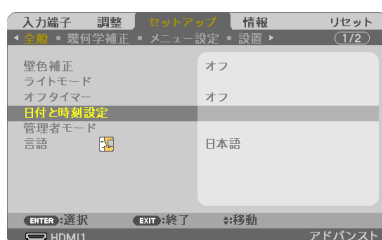
- ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・ 通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。（→ [155 ページ](#)）
- ・ 本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

9-9. 本機に日付と時刻を設定する

本機に現在の日付と時刻、および夏時間を設定します。日付と時刻を設定すると、MultiPresenter のスタート画面の右上に表示されます。

日付と時刻の設定画面を表示するには、次の 2 つの方法があります。

- ① オンスクリーンメニューを表示し「セットアップ」→「全般」→「日付と時刻設定」を選択します。（注：このとき、入力端子は「LAN」に切り替わります。）



- ② 入力端子を「LAN」に切り替え「MultiPresenter のスタート画面」を表示し「ツール」→「日付と時刻設定」を選択します。



項目名	説明
タイムゾーン設定	本機を使用する地域と UTC (Universal Time, Coordinated) (協定世界時) との時差を設定します。 ・ 初期値：+00:00 ・ 日本国内で使用する場合は「+09:00」と設定してください。
日付と時刻設定	現在の日付と時刻を設定します。 ・ 本機の工場出荷時は、UTC (Universal Time, Coordinated) (協定世界時) が設定されています。お使いの地域のタイムゾーンを設定することで、現在の日付と時刻が表示されます。 ・ ネットワーク上の NTP サーバーと同期して、正しい時刻を取得するときは「インターネット時刻サーバーに同期する」を「有効」にしてください。そして NTP サーバーの IP アドレス、またはホスト名を入力し、「更新」を実行ください。

次ページへ続く

夏時間設定	夏時間を設定します。 ・ 夏時間設定を「有効」にします。 ・ 夏時間の開始と終了、および時差の各項目を設定します。
-------	---

【重要】

- 本機の電源コードを外したあと、そのまま約 1 か月以上経過すると、日付・時刻が初期化され、時計機能は停止します。初期化されると、日付は「01/01/2018」に、時刻は「00:00」になります。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度設定してください。

【注意】

- 日付と時刻を直接入力して変更する場合は、現在表示されている数字を削除してから入力してください（上書き入力できません）。
- 夏時間設定を有効にしているときは、夏時間で指定した開始日または終了日と同じ日を「日付と時刻設定」で設定できません。

9-10. トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度 ☐ 常時 ☐ 時々 (☐ 回中 ☐ 回) ☐ その他()

電源関係

- | | |
|---|---|
| ☐ 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。
☐ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
☐ ④ ボタンを押しても電源が入らない。 | ☐ 使用中、電源が切れる。
☐ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
☐ オートパワーオフは「オフ」に設定されている。
☐ オフタイマーは「オフ」に設定されている。 |
|---|---|

映像・音声関係

- | | |
|--|--|
| ☐ コンピューターの画面が投写されない。
☐ コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。
☐ ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。
Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます (コンピューターによって異なります)。

☐ 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。
☐ 自動調整ボタンを押してもなおらない。
☐ リセットを実行してもなおらない。
☐ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
☐ 画面に何かメッセージが出ている。
()
☐ 接続している入力を選択している。
☐ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
☐ 入力に対応している解像度・周波数の信号である。 | ☐ 映像が歪む。
☐ 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。

☐ 映像が切れる。
☐ 自動調整ボタンを押してもなおらない。
☐ リセットを実行してもなおらない。
☐ 水平または垂直方向に映像がずれる。
☐ コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
☐ 入力に対応している解像度・周波数の信号である。
☐ 数ドット欠けている。

☐ 映像がちらつく。
☐ 自動調整ボタンを押してもなおらない。
☐ リセットを実行してもなおらない。
☐ コンピューター映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。
☐ ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。 |
| ☐ 映像が暗い。
☐ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | ☐ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。

☐ 音が出ない。
☐ 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。
☐ 音量を調整してもなおらない。 |

その他

- | | |
|--|---|
| ☐ リモコンが利かない。
☐ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
☐ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
☐ プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。 | ☐ 本体操作パネルのボタンが利かない。
本体キーロック設定のある機種において
☐ 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。
☐ 本体の入力切替ボタンを10秒以上押ししてもなおらない。 |
|--|---|

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

型名: ☐ NP-P627ULJL ☐ NP-P547ULJL

製造番号:

購入時期:

ライト使用時間:

エコモード: ☐ オフ ☐ エコ
☐ 長寿命

入力信号情報:

水平同期周波数 [kHz]

垂直同期周波数 [Hz]

同期極性 H ☐ (+) ☐ (−)

V ☐ (+) ☐ (−)

同期形態 ☐ セパレート ☐ ミックス

☐ Gシンク

ステータスインジケータの状態

点灯 (オレンジ・緑)

点滅 (回周期)

設置環境

スクリーンサイズ:

タイプ: ☐ ホワイتمット ☐ ビーズ ☐ 偏光
☐ 広視野角 ☐ ハイコントラスト

投写距離: m

投写方法: ☐ 天吊り ☐ 床置き

電源コンセントは?

☐ 壁からのコンセントを直接利用している。

☐ 電源用テーブルタップを利用している。
(他、接続機器の数: 台)

☐ 電源ドラム (ロール式) を利用している。
(他、接続機器の数: 台)

コンピューター

メーカー:

型名:

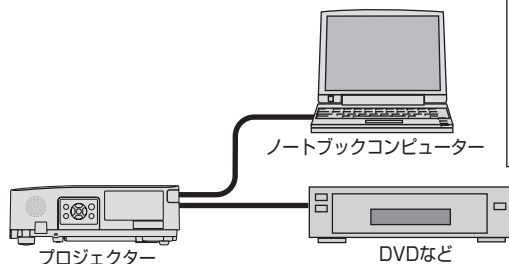
ノートブックコンピューター・デスクトップ一体型

解像度:

リフレッシュレート:

ビデオボード:

その他:



信号ケーブル

純正・その他
(型名:)

長さ: m)

分配器

型名:

スイッチャー

型名:

アダプター

型名:

接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他

メーカー:

型名:

9-11. 別売品

商 品 名		型 名
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP14CM

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

保証と修理サービス（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと大切に保存してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。（ただし、定期交換部品、消耗品、添付品は除く）

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（→[裏表紙](#)）にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（→[172](#) ページ）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（→[182,183](#) ページ）で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●修理形態

保証書をご覧ください。

●保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	NEC プロジェクター
型 名	NP-P627ULJL NP-P547ULJL
お買い上げ日	年 月 日
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に
ご 住 所	
お 名 前	法人名、ご担当者名
電 話 番 号	

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎() -
-----------	-------------	------------------

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの
トータルサポート窓口

NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフが受け
いたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日、その他特定日を除く）
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ <https://www.sharp-nec-displays.com/jp/support/projector/>

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社